

# 地域力創造アドバイザー — 令和 7 年度活用事例集 —

総務省 地域力創造グループ  
人材力活性化・連携交流室

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.1	北海道	旭川市	A450	渡邊 竜一	1.地域資源を活用した地域経済循環 12.シティプロモーション・地域PR
No.2	北海道	旭川市	A577	安富 啓	12.シティプロモーション・地域PR
No.3	北海道	美唄市	A645	藤田 洋一	2.まちなか再生
No.4	北海道	江別市	A304	森 吉弘	10.地域づくり人材の育成・教育
No.5	北海道	名寄市	A535	佐久間 智之	12.シティプロモーション・地域PR
No.6	北海道	深川市	A629	横尾 隆義	9.少子化対策 10.人材育成 11.自治体経営イノベーション 12.シティプロモーション・地域PR
No.7	北海道	松前町	A513	畑中 直樹	1.地域経済循環 3.生活機能の維持 4.環境保全 6.観光振興 7.関係人口 10.人材育成 11.自治体経営
No.8	北海道	奥尻町	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育 12.シティプロモーション・地域PR
No.9	北海道	島牧村	A537	若林 伸一	6.観光振興・交流
No.10	北海道	寿都村	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育 12.シティプロモーション・地域PR
No.11	北海道	蘭越町	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育 12.シティプロモーション・地域PR
No.12	北海道	ニセコ町	A600	小口 潤	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.13	北海道	真狩村	A310	岸川 政之	10.地域づくり人材の育成・教育
No.14	北海道	浦臼町	A348	金澤 一行	12.シティプロモーション・地域PR
No.15	北海道	当麻町	A773	加藤 博敏	7.関係人口の創出・拡大
No.16	北海道	音威子府村	A642	山本 雅也	9.少子化対策、子ども・子育て支援
No.17	北海道	苫前町	A706	柴田 涼平	7.関係人口の創出・拡大 10.地域づくり人材の育成・教育 11.自治体経営イノベーション
No.18	北海道	斜里町	A575	寺本 英二	10.地域づくり人材の育成・教育
No.19	北海道	小清水町	A712	浦野 宣幸	8.移住・定住促進
No.20	北海道	滝上町	A577	安福 啓	10.地域づくり人材の育成・教育
No.21	北海道	雄武町	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育 12.シティプロモーション・地域PR
No.22	北海道	豊浦町	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持
No.23	北海道	池田町	A218	野口 智子	10.地域づくり人材の育成・教育
No.24	北海道	弟子屈町	A521	青山 光彦	4.環境保全・SDGs
No.25	北海道	羅臼町	A658	田藏 大地	11.自治体経営イノベーション

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.26	青森県	青森市	A402	玉村 雅敏	6. 観光振興・交流 8.移住・定住促進
No.27	青森県	八戸市	A550	松永 浩司	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.28	青森県	平川市	A643	高坂 幹	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.29	青森県	中泊町	A643	高坂 幹	5.防災減災・危機管理 11.自治体経営イノベーション
No.30	岩手県	盛岡市	A083	山本 尚史	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.31	岩手県	盛岡市	A372	臂 徹	2.まちなか再生
No.32	岩手県	奥州市	A437	若菜 千穂	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.33	岩手県	奥州市	A462	大牧 圭吾	8.移住・定住促進
No.34	岩手県	岩手町	A550	松永 浩司	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.35	岩手県	田野畑村	A082 A729	山田 洋司 森田 みか	8.移住・定住促進
No.36	宮城県	石巻市	A063	関 幸子	2.まちなか再生 7.関係人口の創出・拡大
No.37	秋田県	湯沢市	A718	加藤 はと子	12.シティプロモーション・地域PR
No.38	秋田県	にかほ市	A302	藤岡 慎二	10.地域づくり人材の育成・教育
No.39	秋田県	仙北市	A648	細川 甚孝	11.自治体経営イノベーション
No.40	秋田県	井川町	A450	渡邊 竜一	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.41	山形県	酒田市	A718	加藤 はと子	1.地域資源を活用した地域経済循環 6. 観光振興・交流 12.シティプロモーション・地域PR
No.42	山形県	新庄市	A694	片岡 寛明	7.関係人口の創出・拡大 12.シティプロモーション・地域PR
No.43	山形県	中山町	A575	寺本 英仁	10.地域づくり人材の育成・教育
No.44	山形県	飯豊町	A681	嶋田 俊平	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.45	福島県	檜枝岐村	A530	石井 重成	7.関係人口の創出・拡大 8.移住・定住促進 10.人材育成 11.自治体経営イノベーション
No.46	福島県	南会津町	A302	藤岡 慎二	10.地域づくり人材の育成・教育
No.47	福島県	猪苗代町	A652	高橋 一泰	6.観光振興・交流
No.48	福島県	棚倉町	A712	浦野 宣幸	12.シティプロモーション・地域PR
No.49	福島県	鮫川村	A545	北川 智博	1.地域資源を活用した地域経済循環 2.まちなか再生 6. 観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大
No.50	福島県	浅川町	A084	善井 靖	6. 観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 8.移住・定住促進 10.地域づくり人材の育成・教育

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.51	茨城県	常陸大宮市	A694	片岡 寛明	6. 観光振興・交流
No.52	茨城県	那珂市	A070	柝尾 圭亮	6. 観光振興・交流
No.53	茨城県	稲敷市	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育 12.シティプロモーション・地域PR
No.54	茨城県	桜川市	A629	横尾 隆義	8.移住・定住促進 10.地域づくり人材の育成・教育
No.55	茨城県	茨城町	A450	渡邊 竜一	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.56	茨城県	八千代町	A450	渡邊 竜一	6. 観光振興・交流 12.シティプロモーション・地域PR
No.57	栃木県	栃木市	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持
No.58	栃木県	日光市	A462	大牧 圭吾	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.59	栃木県	矢板市	A347	大山 詠司	10.地域づくり人材の育成・教育
No.60	栃木県	益子町	A658	田藏 大地	6. 観光振興・交流
No.61	群馬県	前橋市	A659	佐藤 幸俊	12.シティプロモーション・地域PR
No.62	群馬県	富岡市	A439	斎藤 主税	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育
No.63	群馬県	富岡市	A439	斎藤 主税	3.生活機能の維持 10.地域づくり人材の育成・教育
No.64	群馬県	長野原町	A545	北川 智博	1.地域経済循環 2.まちなか再生 6. 観光振興・交流 7.関係人口 8.移住・定住促進 12.地域PR
No.65	埼玉県	秩父市	A302	藤岡 慎二	10.地域づくり人材の育成・教育
No.66	埼玉県	上里町	A504	花田 欣也	6. 観光振興・交流
No.67	千葉県	香取市	A086	飯盛 義徳	12.シティプロモーション・地域PR
No.68	千葉県	香取市	A200	朝比奈 一郎	1.地域資源を活用した地域経済循環 10.地域づくり人材の育成・教育
No.69	千葉県	香取市	A294	為国 孝敏	3.生活機能の維持
No.70	千葉県	香取市	A451	河井 孝仁	12.シティプロモーション・地域PR
No.71	千葉県	香取市	A516	根津 久一郎	8.移住・定住促進
No.72	千葉県	多古町	A629	横尾 隆義	地域ブランディング推進
No.73	千葉県	白子町	A658	田藏 大地	1.地域資源を活用した地域経済循環 6.観光振興 7.関係人口 10.人材育成 12.地域PR
No.74	千葉県	鋸南町	A309	本田 勝之助	1.地域資源を活用した地域経済
No.75	新潟県	小千谷市	A515	堀口 正裕	7.関係人口の創出・拡大

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.76	新潟県	加茂市	A462	大牧 圭吾	8.移住・定住促進
No.77	新潟県	津南町	A713	山本 竜也	10.地域づくり人材の育成・教育
No.78	富山県	氷見市	A478	金山 宏樹	1.地域資源を活用した地域経済循環 10.地域づくり人材の育成・教育 12.地域PR
No.79	富山県	滑川市	A464	中川 直洋	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.80	富山県	滑川市	A742	相川 知輝	7.関係人口の創出・拡大
No.81	富山県	小矢部市	A584	中村 英樹	6.観光振興・交流
No.82	富山県	舟橋村	A450	渡邊 竜一	1.地域資源を活用した地域経済循環 12.シティプロモーション・地域PR
No.83	富山県	舟橋村	A703	浜野 耕一	12.シティプロモーション・地域PR
No.84	石川県	加賀市	A084	善井 靖	6.観光振興・交流
No.85	石川県	宝達志水町	A505	高瀬 直史	8.移住・定住促進
No.86	福井県	大野市	A466	橋村 和徳	1.地域資源を活用した地域経済循環 6.観光振興 7.関係人口 8.移住・定住促進 11.自治体経営
No.87	福井県	勝山市	A478	金山 宏樹	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.88	山梨県	大月市	A681	嶋田 俊平	7.関係人口の創出・拡大
No.89	山梨県	南アルプス市	A652	高橋 一泰	6.観光振興・交流
No.90	山梨県	上野原市	A681	嶋田 俊平	12.シティプロモーション・地域PR
No.91	山梨県	身延町	A669	藤田 泰一	11.自治体経営イノベーション
No.92	山梨県	丹波山村	A546	細川 哲星	12.シティプロモーション・地域PR
No.93	長野県	長野市	A374	中村 智彦	10.地域づくり人材の育成・教育
No.94	長野県	松本市	A084	善井 靖	6.観光振興・交流
No.95	長野県	富士見町	A452	吉弘 拓生	7.関係人口の創出・拡大 11.自治体経営イノベーション
No.96	長野県	富士見町	A600	小口 潤	12.シティプロモーション・地域PR
No.97	長野県	喬木村	A694	片岡 寛明	6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 8.移住・定住促進
No.98	長野県	上松町	A495	石川 貴志	12.シティプロモーション・地域PR
No.99	長野県	小布施町	A699	太田 剛	10.地域づくり人材の育成・教育 11.自治体経営イノベーション 12.地域PR
No.100	長野県	小布施町	A744	坂野 晶	4.環境保全・SDGs

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.101	長野県	野沢温泉村	A614	余吾 由太	12.シティプロモーション・地域PR
No.102	長野県	飯綱町	A539	瀧内 貫	10.地域づくり人材の育成・教育
No.103	岐阜県	山県市	A642	山本 雅也	9.少子化対策、子ども・子育て支援
No.104	岐阜県	下呂市	A200	朝比奈 一郎	11.自治体経営イノベーション
No.105	岐阜県	海津市	A642	山本 雅也	1.地域資源を活用した地域経済循環 7.関係人口 9.少子化対策、子ども・子育て支援
No.106	静岡県	浜松市	A062	関司 直也	7.関係人口の創出・拡大
No.107	静岡県	伊豆市	A575	寺本 英仁	10.地域づくり人材の育成・教育
No.108	静岡県	東伊豆町	A466	橋村 和徳	7.関係人口の創出・拡大
No.109	静岡県	松崎町	A070	朽尾 圭亮	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.110	三重県	名張市	A597	中村 元	1.地域資源を活用した地域経済循環 6.観光振興・交流 12.シティプロモーション・地域PR
No.111	三重県	亀山市	A668	井階 友貴	10.地域づくり人材の育成・教育
No.112	三重県	志摩市	A642	山本 雅也	1.地域資源を活用した地域経済循環 7.関係人口 9.少子化対策、子ども・子育て支援
No.113	滋賀県	栗東市	A399	前神 有里	10.地域づくり人材の育成・教育
No.114	滋賀県	甲賀市	A681	嶋田 俊平	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.115	京都府	福知山市	A629	横尾 隆義	6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 12.シティプロモーション・地域PR
No.116	京都府	綾部市	A218	野口 智子	1.地域資源を活用した地域経済循環 3.生活機能の維持 12.シティプロモーション・地域PR
No.117	京都府	与謝野町	A671	平林 和樹	1.地域資源を活用した地域経済循環 8.移住・定住促進 12.シティプロモーション・地域PR
No.118	京都府	与謝野町	A675	秋元 祥治	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.119	兵庫県	洲本市	A478	金山 宏樹	1.地域資源を活用した地域経済循環 10.地域づくり人材の育成・教育 12.地域PR
No.120	兵庫県	豊岡市	A249	中嶋 健造	1.地域資源を活用した地域経済循環 4.環境保全・SDGs 10.地域づくり人材の育成・教育
No.121	兵庫県	豊岡市	A749	小田垣 栄司	11.自治体経営イノベーション 12.シティプロモーション・地域PR
No.122	兵庫県	加東市	A546	細川 哲星	1.地域資源を活用した地域経済循環 6.観光振興・交流 12.シティプロモーション・地域PR
No.123	奈良県	五條市	A534	丸橋 裕史	1.地域資源を活用した地域経済循環 3.生活機能の維持 12.シティプロモーション・地域PR
No.124	奈良県	下北山村	A694	片岡 寛明	6.観光振興・交流
No.125	和歌山県	和歌山市	A751	森重 良太	7.関係人口の創出・拡大

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.126	和歌山県	橋本市	A511	関根 祐貴	1.地域資源を活用した地域経済循環 8.移住・定住促進
No.127	和歌山県	みなべ町	A362	大和田 順子	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.128	和歌山県	白浜町	A712	浦野 宣幸	1.地域資源を活用した地域経済循環 12.シティプロモーション・地域PR
No.129	和歌山県	上富田町	A751	森重 良太	1.地域資源を活用した地域経済循環 6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大
No.130	和歌山県	那智勝浦町	A546	細川 哲星	6.観光振興・交流
No.131	鳥取県	米子市	A607	又吉 重太	3.生活機能の維持 7.関係人口の創出・拡大 10.地域づくり人材の育成・教育
No.132	鳥取県	岩美町	A347	大山 詠司	11.自治体経営イノベーション
No.133	鳥取県	若桜町	A347	大山 詠司	12.シティプロモーション・地域PR
No.134	鳥取県	智頭町	A561	太田 章彦	10.地域づくり人材の育成・教育
No.135	鳥取県	湯梨浜町	A347	大山 詠司	1.地域資源を活用した地域経済循環 8.移住・定住促進 12.シティプロモーション・地域PR
No.136	鳥取県	北栄町	A771	鷲見 英利	11.自治体経営イノベーション
No.137	鳥取県	伯耆町	A428	藤山 浩	1.地域資源を活用した地域経済循環 11.自治体経営イノベーション
No.138	島根県	川本町	A192 A554	椎川 忍 箕浦 龍一	10.地域づくり人材の育成・教育
No.139	島根県	美郷町	A520	大島 裕司	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.140	島根県	津和野町	A753	相澤 謙一郎	10.地域づくり人材の育成・教育
No.141	島根県	隠岐の島町	A372	臂 徹	2.まちなか再生
No.142	岡山県	玉野市	A658	田藏 大地	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.143	岡山県	井原市	A424	矢島 里佳	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.144	岡山県	井原市	A445	井上 幸一	2.まちなか再生
No.145	岡山県	真庭市	A629	横尾 隆義	11.自治体経営イノベーション
No.146	岡山県	美咲町	A453	森本 登志男	3.生活機能の維持
No.147	広島県	安芸太田町	A717	尾崎 香苗	2.まちなか再生
No.148	山口県	下関市	A429	加藤 遼	1.地域資源を活用した地域経済循環 7.関係人口 9.少子化対策、子ども・子育て支援
No.149	山口県	下松市	A692	品川 智宏	8.移住・定住促進
No.150	山口県	岩国市	A614	余吾 由太	6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 10.人材育成 11.自治体経営イノベーション

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.151	徳島県	鳴門市	A070	朽尾 圭亮	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.152	徳島県	三好市	A718	加藤 はと子	1.地域資源を活用した地域経済循環 12.シティプロモーション・地域PR
No.153	徳島県	那賀町	A693	板垣 信行	11.自治体経営イノベーション 12.シティプロモーション・地域PR
No.154	愛媛県	今治市	A372	臂 徹	2.まちなか再生
No.155	愛媛県	松前町	A399	前神 有里	10.地域づくり人材の育成・教育
No.156	愛媛県	内子町	A400	跡見 愛美	10.地域づくり人材の育成・教育
No.157	高知県	須崎市	A612	堀見 和道	11.自治体経営イノベーション
No.158	高知県	仁淀川町	A082 A729	山田 洋司 森田 みか	1.地域資源を活用した地域経済循環 3.生活機能の維持 6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 8.移住・定住促進 10.地域づくり人材の育成・教育
No.159	高知県	黒潮町	A505	高瀬 直史	6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 12.シティプロモーション・地域PR
No.160	福岡県	行橋市	A452	吉弘 拓生	11.自治体経営イノベーション
No.161	福岡県	宗像市	A180	山口 純哉	10.地域づくり人材の育成・教育
No.162	福岡県	広川町	A536	横山 泰治	4.環境保全・SDGs
No.163	福岡県	添田町	A478	金山 宏樹	1.地域資源を活用した地域経済循環 10.地域づくり人材の育成・教育 12.地域PR
No.164	福岡県	みやこ町	A452	吉弘 拓生	10.地域づくり人材の育成・教育
No.165	福岡県	吉富町	A613	曾根 進	4.環境保全・SDGs 10.地域づくり人材の育成・教育 11.自治体経営イノベーション
No.166	福岡県	築上町	A452	吉弘 拓生	10.地域づくり人材の育成・教育
No.167	佐賀県	鹿島市	A460	藤村 雄志	2.まちなか再生
No.168	佐賀県	小城市	A511	関根 祐貴	11.自治体経営イノベーション
No.169	長崎県	松浦市	A761	荒木 美千代	10.地域づくり人材の育成・教育
No.170	長崎県	西海市	A537	若林 伸一	1.地域資源を活用した地域経済循環 6.観光振興・交流 7.関係人口の創出・拡大 12.地域PR
No.171	長崎県	波佐見町	A563	河野 公彦	1.地域資源を活用した地域経済循環 4.環境保全・SDGs
No.172	熊本県	熊本市	A462	大牧 圭吾	1.地域資源を活用した地域経済循環
No.173	熊本県	荒尾市	A372	臂 徹	2.まちなか再生 8.移住定住 10.人材育成・教育 11.自治体経営イノベーション 12.地域PR
No.174	熊本県	宇土市	A399	前神 有里	7.関係人口の創出・拡大 8.移住・定住促進 10.地域づくり人材の育成・教育 12.地域PR
No.175	熊本県	南関町	A699	太田 剛	2.まちなか再生 7.関係人口の創出・拡大 10.地域づくり人材の育成・教育

# 目次：令和7年度 地域力創造アドバイザー活用事例

事例集No.	都道府県	市町村名	登録コード	アドバイザー氏名	活用分野
No.176	熊本県	南阿蘇村	A464	中川 直洋	6. 観光振興・交流 8. 移住・定住促進 12. シティプロモーション・地域PR
No.177	熊本県	氷川町	A693	板垣 信行	11. 自治体経営イノベーション 12. シティプロモーション・地域PR
No.178	熊本県	球磨村	A681	嶋田 俊平	6. 観光振興・交流
No.179	熊本県	苓北町	A642	山本 雅也	7. 関係人口の創出・拡大
No.180	大分県	豊後高田市	A244	碓 孝洋	1. 地域資源を活用した地域経済循環
No.181	宮崎県	宮崎市	A070	朽尾 圭亮	1. 地域資源を活用した地域経済循環
No.182	宮崎県	高原町	A764	吉田 雄人	7. 関係人口の創出・拡大
No.183	宮崎県	新富町	A505	高瀬 直史	1. 地域資源を活用した地域経済循環 7. 関係人口の創出・拡大
No.184	宮崎県	都農町	A535	佐久間 智之	10. 地域づくり人材の育成・教育
No.185	宮崎県	美郷町	A195	醍醐 孝典	12. シティプロモーション・地域PR
No.186	鹿児島県	さつま町	A400	跡見 愛美	10. 地域づくり人材の育成・教育
No.187	鹿児島県	南大隅町	A620	椋本 修平	1. 地域資源を活用した地域経済循環 7. 関係人口の創出・拡大 12. 地域PR
No.188	鹿児島県	大和村	A703	浜野 耕一	11. 自治体経営イノベーション 12. シティプロモーション・地域PR
No.189	鹿児島県	喜界町	A521	青山 光彦	4. 環境保全・SDGs 11. 自治体経営イノベーション
No.190	沖縄県	糸満市	A572	島尻 勝	5. 防災減災・危機管理
No.191	沖縄県	南城市	A084	善井 靖	6. 観光振興・交流
No.192	沖縄県	大宜味村	A082	山田 洋司	1. 地域資源を活用した地域経済循環 2. まちなか再生 3. 生活機能の維持 4. 環境保全 6. 観光振興
No.193	沖縄県	東村	A227	鈴木 邦治	9. 少子化対策 10. 地域づくり人材の育成・教育 11. 自治体経営イノベーション
No.194	沖縄県	八重瀬町	A550	松永 浩司	1. 地域資源を活用した地域経済循環 7. 関係人口の創出・拡大 12. 地域PR
No.195	沖縄県	竹富町	A766	安岡 周総	7. 関係人口の創出・拡大
No.196	沖縄県	与那国町	A068	田邊 寛子	8. 移住・定住促進

# No.1 北海道・旭川市（企業版ふるさと納税等）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	シティプロモーション・地域PR、地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（年8回の訪問及び隔週でのオンライン会議への参加）
キーワード	#企業版ふるさと納税 #シティプロモーション #地域ブランド創出

## 【目的】

旭川市のさらなる魅力を発掘し、企業版ふるさと納税を活用した取組の周知やシティプロモーションにより、地域活性化を図る。

## 【内容】

- **企業版ふるさと納税を活用した取組の周知**
  - ・ 庁内における企業版ふるさと納税制度活用方法の周知
  - ・ 外部機関と連携した企業版ふるさと納税活用事業のPR
- **シティプロモーション**
  - ・ シティプロモーションによる地域活性化



あさひかわ街あかりイルミネーション（寄附を活用した事業例）

## 【成果】

- **庁内向け制度説明会の開催**
  - 庁内における認知度向上による寄附活用事業の増
- **外部機関と連携した事業PR**
  - 外部機関からの寄附企業紹介による寄附額・寄附件数の増
  - 令和6年度に過去最高額を達成
- **シティプロモーションによる地域活性化（見込み）**
  - 旭川市の特性や観光資源を活用したコンテンツの拡充
  - 地域ブランドの確立、地域経済の活性化、人口・観光客の増など



企業版ふるさと納税活用事業の紹介パンフレット

## No.2 北海道・旭川市（発酵醸造文化を活用した産業観光振興）

地域力創造アドバイザー	安富 啓氏 (A577)
活用分野	協働まちづくりの推進に向けた計画づくりや企画実践の支援
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#協働まちづくり #組織づくり #観光振興 #地域産業振興 #産官学民連携 #情報発信

### 【目的】

旭川市に根付く発酵醸造文化の価値継承と産業観光や地域づくり等新たな取組への展開に向けて、下記の取組を進める。

- 発酵醸造に関わる関係者とのネットワークの拡大
- 多様な分野間連携による発酵醸造文化の新たな価値の創造
- 旭川の発酵醸造文化に市民自らが誇りを持てる環境の整備

### 【内容】

- 先進事例収集・整理及び聞き取り調査
- チームアップ活動の企画・実施支援
- 産業観光振興に係る懇談会の企画、実施
- アクションプランに基づく実践
- 醸造・発酵文化に係る情報発信

### 【成果（見込み）】

- 持続可能な運営体制の整備  
（旭川発酵醸造会の活動基盤強化）
- 産業観光振興ビジョンの策定
- 発酵醸造文化の発信・体験イベントの開催
- 発酵醸造文化に係る観光コンテンツの開発



産官学民が一体となり初開催した旭川の発酵醸造文化まちづくりのキックオフアクション「あさひかわ発酵醸造マルシェ」

# No.3 北海道美唄市（中心市街地活性化）

地域力創造アドバイザー	藤田 洋一 氏 (A645)
活用分野	まちなか再生
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月15日程度）
キーワード	#まちなか再生 #空き家・空き店舗活用 #賑わい創出 #中心市街地活性化 #観光振興

## 【目的】

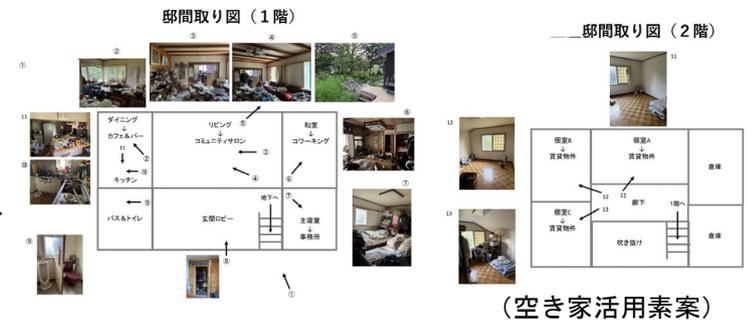
中心市街地活性化協議会の運営・中心市街地活性化基本計画の策定に伴い、同協議会に対する助言や、中心市街地内の空き店舗の活用等について検討し、賑わいの創出を図る。

## 【内容】

- 中心市街地活性化基本計画の策定に対する助言
- 中心市街地活性化基本計画における商店街振興組合投資プロジェクト提案
- 一般社団法人ステイびばい（DMO）事業運営に関する助言
- 観光地域づくりに向けた美唄国設スキー場のリニューアル整備計画サポート
- 美唄国設スキー場開催イベント運営のサポート
- その他必要な業務

## 【成果（見込み）】

- 中心市街地活性化基本計画策定に向けた協議会への出席の他、協議会事務局運営、計画スケジュールやその事業内容について助言（令和7年度協議会4月・8月・1月開催）
- 中心市街地活性化基本計画における商店街振興組合投資プロジェクト提案（R6年度：空き店舗調査～R7度：活用に向けた調整）商店街振興組合として市街地活性化に向けたコミット提案を行い、組合役員会の承認を得てプロジェクトに着手
- R8年度事業化に向けた各種調整を実施
  - ①空き家活用（シェアハウス・チャレンジショップ活用）
  - ②空きスペース活用（組合アンテナショップ・移動販売）
  - ③新規事業者支援 ほか
- 一般社団法人ステイびばい（DMO）の運営検討（各種規定・組織・事業内容）実施  
定款変更登記完了～役員会での各種規定検討実施
- 美唄国設スキー場整備基本計画に基づくリニューアルに向けた情報収集サポートの他、リフト架替事業公募審査会に審査委員として出席
- 美唄国設スキー場イベント運営会議へ出席し、効率的なイベント運営に向けたサポート実施



# No.4 北海道・江別市（次世代リーダー育成研修）

地域力創造アドバイザー	森 吉弘氏（A304）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（年6回程度）
キーワード	#人材育成 #職員研修 #次世代リーダー #コミュニケーション #伴走支援

## 【目的】

- 地域課題を分析するとともに、解決策を実行する力、人間力（コミュニケーション力等）、効率的な会議運営力・合意形成力などを向上させるスキルと心得を取得することで、本市の将来を担うリーダーの育成を図る。
- 個人の行動変容と組織の活性化を促進し、地域の特性や市民ニーズに応じた効果的な行政サービスの提供を行う。

## 【内容】

- 将来、組織を担うリーダーとなりうる係長職・主任職の市職員及び外郭団体職員を対象に、「次世代リーダー育成研修」を実施
- 研修参加者への個別コンサルティングによる伴走支援を実施

## 【成果（見込み）】

- コミュニケーション力や対人関係構築力などのスキルや心得を取得することにより、次世代に向けた対話型リーダーを育成することができた。
- 研修参加者が職場で抱えている課題について、アドバイザーによる個別コンサルティングにより、改善策の提示を受けるなど、伴走支援を受けることで職員のスキル向上が図られ、効果的な行政サービスを提供することができた。



次世代リーダー育成研修

# No.5 北海道・名寄市（広報アドバイザー業務）

地域力創造アドバイザー	佐久間 智之氏（A535）
活用分野	シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#広報 #広報紙 #リニューアル #基本方針 #広報業務マニュアル #全職員が広報担当

## 【目的】

- より「伝わる」広報の実現を目指し、職員の情報発信力の向上を図り、市民サービスの向上につなげる
- 情報発信力の向上「全職員が広報担当」
- 広報基本方針の策定
- 広報業務マニュアルの策定
- 広報紙のリニューアル（令和7年12月号～）

## 【内容】

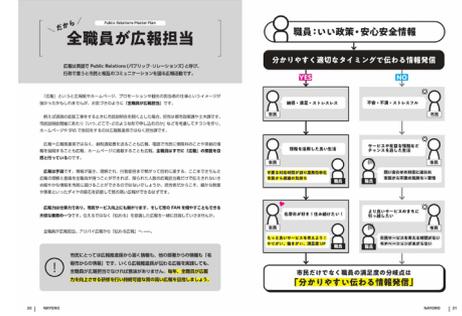
- 名寄市広報基本方針策定
- 広報業務マニュアル策定
- 広報紙作成業務にかかる支援
- 職員研修の実施
- チラシ・ポスター等作成にかかる助言など



広報紙(表紙)



広報紙(特集)



広報基本方針

## 【成果（見込み）】

- 広報基本方針、広報業務マニュアルの策定により、職員の広報に対する意識の改革や業務の効率化が図られる
- 職員の情報発信力が向上することで、市民が必要な情報を正確に受け取ることが可能となり、市民サービスの向上につながる
- 広報基本方針・広報業務マニュアルの策定支援及び広報紙リニューアルへの助言・指導
- 職員の広報に対する意識の醸成

# No.6 北海道深川市（深川市生きがい文化センター在り方検討事業）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	シティプロモーション・地域PR、少子化対策・子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1、2回程度）
キーワード	#老朽化施設活用 #公共施設再編 #地域ニーズ分析 #改修方針検討 #文化・学びの場 #子どもの居場所 #関係人口創出 #地域魅力発信 #外部人材活用 #運営可能性検討

## 【目的】

1992年に開館した複合文化施設「生きがい文化センター」は、築30年以上が経過し老朽化が進んでいます。本事業では、文化活動・学びの場・子どもの遊び場といった機能を踏まえ、今後の活用方針を検討します。

施設の現状と地域ニーズを整理し、改修の必要性や機能の方向性、運営の可能性を明確化することで、地域の魅力向上や利用者層の拡大につながる活用案の基盤を構築します。

## 【内容】

- ・現状分析と課題整理
- ・改修・機能再編の方向性検討
- ・地域ニーズの把握と分析
- ・財政面・運営面の課題と可能性の整理
- ・地域の魅力発信や関係人口創出につながる活用案の検討
- ・外部人材との連携による専門的な視点や知見の活用

## 【成果（見込み）】

- ・施設の現状及び課題が体系的に整理される。
- ・地域ニーズに即した機能の方向性が明確化される。
- ・改修及び運営に係る課題と可能性が把握される。
- ・地域の魅力発信及び関係人口創出に資する活用案が検討される。
- ・外部人材の専門的知見により、検討の妥当性と実効性が向上する。



（施設外観）



（パトリアホール）



（郷土資料館）



（市立図書館）

# No.7 北海道松前町（松前町スマート・シュリンクSXビジョン等の伴走支援）

地域力創造アドバイザー	畑中 直樹 氏 (A513)
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、生活機能の維持、環境保全・SDGs、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#スマートシュリンク #SX #DX #SDGs #再生可能エネルギー #伴走支援

## 【目的】

人口減少・少子高齢化が進む中で持続可能なまちづくりへの変革と力をためる「スマート・シュリンク（賢く縮む）」の考えを取り入れた『松前町スマート・シュリンクSXビジョン』に基づき、官民・産業分野を超えた包括的なまちづくりを行う。

## 【内容】

- 官民連携共創会議「松前S X推進共創会議」の運営
- 「松前町スマート・シュリンクS Xビジョン」搭載プロジェクトの伴走支援
- 「松前町DX推進計画」の伴走支援
- 「松前版SDGsチャレンジアクション」の伴走支援

## 【成果（見込み）】

- 稼ぎ続ける持続可能な観光、漁業の産業構造を再構築
  - 海業の実証、インバウンド向けモニターツアー試行
  - ブルーカーボン創出に向けた企業連携スタート（日本製鉄）
  - 潮流や海水温など漁業DX実証共同研究（はこだて未来大学連携）※継続事業
  - 棋戦タイトル戦誘致に向けた調整
- 再エネ地発地消転換
  - 風力発電を活用した地域エネルギー会社の設立
  - 再エネ由来水素活用の検討支援（JH2A連携）
- 担い手の確保・人材育成
  - 地域おこし協力隊等の採用（2名）
  - 関係人口（おたすけ旅等）の機会創出
  - 小中高校SDGs探求学習の支援



ブルーカーボン



インバウンド向け  
モニターツアー



小中高校SDGs探求学習の支援

# No.8 北海道・奥尻町（地域公共交通計画策定支援等）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏 氏（A294）
活用分野	地域交通・人材研修・地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1・2回程度）
キーワード	#地域交通 #持続可能 #まちづくり #人材研修 #地域活性化

## 【目的】

奥尻町地域公共交通計画を軸に、利便増進実施計画を策定し、町内の交通手段の持続可能な体制を作り、公共交通の更なる利便性向上を目指す。

## 【内容】

- ・奥尻町地域公共交通計画推進支援業務
- ・地域公共交通利便増進実施計画の策定支援
- ・ヒアリング・打合せ協議等の支援業務
- ・法定協議会の運営支援業務

## 【成果（見込み）】

○奥尻町地域公共交通計画の策定、利便増進実施計画の策定

来訪時：地元交通事業者へのヒアリング、その他、高校や病院等へも公共交通の利用状況を聞き取り。

奥尻町地域公共交通会議への参加、人材育成研修の実施、令和5年には地域公共交通の現状について調査。

来訪時以外：事例収集、情報提供、指導・助言、及び電話やメール、リモートによる打ち合わせ。

⇒令和6年度に奥尻町地域公共交通計画を策定。

⇒令和7年度に奥尻町利便増進実施計画を策定。

○利便増進事業の実施（予定）

令和8年度以降は、奥尻町地域公共交通計画を軸に、利便増進実施計画の事業を実施し、その評価等を行い、PDCAサイクルで奥尻町の公共交通の利便性向上を図っていく。



（法定協議会の様子）

# No.9 北海道・島牧村（観光まちづくり）

地域力創造アドバイザー	若林 伸一氏（A537）
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#観光まちづくり #起業 #地域おこし協力隊 #体験観光

## 【目的】

観光まちづくりを学び、地域課題を解決するために起業を目指す地域おこし協力隊員に指導・助言を行い、地域活性化を図る（地域おこし協力隊は、道の駅を運営する会社にも所属して通常業務を行いながら新規事業や新商品の開発を行っている）

## 【内容】

- ・月1回の来村時に協力隊員に課題を出しておき、次回の来村時に受ける報告に対してアドバイスを実施
- ・協力隊員の月例報告会において村民向けに他自治体における観光まちづくりの事例を報告
- ・島牧村内で実施するイベント実施や体験観光コンテンツ作成に対する助言

## 【成果（見込み）】

- ・村民に対して、観光まちづくり事業に対する理解促進が進んでいる。
- ・道の駅屋外において、鮮魚の販売イベントや地元の子供が集まれる夏祭りを実施。



道の駅での鮮魚販売イベント



月例報告会での様子

# No.10 北海道・寿都町（寿都町地域公共交通計画策定支援業務）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏 氏（A294）
活用分野	地域交通、人材育成、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和7年度（月1回程度）
キーワード	#地域交通 #地域活性化 #まちづくり #政策提案

## 【目的】

将来にわたって持続可能な交通体系を構築することを目的とした「地域公共交通計画」を策定し、活力ある住みよいまちづくりを推進するための指導・助言。

## 【内容】

- 地域公共交通に関する調査・分析
- まちづくりと連動した持続可能な交通体系に対する指導・助言
- 計画の考え方と、地域公共交通の将来像に対する検討
- 地域公共交通計画策定後の計画推進体制に関する指導・助言

## 【成果（見込み）】

- 寿都町地域公共交通計画の策定準備
  - ・将来へ向けた最適な交通体系の構築を目指し、地元交通事業者3社、各種団体（寿都商工会、寿都診療所、寿都町振興公社、寿都町社会福祉協会、寿都高校）、町各部局（産業、福祉、教育等）に対するヒアリングの実施。
  - ・公共交通に対するニーズ調査として、町内全世帯を対象にしたアンケート調査と、民生委員を対象とした高齢者の移動実態と要望に関する調査を実施。
  - ・既存の交通手段の活用検討。  
⇒令和8年度の計画策定を目指す。
- 法定協議会の設立準備
  - ・将来へわたって持続可能な交通体系について協議するための法定協議会の設立を進める（予定）。  
⇒令和8年度の設立を目指す。



（町内を循環する「風太号」）

# No.11 北海道・蘭越町（蘭越町地域公共交通計画策定事業）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏 氏（A294）
活用分野	地域交通、人材研修、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#地域交通 #集落機能の維持 #地域活性化 #人材研修

## 【目的】

本町が将来にわたって持続可能な交通体系を確保し、町にとって望ましい旅客運送サービスの姿を明らかにする「地域公共交通計画」の策定と策定後における各種計画推進事業への助言・指導。

## 【内容】

- 地域公共交通に関わる調査・分析
- 計画の考え方と将来像、取り組み方策等の検討
- 評価項目と目標値、評価体制等の検討
- 持続可能な公共交通体系に関する指導・助言
- 地域公共交通計画策定後における計画推進支援



（地域公共交通についての講演）



（蘭越町地域公共交通会議）

## 【成果（見込み）】

- 蘭越町地域公共交通計画の策定

来訪時：地元バス事業者2社へのヒアリング、その他関係者や地元町民への聞き取り。

蘭越町地域公共交通会議への参加、令和5年には地域公共交通のあり方に関する講演。

来訪時以外：事例収集、情報提供、指導・助言、及び電話やメール、リモートによる打ち合わせ。

⇒令和7年度に蘭越町地域公共交通計画を策定。

- 町内バスらんらん号の再編

今年度、蘭越町地域公共交通計画を軸に、町内バス「らんらん号」の運行形態を再編するべく、町内5路線のうち1路線において、デマンド実証運行を実施。同実証運行結果を踏まえ、来年度以降もデマンド運行エリアを順次拡大し、持続可能かつ利便性のよい公共交通網の形成を目指す。

# No.12 北海道ニセコ町（農産物付加価値向上推進事業）

地域力創造アドバイザー	小口 潤氏（A600）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産業発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（初年度は、毎月定例打合せと、4回のワークショップ、1回の説明会を予定）
キーワード	#付加価値向上 #ブランド化 #農家 #持続可能な農業 #販路開拓 #商品開発 #地域資源 #プロモーション企画

## 【目的】

ニセコ町の農家数が減少している現状において、「ニセコ町産」として農作物を販売している直売会を起点に、ニセコ町農作物の付加価値向上を図ることで、「ニセコ町農産物の単価向上」「作り手（農家）と売り手（直売会など）の収益向上」を実現させ、持続可能な農業モデルの構築と地域全体での稼げる地域づくりを目指す。

## 【内容】

- ブランドの価値規定（ex.農家ワークショップの企画立案・開催）
- ブランドのシンボル制作指導（ex.規定したブランド価値に沿ったブランドマーク制作のために制作者への指導）
- ブランディングのためのアクション計画策定支援と実施指導（ex.販売プロモーション、商品開発）
- 販路開拓・開発のためのアドバイス

## 【成果（見込み）】

### （初年度）

ブランド価値規定ワークショップの企画立案・開催、ブランドシンボル制作指導  
→ 令和7年度には全4回開催（総計：61名参加）  
ニセコ町野菜の価値明確化、価値が最大限生きるネーミング・ロゴの検討

### （今後の見込み）

ブランディングのためのアクションの計画策定支援・実施指導  
（ex.パッケージ/グッズ開発の支援、PRやホームページなどでの情報発信の支援など）  
→ 直売会の収益向上および向上した収益を活用した人員の増員  
→ 増員した人員によるサービス開発、EC販売など販路拡大、農作物集荷物流の構築



（ブランド価値規定ワークショップ）

# No.13 北海道真狩村（SBP推進による人材育成）

地域力創造アドバイザー	岸川 政之氏（A310）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（村への招聘は年6回程度。オンラインを含めると月2回程度）
キーワード	#未来の大人 #地域課題 #地域活性化 #人材育成 #地域ビジネス創出事業 #SBP #他校との交流 #村のPR活動 #商品開発

## 【目的】

- ・真狩村内の未来の大人（小中高校生などの若者）や村民、小中高等学校、村内各種団体、企業、行政などが主体となって地域活性化を進める取組を持続させる仕組みを作る。
- ・未来の大人に対し、自身の気づきや学びによる『行動することの大切さ』、『社会性の向上』などの成長を促せる舞台を整え、地域の課題を自分事で捉え解決できる人材を輩出する仕組みを作ることにより、地域活性化に繋げる。

## 【内容】

- ・地域ビジネス創出事業（SBP：Social Business Project）の推進（各種講演会、研修会、ワークショップ等の開催によるネットワークの構築）
- ・未来の大人に対しての全国での研修（交流フェア参加、道外他校との交流、村のPR活動等）
- ・地元特産品を使用した商品開発、販売促進

## 【成果（見込み）】

未来の大人（小中高校生などの若者）が地元地方公共団体や関係者と連携しながら、地域の課題を解決していく。

- 令和7年度の主な取り組み
- ・未来の大人による村内取材（村民、産業、行政）を通してのPR動画の制作
- ・未来の大人による地元農産物を使用したのスープ作り
- ・SBP授業全体発表会の開催
- 今後の事業見込み
- ・修学旅行時等での他校との交流、道外での村PR活動
- ・地元農産物を使用したの商品開発



SBP授業全体発表会の様子



地域住民を招きスープの試食会

# No.14 北海道浦臼町（特産品等ブランド化支援）

地域力創造アドバイザー	金澤 一行氏（A348）
活用分野	住民参加、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月2～3回程度）
キーワード	#ブランド化 #農産物 #地域産業 #合意形成

## 【目的】

- 浦臼町の農産物は多品種で高品質であるが、市場の価格面での評価が十分ではない。
- 特に青肉メロンキングメルティーは、香りも高く格別に食味のよい品種であるが、生産の手間と難易度、日持ちの短さから道内から姿を消しつつある。食味で他の品種の標準偏差を大きく超えるキングメルティーをブランドの牽引役として商品価値を高め露出を増やし、「浦臼」のブランドを高め、他の農産物のブランド力も高めていく。

## 【内容】

<生産者の合意形成からの戦略策定までの伴走支援>

- 昨年度策定した戦略に基づき、キングメルティーの販促を行った。名称を「浦臼キングメルティー」と統一し、農協・生産者・町が一体となり共通ブランドで販売を行えるようになった。そこにあわせて、生産者の自主的なPR活動を支援し、SNSの発信、TVへの出演、新聞記事への掲載、ネットで販売できる地元農産物のショップを久世福商店のECに開設するなどし、単価の向上を目指した。また、フランスの三つ星レストランでスーシェフを務めた日本人シェフをお招きし、生産者と交流しながら商品売り込み、プロモーションの協力を取り付けた。
- 農閑期には、次年度の戦略を策定し、さらなるメディア露出のための戦略、GI表示の取得、ミシュラン星付きレストラン等の権威ある主体との協力の体制とツールを整備する。

## 【成果（見込み）】

- JA・各生産者がこれまでバラバラにしていた販促を「浦臼キングメルティー」という名称に統一し、共通のロゴ、箱、リーフレットを用いるように体制を整えデザインを一新し販売を開始した。
- 単価が上昇するとともに、これまでキングメルティーを知らなかった新規のお客様からも問い合わせをいただくことが増え、認知度と価値が向上している。
- 外部からの評価が大きくなることで生産者が自信を強めた。  
団体を立ち上げ、自主的に活動するとともに、意思決定が早まり、チャレンジングな取り組みができるように活動が加速している。



生産者が町の食育に協力

# No.15 北海道・当麻町（ふるさと住民登録制度を見据えた地域ファン創出）

地域力創造アドバイザー	加藤 博敏氏（A773）
活用分野	関係人口の創出・拡大 他、自治体課題に対するアドバイスや役場外の人的ネットワークの構築
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（年間10日程度）
キーワード	# 関係人口 # ふるさと # 住民登録 # 移住 # 定住 # 交流人口

## 【目的】

「ふるさと住民登録制度」による移住定住に結び付けるための関係人口拡大に向けた実施基盤の整備  
本人の強みとする、事業家としての企画・プロデュース・人材採用・運営まで幅広い視野での助言や、町の課題解決についてのプロセス管理と人的ネットワークを活用した課題解決の事業化支援を行う。

## 【内容】

関係人口拡大施策全体の戦略設計、地域事業者や町の資源を活かしたプロジェクトの提案、移住・定住につながる仕組みづくりの助言。令和7年度に「関係人口施策ロードマップ」を策定し翌年度以降の実施基盤を整備  
当麻町に興味付けする契機となる、特産品の露出拡大や様々なテーマで旅行者（訪問者）を呼び込むツアー素案の助言

## 【成果（見込み）】

「関係人口施策ロードマップ」を策定  
域内事業者の連携強化（役場と農家、役場と振興公社等）  
農業関連におけるツーリズム組成（助言）  
特産品の販路拡大支援

# No.16 北海道・音威子府村（保育園留学の支援）

地域力創造アドバイザー	山本雅也氏 (A642)
活用分野	少子化対策、子ども・子育て支援（子育て支援）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1、2回程度）
キーワード	#交流人口 #保育園留学

## 【目的】

保育園留学実施に向け、ノウハウや課題整理などのアドバイス。事業のデモンストレーションの企画、運営。

## 【内容】

- 保育園留学モデルの設計支援
- 保育園留学の持続可能な地域運営の支援
- 住環境の整備の計画
- その他、保育園留学実施に必要な準備業務
- 子供や教育を軸にした地域づくりの他地域情報の提供

## 【成果（見込み）】

- ・実施計画書の策定
- ・会議実施記録、最終報告書の作成
- ・その他関連資料の作成



受け入れ園の様子

# No.17 北海道苫前町（地域力創造アドバイザー事業）

地域力創造アドバイザー	柴田 涼平氏（A706）
活用分野	地域と関係人口の協働・活動の場づくり、地域づくり人材の育成、多様な関係者間の連携、住民参加
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月2、3回程度）
キーワード	# 関係人口 # 交流人口 # 地域づくり # 地域の担い手 # 若手活躍 # 女性活躍 # 多世代交流 # 住民参加 # 地域ブランディング # 地域おこし協力隊 # 地域運営組織

【目的】住民参加型ワークショップの開催や関係人口・交流人口の創出・拡大を通じ、町独自の魅力や価値を向上させて、地域課題の解決を図る。

## 【内容】

- 次期総合振興計画の策定に関するアドバイザリー
- シティプロモーションの推進に関するアドバイザリー
- 地域づくり人材の育成に関するアドバイザリー



住民参加型ワークショップ

## 【成果（見込み）】

- 次期総合振興計画の策定に向けた住民参加型ワークショップを2回開催。  
北海道大学の学生・院生3名がファシリテーターとしてワークショップに参加、官学連携の推進、交流人口の創出に繋がった。  
ワークショップの評価・分析を通じ、総合振興計画のPDCAサイクルにおける住民参画の機会増が予定されている。
- 地域の若手生産者・地域おこし協力隊員によるトークセッションを町内2回・町外2回（札幌市・東京都）の計4回開催。  
都市と地方との関係構築が図られ、関係人口・交流人口の創出・拡大に繋がった。
- 人財育成を支える持続可能なエコシステムの構築。  
若手生産者・地域おこし協力隊の活動が都市部などに効果的に発信され、地域外からの人材獲得が見込まれる。  
地域おこし協力隊員が中心となって、地域プレーヤーや関係事業者の伴走支援を受けながら、地域商社の設立が予定されている。



札幌市でのトークセッション

# No.18 北海道・斜里町（ビレッジプライド研修）

地域力創造アドバイザー	寺本 英仁氏（A-575）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育（人材研修）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#人材育成 #人材研修 #人材確保 #地域づくり 地域課題

## 【目的】

少子高齢化の影響が広まる中、全国的に公務員離れが起きており、斜里町においても職員応募者数の減少、離職者数の増加により、公務サービスの維持が危惧される状況につながっている。

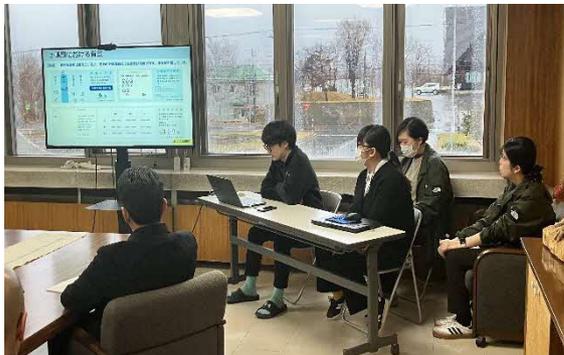
このため、改めて「斜里町」で働く魅力を感じ、各職員がその能力が高められるよう、斜里町の課題、斜里町の職員自身が斜里を学び、斜里について考え、斜里の課題解決に向けての提案等、グループワークを中心とした系統的かつ集中的な研修を行う。地域住民を支える地方公務員として、力量の向上・コミュニケーション能力の向上を目指す。

## 【内容】

- 若手職員を対象に、地域課題解決・政策立案に関するグループワークを中心とした通年の研修を行う。
- 若手職員研修・政策立案に対する提言等

## 【成果（見込み）】

- 地方公務員としての力量向上・コミュニケーション能力の向上。実際に町の政策立案を行う。



（町長等への政策提言）

# No.19 北海道・小清水町（地域おこし協力隊の推進）

地域力創造アドバイザー	浦野 宣幸 氏（A712）
活用分野	地域おこし協力隊の推進
活用期間（頻度）	令和7年度～令和10年度（月4回程度）
キーワード	#地域おこし協力隊 #人材育成 #定住 #地域活性化

## 【目的】

人口減少、少子高齢化が進む中、外部から有為な人材を確保し、地域おこし協力隊員がコミュニティを広げながら、主体的に地域を盛り上げ、その上で地域に定住することを目的とする。

## 【内容】

地域おこし協力隊制度の活用において発生する様々な課題に対し、行政職員や隊員、受入事業者の立場を調整し、中立的な目線で課題整理を行い、地域おこし協力隊の全体戦略を構築する。

- ・地域おこし協力隊のニーズの把握及びニーズに対する施策の創出
- ・募集人材の設定、募集プロセスの構築
- ・事業者への説明会の開催
- ・隊員の人材育成（ワークショップなど）
- ・自走に向けた就業場所の特定とKPI・KGIの設定
- ・マネジメント人材の確保

## 【成果（見込み）】

- ・地域の活性化及び地域おこし協力隊の定住率50%



小清水町地域おこし協力隊員

# No.20 北海道滝上町（まちの最上位計画の策定）

地域力創造アドバイザー	安富 啓氏（A577）
活用分野	協働まちづくりの推進に向けた計画づくりや企画実践の支援
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（概ね月1回程度）
キーワード	#計画の策定 #まちづくり #地域づくり運営組織 #伴走支援

## 【目的】

「童話村をテーマとするまちづくり構想（童話村構想）」を滝上町の目指すべき姿に合わせより深化させるため令和6年度より2か年かけて検討を進めています。「童話村構想」に基づく新たなまちづくりの検討を町民・事業者、町が協働し、地域ぐるみで進める。

## 【内容】

- ・庁内ワークショップ（係長以下の職員が参加）の実施、進行、とりまとめ
- ・議員学習会の開催、進行、とりまとめ
- ・企画会議（若手を中心とした公募による事業者、役場職員等）の実施と助言
- ・滝まち会議（町民参加のワークショップ）の進行、とりまとめ
- ・オープンワークショップ（子ども祭りでの紙粘土創作WSやふるさとまつりでのシール投票）の開催



滝まち会議の様子



子ども夏祭りでの様子

## 【成果（見込み）】

- 「滝上町まちづくり構想～童話村構想を踏まえて～」の策定。3月には計画のお披露目会を予定。
- 令和8年度以降、計画実践に向けた地域づくり運営組織の設立を模索。

# No.21 北海道・雄武町（雄武町地域公共交通アドバイザー委託業務）

地域力創造アドバイザー	特定非営利活動法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 （A294）
活用分野	地域公共交通
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年4回程度）
キーワード	#生活機能の維持 #地域づくり人材の育成・教育 #シティプロモーション・地域PR

## 【目的】

公共交通の有識者で国土交通省関東運輸局地域公共交通マイスターである為国アドバイザーから地域公共交通に係る指導及び助言をいただくことで、当町の持続可能な公共交通サービスを構築する。

## 【内容】

- ・既存データの調査・分析による実態把握
- ・地域公共交通に係る課題の整理と方向性の検討
- ・公共交通等に係る関係者へのヒアリング調査の実施
- ・地区住民との意見交換会の実施
- ・持続可能な公共交通体系に関する指導・助言、提言書作成



コミュニティバスの運行



路線バスの町内移動無料化

## 【成果（見込み）】

- ・地域公共交通計画の策定
- ・地域公共交通活性化協議会の開催
- ・北海道運輸局及び北見運輸支局との調整
- ・住民、交通事業者とのヒアリング報告書



地域公共交通活性化協議会の様子

# No.22 北海道豊浦町（豊浦町地域公共交通計画推進アドバイザー業務）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏氏（A294）
活用分野	地域交通
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	# 地域交通 # 人材研修 # 政策提案

## 【目的】

持続可能な地域公共交通網の構築を目指し「豊浦町地域公共交通計画」を推進し、具体的な交通形態を調整・決定するにあたり、公共交通に係る知見を持つ専門家に対し、必要な調査、分析、施策提案及び関係者への説明などの計画推進に必要なアドバイザー業務を委託する。

## 【内容】

- 地域公共交通活性化協議会の運営支援
- 新たな公共交通体制の運行計画の検討・策定
- 関係機関との調整・ヒアリング業務
- 町民意見交換会の実施

## 【成果（見込み）】

- 今後の交通に関して、町民を対象にまちの意見交換会開催（R6）  
⇒10月：町内5か所 合計13名参加
- 事業者等ヒアリング実施（R6）
- 豊浦町地域公共交通計画の策定支援（R6）  
⇒令和7年3月7日策定
- 豊浦町地域公共交通活性化協議会へアドバイザーとして出席  
⇒令和6年度3回/令和7年度1回
- 町議会議員向けに地域公共交通勉強会を開催（R7）



（R6.10 町民意見交換会の様子）

# No.23 北海道池田町（「池田町でやりたいこと」プロジェクト実現の実現等）

地域力創造アドバイザー	ゆとり研究所 野口 智子 氏 (A218)
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月5回程度）
キーワード	#まちづくり #地域の担い手 #魅力発掘 #地域力向上 #賑わい創出 #若手活躍 #女性活躍 #多世代交流 #チャレンジショップ #伴走支援

## 【目的】

池田町協働のまちづくりセミナーで具体化された「池田町でやりたいこと」プロジェクト実現に向けた活動に対する支援及び、池田町内の新たな人材を発掘し、新たな視点でまちづくりに参画してもらえる機運を造成するための活動を行う。

## 【内容】

- 「池田町でやりたいこと」プロジェクトの推進
- 池田町内の人材発掘
- 地域力向上に向けた取り組み

## 【成果（見込み）】

- 令和7年度 池田町内の人材約80人との面談を予定  
⇒池田町人材リストの作成を行う。  
⇒面談したメンバーの活動内容に合わせて個別イベント開催へ向けたアドバイス等を実施  
⇒町民有志が企画・発行した池田町のワイン歴史を題材としたマンガ「ゼロからのチャレンジ！！わたしたちの町にお城がある理由～」発行1周年を迎えるにあたり「ゼロチャレ1周年記念イベント実行委員会」発足のアドバイス等を行い令和8年2月に発行1周年イベントを町民有志にて開催する。  
(ゼロチャレ1周年記念イベント実行委員会発足)
- 令和8年度 人材リストを活用しプロジェクト推進  
⇒「池田町でやりたいこと」プロジェクト実現に向けた活動を行う。
- 令和9年度 「池田町でやりたいこと」プロジェクトの実現



# No.24 北海道弟子屈町（温泉熱等を活用した農作物創出等事業）

地域力創造アドバイザー	青山 光彦氏（A521）
活用分野	環境保全・SDGs（分散型エネルギーシステム、地球温暖化対策）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#農作物創出 #観光農園 #地域活性化 #魅力向上 #課題解決 #脱炭素 #再生可能エネルギー #温泉熱 #地場産品 #産業間連携

【目的】本町特有の資源である温泉を活かした新たな農作物（地場産品）の創出と、新たな地域アクティビティとしての観光農園事業の立ち上げにより、本町の地域活性化や魅力向上に資することを目的とする。

## 【内容】

- 事業基本構想の策定
- 事業計画の策定
- 先進地事例視察の実施



（先進地事例視察の様子）

## 【成果（見込み）】

- 本町の地域の特色やこれまでのまちづくり計画、関連する計画・プロジェクトの状況、既存の取組状況等を踏まえ、本事業を通して解決が可能な地域課題を明らかにするとともに、本事業の取組意義を具体化して整理。
- 上記の結果を踏まえ、本事業の実現によって目指す将来像を、農作物の視点、地域振興の視点、脱炭素化の視点等から具体化し整理。
- 事業モデルの設定として、事業化に向けて以下を具体化。  
⇒ ①事業実施候補地 ②泉源 ③栽培品目 ④栽培規模
- 事業モデルを前提条件として、必要な温泉熱等の再生可能エネルギーの利用システムを検討し、必要な設備とその出力規模を設定。併せて、それに伴い想定されるCO2削減量を算定。
- 事業スキーム、実施体制の整理と事業採算性の算定、事業スケジュールを詳細化し、アクションプランを策定。

# No.25 北海道・羅臼町（羅臼町DX推進事業）

地域力創造アドバイザー	田藏 大地氏（A658）
活用分野	自治体経営イノベーション（自治体DX）
活用期間（頻度）	令和7年度（年間70日程度）
キーワード	#DX #自治体DX #推進計画 #業務効率化 #業務改善 #IT #ICT

## 【目的】

DX推進計画の策定し、職員の業務効率化、住民サービスの利便性の向上を図る。

## 【内容】

DX化を含めた方法での業務改善を検討・推進し、人手不足の中でも安定的に住民サービスを提供する。

- DX化に向けた取り組みの現状・ポイント・課題等の整理
- 次年度事業計画の策定
- 職員ITリテラシーの向上
- DX推進計画の策定

## 【成果（見込み）】

前年度からの継続支援により、切れ目のないDX推進業務の実現が可能となる。

- 地域活性化企業人の活動への助言
- DXツールの導入検討と業務設計
- 業務設計を活用し、次年度にプロジェクトチームを組織化
- DX推進計画の策定



DX推進計画に関する会議の様子

# No.26 青森県青森市（「あおもり未来共創ラボ」の運営）

地域力創造アドバイザー	玉村 雅敏氏（A402）
活用分野	観光振興・交流、移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1～2回程度）
キーワード	#しごと創り #共創ラボ

## 【目的】

青森市におけるしごと創り

## 【内容】

- 本市では、第1次産業から第3次産業までの幅広い分野において、産学金官が「共創」により取り組むしごと創りに向けた指針として「青森市しごと創造戦略」を策定した。
- 本戦略の推進にあたって、産学金官が連携して新たに取り組む29の「共創プロジェクト」に関し「あおもり未来共創ラボ」において事業化を目指すこととしている。
- 当該ラボは、玉村地域力創造アドバイザーからの支援・助言のもと運営し、産学金官の関係者に参画いただくことにより、実効性の高い研究体制を構築し、各共創プロジェクトの事業化に向けた取組を進めている。

## 【成果（見込み）】

- 現在、29の「共創プロジェクト」のうち、「若年層への新たな起業・創業支援」、「高速・高鮮度化による高付加価値化」、「観光客の市内周遊・滞在促進」、「地元企業への理解を深める取組の推進」の事業化に向けて研究に取り組んでいる。
- 令和8年度は玉村地域力創造アドバイザーからの支援・助言のもと、引き続き研究に取り組み、事業化する予定としている。



各ミーティングの様子

# No.27 青森県・八戸市（ふるさと納税推進）

地域力創造アドバイザー	松永 浩司氏（A550）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#ふるさと納税 #地域資源 #地場産品 #販路開拓 #地域活性化 #地場産業振興 #関係人口

## 【目的】

転出超過による人口減少が進む中で、様々なきっかけから当市に興味を持った寄附者の想いや気持ち、まちづくりへの参加意欲等を市の施策に反映させながら、継続的につながりを深めるとともに、財源の確保を図る。

## 【内容】

「事業(ふるさと納税)」	「アドバイザーの活用」
○市の施策（寄附金使途）や地場産品等のPR	○現状把握
○返礼品開拓等	○課題共有
○寄附受付サイトの運営	○課題解決案の助言
○返礼品進呈	○有効施策の助言
	○次年度計画策定支援

- 業務委託先の観光地域づくり法人と共に受講
- 地域事業者への意識啓発のための講演も実施

地域内での自立・自走を目指す。

## 【成果（見込み）】

関係人口の創出や寄附金の獲得により、地域課題の解決や地域活性化が図られる。

### 「寄附金目標額」

令和6年度実績：176,118,025円 ⇒ **目標額：300,000,000円**



受講の様子

# No.28 青森県・平川市（産業振興基本構想推進アドバイザー）

地域力創造アドバイザー	高坂 幹氏（A643）
活用分野	産業振興、6次産業化、販路開拓・販路拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1、2回程度）
キーワード	#産業振興 #地域活性化 #地域資源の活用 #地域一体型6次産業化 #販路開拓・販路拡大 #地場産品発掘 #ひらかわモデル #伴走支援

## 【目的】

平川市産業振興に係る基本構想に掲げる目指すべき将来像の実現のため、アドバイザーの助言を活かし、構想の着実な推進を図る。

## 【内容】

- 1 平川市産業振興に係る基本構想会議（令和7年度は2回開催）での助言
- 2 農作物の付加価値向上に向けた可能性調査への参画
- 3 その他基本構想の進捗に関する各種サポート



1次事業者へのヒアリング



平川市産業振興に係る検討会

## 【成果（見込み）】

- ・オブザーバーとして「平川市産業振興基本構想推進会議」に出席  
農・商・観の関係団体代表、1～3次事業者、金融機関、大学教授などで委員を構成する会議へオブザーバーとして出席し、会議案件である基本構想のローリングや各種関連事業の進捗状況確認などに対して助言を行った。
- ・農作物の付加価値向上に向けたヒアリング調査等への参画  
「地域一体型6次産業化」の具現化のため市内の1次・2次・3次事業者を対象に行ったヒアリング調査に同行、調査結果の取りまとめにも参画した。  
また、ヒアリング対象者を集めて開催した検討会では、ヒアリング結果を踏まえた事例発表を行ったほか、ワークショップのグループリーダーを務めた。



# No.29 青森県中泊町（パイロットプロジェクト検討フィールド調査実施業務）

地域力創造アドバイザー	高坂 幹（A643）
活用分野	防災・減災 危機管理、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#地域の担い手 #自主防災 #共助 #地域づくり #人づくり #他世代交流 #女性活躍 #伴走支援 #町づくり #人口減少対策 #ワークショップ

## 【目的】

本業務は、町が抱える地域課題の解決に向けて、青森公立大学による実地調査、地域住民とともに学生フィールド調査を実施することで、地域課題を共助で解決する力を養い、人口減少社会にあっても持続可能な町づくりを進めることを目的に実施する。

## 【内容】

- ・ 共助による自主防災に関する調査
- ・ 設置済みの自主防災組織状況調査
- ・ 地域住民の防災意識調査
- ・ 大学生、地域住民、地元小中学生、地元自治体によるまちあるき調査やワークショップの開催



（集落点検まちあるきの様子）

## 【成果（見込み）】

自主防災組織設立に向けた機運の醸成（年度内に1地区増加）  
共助力の強化や慣れ親しんだ地域の特性を再認識する。



（ワークショップの様子）

# No.30 岩手県盛岡市（中小企業振興基本計画策定関係事業）

地域力創造アドバイザー	山本 尚史 氏（A083）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地域中核企業等の支援）
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年5回程度）
キーワード	# 中小企業振興基本条例 # 地域経済循環 # 商業振興 # 戦略的連携 # エコシステム # シビックプライド # 政策評価

## 【目的】

「「より強い」地元経済が元気なまち」の実現に向けて、分野や業種を越えた中小企業振興策のあり方を検討し、より活発な地域経済循環に導く基本方針を定めるもの。

## 【内容】

- 「盛岡市商業振興ビジョン」の中間見直しにおける助言（R5）
- 中小企業者、商業振興推進会議委員へのレクチャーによる中小企業振興基本条例制定に向けた意識の醸成（R5～6）
- 中小企業振興における優良事例や新戦略の紹介、盛岡市での実施可能性の検討（R5～7）
- 中小企業振興基本条例の策定過程での助言（R6～7）
- 中小企業振興に係る審議会等の組織構築に係る助言（R6～7）
- 中小企業振興基本計画の策定準備（統計分析、アンケート調査等）における助言（R6～7）

## 【成果（見込み）】

- 中小企業振興基本条例の制定に向けた中小企業者、支援機関等との意見交換（R5～7）（延べ15回実施予定）
- 市内企業、支援機関等の訪問、現状分析（R5～7）（延べ15回実施予定）
- 盛岡市商業振興ビジョンの改訂（R6.3）
- 中小企業振興基本条例の制定（R8 予定）
- 中小企業振興に係る審議会等の組織の構築（R8 予定）
- 中小企業振興基本計画の策定（R9 予定）



中小企業事業者等と市職員とのワークショップ

# No.31 岩手県盛岡市（盛岡市中心市街地デザイン戦略検討支援）

地域力創造アドバイザー	臂 徹 氏 (A372)
活用分野	中心市街地活性化
活用期間（頻度）	令和7年度（月4回程度）
キーワード	#中心市街地活性化 #まちづくり方針 #公民連携

**【目的】** 中心市街地における盛岡らしい景観の保全と都市機能確保の両立に向け、今後の公共施設の整備や民間開発を適切な方向に誘導するため、都市計画マスタープランと個別計画をつなぐ都市整備のビジョン（＝「盛岡市中心市街地デザイン戦略」）の検討を支援するもの。

## 【内容】

- 関係者ヒアリングの支援
- 盛岡市中心市街地デザイン戦略素案に関する市民との意見交換
- まちづくりに関する専門家としての意見交換会へ出席
- 盛岡市中心市街地デザイン戦略の成案化支援

## 【成果（見込み）】

市内中心部を細分化し、各エリアの特徴と課題、将来ビジョンを示す

「盛岡市中心市街地デザイン戦略」を策定

- これまでヒアリングした関係者が一堂に集合する情報共有会を主催、内容の確認と今後の進め方について意見交換（20名が参加）
- 盛岡市中心市街地デザイン戦略素案へのパブリックコメント実施期間に合わせて、官民連携まちづくりイベントを開催したが、その企画、運営への指導・助言（約1,000名が来場）
- 官民連携まちづくりイベントの一つである「盛岡市中心市街地デザイン戦略に関する市民フォーラム」におけるパネルディスカッションにファシリテーターとして参加（126名が聴講）
- デザイン戦略に基づく民間側の実践として、民間まちづくりデザインコンペの運営を支援（全国から24者が応募）



上：これまでヒアリングした関係者を対象とした情報共有会



左：市民フォーラムにおけるパネルディスカッション

# No.32 岩手県奥州市（話し合いの体制づくり支援等）

地域力創造アドバイザー	若菜 千穂氏（A437）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（農業生産基盤の強化）
活用期間（頻度）	令和7年度（年10回程度）
キーワード	#農業 #地域計画 #地域の担い手 #伴走支援 #人口減少 #高齢化

## 【目的】

人口減少や高齢化や進む地域において、地域農業の将来のあり方に関する自主的な話し合いを支援し、地域に応じた話し合い体制の構築を図る。

## 【内容】

### ○農地・農村を語る会の開催

話し合い体制づくりが必要な地区において、農地や農道、水路の管理や鳥獣被害などの課題について図面づくりを通じて共有し、「地域がこうあったらいいな」という取組について話し合い、持続可能な地域農業に関する話し合いの体制づくりを支援する。

各テーブルの話し合いでは、地域づくりに関心の高い「奥州市協働のまちづくりアカデミー修了生」がテーブルファシリテーター役を担い、課題等を引き出す。

## 【成果（見込み）】

- ・地域における将来の農業の在り方に関する関心の高まり。
- ・農地を受けきれない担い手の実情や増加する鳥獣被害など具体的な課題に対しての対応策を話し合う場づくりのきっかけ。
- ・地域づくりに関心の高いメンバーが地域課題を引き出すことにより、地域外人材や非農家の関わり方のヒントが得られる。
- ・今後は地区内の若手農業者を中心にした話し合いも行う予定。



（アドバイザーによる趣旨説明）



（江刺梁川地区の話し合いの様子）

# No.33 岩手県・奥州市（後継者インターンシップ）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	事業承継等の支援、地域おこし協力隊の推進 若手人材・担い手育成
活用期間（頻度）	令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 伝統的工芸品 # 商品開発 # インターンシップ # 担い手育成 # 販路開拓 # 後継者 # 職人 # 地場産業

## 【目的】

現在1名のみとなっている伝統工芸品である岩谷堂筆筒の彫金職人の技術の継承と持続的発展のため、後継者候補を選定し、奥州市の地域おこし協力隊としての活動を目指す。

## 【内容】

- 後継者受入れ事業者向け説明会の実施
- 全国のモノづくり系・美術系学校への説明、募集告知
- 参加者選定のための書類選考・オンライン面談の実施
- 岩谷堂筆筒彫金職人後継者インターンシップ（1泊2日）の開催
- 移住準備を含めた2回目のインターンシップ（1泊2日）の開催
- 移住・就業までの内定者フォローアップ

## 【成果（見込み）】

- 応募人数 43名
- 後継者インターンシップ参加者 6名
- 後継者1名の内定及び内定承諾  
⇒令和8年度から奥州市地域おこし協力隊員として彫金技術の習得と伝統産業の魅力発信に取り組む予定



# No.34 岩手県岩手町（ふるさと納税を活用した地域活性化アドバイザー事業）

地域力創造アドバイザー	松永 浩司 氏（A550）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和7年度（月2回程度）
キーワード	#特産品開発 #マーケティング #地域活性化 #PR #伴走支援

## 【目的】

ふるさと納税制度を活用した町の地域の魅力を生かした特産品の開発、PRの実施等を通じ、マーケティング等に関する実践を町及び町が指定する事業者に対して指導、伴走支援等を受託者が行うことで、町及び町内事業者が主体的に地域の魅力を生かした特産品の開発等を行う体制づくりを進め、地域活性化につなげる。

## 【内容】

- 地域の魅力を活かした特産品開発支援
- 町および事業者PRの実施支援
- 地域の事業者を対象とした学習会等の実施

## 【成果】

- 地域経済活性化のため、地域の魅力を活かした特産品開発支援を実施。
  - 精肉事業者：牛肉を使った商品を提供開始
  - 加工事業者：町内産ブルーベリーを使った商品を提供開始
- 町事業者や伴走支援事業者へPR及びマーケティング等に関する助言・指導。
  - 町内団体：商品価格の適性等に関する助言を行い、価格変更を実施
  - 加工事業者：商品価格の適性等に関する助言を行い、価格変更を実施
  - 精肉事業者：マーケティング等に関する助言を行い、新たな商品の提供を実施
  - 伴走支援事業者：特産品PRに関する指導



事業者説明会

# No.35 岩手県・田野畑村（田野畑村地域おこしプロジェクト）

地域力創造アドバイザー	森田 みか 氏（A729） 山田 洋司 氏（A082）
活用分野	移住・定住推進（地域おこし協力隊の推進）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	# 地域おこし # 地域おこし協力隊 # 地域活性化 # 地域ブランディング # 特産品 # 地方創生 # 関係人口 # 移住促進 # 田舎暮らし

## 【目的】

田野畑村の人口減少を緩やかにし地域を活性化させるため、地域おこし協力隊の獲得を軸にした人が集まる田野畑村の構築に向けた村の取組に関して、外部専門家の知見を活かした指導や提案、助言を受けることで、課題解決の促進に資することを目的とする。

## 【内容】

- 村との検討会を開催
- 村内関係事業者等からのヒアリング
- 村内受入産業（酪農や観光分野）の強化
- 首都圏において、関係者へのヒアリング
- 首都圏でのPR、広報活動



検討会の様子



村内関係事業者ヒアリング



横浜でのイベントポスター

## 【成果（見込み）】

- 村内各部署での情報共有及び目的共有のため、検討会を3回、スタッフミーティングを3回開催
- 村内の4事業者と意見交換
- 首都圏での田野畑村認知度向上のためのイベントを2回開催
- 首都圏の大学との「地域おこし協力隊」に関する協力体制確立
- 首都圏ホテルへの村内地域資源（酪農商品、鴨肉）の販路開拓

# No.36 宮城県・石巻市（二地域居住促進施策の検討）

地域力創造アドバイザー	関 幸子氏 (A063)
活用分野	まちなか再生、関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#二地域居住 #関係人口 #政策立案 #地域活性化 #交付金申請

## 【目的】

- ・二地域居住を通じて地域との継続的な関わりを創出し、地域活性化及び人手不足の解消を図る。

## 【内容】

- ・国土交通省補助事業「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」で実施している取組の実施及び検証
- ・特定居住促進計画の策定支援
- ・令和8年度以降に実施する二地域居住促進施策の検討
- ・地域未来交付金（地域未来推進型）申請に向けた実施内容の検討



（モニターツアーの様子）

## 【成果（見込み）】

- 「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」において、ふるさと納税の仕組みを活用したパッケージ開発等を行い、モニターツアー等を実施した。
  - ・二地域居住希望者向けモニターツアー 5名参加
  - ・石巻専修大学の学生との連携事業「課題解決型ツアー」 6名参加
- 特定居住促進計画の策定・公表
- 今年度実施した実装事業の取組のほか、関氏からの提案に基づき、関係部署と協議を行い令和8年度以降に実施する二地域居住促進施策を検討した。



（関係部署との協議の様子）

# No.37 秋田県湯沢市（道の駅おがちリニューアル整備）

地域力創造アドバイザー	加藤 はと子氏（A718）
活用分野	シティプロモーション・地域PR（地域ブランディング）ほか
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度） ※終期は予定
キーワード	#道の駅 #第3ステージ #地方創生 #地域ブランディング #観光振興 #農産物直売所 #賑わい創出 #人材育成 #経営改善 #全国ネットワーク #残念な道の駅にならないために

## 【目的】

東北中央自動車道の全線開通を見据えた「道の駅おがち周辺エリア」の地方創生拠点化を目指し、道の駅、農産物直売所及び公園の一体利用及び機能の再配置（リニューアル整備）を進める。

## 【内容】

- 道の駅おがちにおける機能や配置の在り方整理
- 民間活力導入可能性調査
- 道の駅に係る運営面の指導・助言
- アドバイザーは上記に係る支援全般を担当



（地元高校生とのWS）



（若者女性団体とのWS）

## 【成果（見込み）】

- 市民・関係団体等との合意形成  
市民や利用者へのアンケート調査、地元団体等で構成される市民会議の開催のほか、若者女性団体や地元高校生とのワークショップ開催など重層的に意見聴取を実施（計10回以上）
- 機能・規模の再配置計画の整理  
飲食機能や直売所機能の移転など、利用者ファーストで機能・規模を再編
- リニューアル計画の作成  
上記の検討に加え、事業手法、VFM算定、整備スケジュールなどを整理



（リニューアルイメージ）

# No.38 秋田県にかほ市（仁賀保高校魅力化プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	藤岡 慎二氏（A302）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	# 高校魅力化 # 地域コーディネーター # 学習センター # 公営塾 # 進学支援 # 地域連携

## 【目的】

- 仁賀保高校と地域の連携強化や探究活動のサポート、学習環境の最適化を図ることで生徒の高校生活の充実と学力向上、希望する進路実現をかなえる。
- 仁賀保高校のイメージアップと魅力向上により生徒数が増加し、地域の活性化につながることを期待される。

## 【内容】

- 探究活動の支援（地域コーディネーターの支援）
- 学習サポート（学習センター運営の支援、センタースタッフの支援）
- 教育シンポジウムの開催（企画・運営）
- 学校との連携支援（高校管理職・担当教員へのヒアリング、定例会議の組成・実施）

## 【成果（見込み）】

- 学習センターの運営による、生徒の学習習慣の定着および希望する進路の実現
- 学習センターの体制や成果を周知することによる、仁賀保高校のイメージアップと魅力向上



（学習センター紹介リーフレット）

# No.39 秋田県仙北市（政策支援アドバイザー）

地域力創造アドバイザー	細川 甚孝 氏（A648）
活用分野	行政組織・地域社会の再生へ向けた総合的支援
活用期間（頻度）	令和7年4月～翌3月（月2～3回程度）
キーワード	#政策支援 #行政改革 #地域づくり #若者会議 #地域の担い手 #若手活躍 #スキルアップ

## 【目的】

市政方針の実現に向けて行う行財政改革による財政規模の適正化を推進し、市長の適切な政策判断に必要な情報整備及び事業評価制度の確立、身の丈にあった財政規模への転換、市民との対話と職員が効率的に活動できる体制づくり、若手職員の育成を図る。

## 【内容】

- 市民意識調査に係る調査票作成及び調査結果の分析に対する助言
- 事務事業評価業務等への助言
- 総合計画策定への助言
- 人事研修の実施等



事務事業評価に係る事業評価会



## 【成果（見込み）】

- 市民意識調査を市民3,000人へ行い、市民の市が実施している施策への満足度調査を実施。  
⇒政策アドバイザーによる調査結果の詳細データを生かした各種施策への助言を部局ごとに 行政計画策定に対する研修風景  
部局経営方針シートへ反映させる等施策のブラッシュアップを実施。
- 行政評価として行政評価システムを構築し、施策や事業の評価方法を見直しブラッシュアップを実施。  
⇒行政評価システムによる事業評価を行い、2025年度は利用者の増加が見込めない事業等を廃止し、  
他事業実施のための財源確保に至った。
- 管理職向けに行政評価や行政計画策定に際してのスキルアップ研修を開催。  
⇒マネジメント層の施策立案・行政評価のスキルアップを実現。

# No.40 秋田県井川町（ふるさと納税の活性化）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地場産品発掘、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年5回程度）
キーワード	#地域ブランディング #ふるさと納税 #特産品（返礼品）開発

**【目的】** 他地域の事例を踏まえた返礼品開発やそのために必要な体制づくりを行い、販売戦略やアプローチ方法など当町の実情にあった取組で地域ブランディング及びさらなるふるさと納税活性化を目指す。

## 【内容】

- ふるさと納税活性化に向けた検討会
- 他地域の取り組み共有
- 地場産品を活用した返礼品開発アドバイス
- 加工品開発に向けた助言



商品化された枝豆・栗のプリン

## 【成果（見込み）】

○各種ポータルサイトにおける他自治体の取り組み状況の調査・共有。

○ふるさと納税寄附件数・額の増加

令和4年度	寄附件数	寄付額	令和7年度	寄附件数	寄付額
	167件	2,619,000円	(11月末時点)	10,266件	304,625,500円

○原材料を活かした商品開発をするため“他地域の事業者とのマッチング”を提案。

⇒マッチング事業者からアドバイスを受け、町内加工所において商品化へ（今後、ふるさと納税返礼品へ登録見込み）

# No.41 山形県酒田市（公共施設の経営改善・ブランディング）

地域力創造アドバイザー	加藤 はと子氏（A718）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、観光振興・交流、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（令和6年度：月1回程度、令和7・8年度：年5回程度）
キーワード	#指定管理 #公共施設 #観光施設 #温浴施設 #温泉施設 #日帰り温泉 #キャンプ場 #第三セクター #経営改善 #コンサル #PR #SNS #地域ブランディング #地域の担い手

## 【目的】

複数の観光施設の経営改善・ブランディング、地域資源の活用を図る。  
それらの施設を結び付け、回遊を促すことにより、相乗効果を図る。

## 【内容】

- 以下の施設についてアドバイザーによる助言・指導を実施。
  - ・観光施設等：山居倉庫、山王くらぶ、日和山交流観光拠点施設
  - ・温浴施設、宿泊施設：八森温泉ゆりんこ、湯の台温泉鳥海山荘、眺海の森さんさん、アイアイひらた
  - ・キャンプ等レクリエーション施設：鳥海高原家族旅行村



心ほどける空間と星空リトリート  
湯の台温泉 鳥海山荘

## 【成果】

- 各施設の経営改善、収益力強化等に繋がるよう、スタッフのヒアリング、アドバイスとそのアフターフォロー等を実施。
  - ・開館時間、人員配置の適正化、料金設定、ターゲット・コンセプトの設定
  - ・施設内レイアウトの改善 ・広報、SNS活用の改善
  - ・指定管理者自主事業におけるマッチング
- 湯の台温泉鳥海山荘 リブランディング支援「心ほどける空間と星空リトリート」
- 酒田夢の倶楽 山居倉庫からいろは蔵パークへの移転オープン（R7.3）支援  
（令和7年度上半期販売額 前年比140%超を達成）



酒田夢の倶楽（いろは蔵パーク内）  
商品陳列等に関するアドバイス

# No.42 山形県新庄市（道の駅利活用検討調査）

地域力創造アドバイザー	片岡 寛明氏（A694）
活用分野	関係人口の創出・拡大、地域と関係人口の協働、シティプロモーション、地域PR、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和7年度（隔月1回程度）
キーワード	# 関係人口 # 協働 # シティプロモーション # 地域PR # 地域ブランディング # 観光振興 # 魅力増進 # 賑わい創出 # 道の駅 # 指定管理

## 【目的】

- ・新庄エコロジーガーデンを新たに道の駅として運営するにあたり、今後の利活用に向けて施設の魅力増進を図る。
- ・専門家の助言を受け指定管理者の選定要綱・仕様書を作成すること。

## 【内容】

- ・施設の利活用に関するヒアリング調査や施設の魅力増進につながる指導及び助言
- ・指定管理者選定のために作成する要綱案や仕様書案への指導・助言



## 【成果（見込み）】

- ・指定管理者選定のための要綱、仕様書の完成。指定管理者の決定。
- ・道の駅のオープン（2026年4月オープン記念イベント予定）



（kitokito Marche）



（冬のアクティビティ）



（エコロジーガーデン）

# No.43 山形県中山町（課題解決のための政策立案）

地域力創造アドバイザー	寺本 英仁氏（A575）
活用分野	10.地域づくり人財の育成、教育
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回）
キーワード	#人材育成、#課題解決、#伴走支援、#コミュニケーション力

## 【目的】

地域力創造アドバイザー指導のもと、自分の働く職場や生活する地域に誇りを持ち、職員同士の柔軟かつ良好な横のつながりを築くとともに、町や職場の課題解決に取り組む経験を通して組織全体のチーム力向上を図りながら、地域独自の魅力や価値の向上など地域力の高めていく。

## 【内容】

- ①前期は、設定したグループ課題（3点）から1つを選択、グループ内で協議を繰り返しながら課題解決を図る。
- ②グループ課題に対する「課題解決フォーマット」を作成、さらにそのフォーマットを基にプレゼン資料を作成し、課題解決の方法を発表する。
- ③後期は、各職員が従事する業務における課題及びその解決にむけた「課題解決フォーマット」の作成。
- ④「課題解決フォーマット」を基にプレゼン資料を作成、課題解決の方法を発表する。

## 【成果（見込み）】

- ①1つの課題を解決に向け調査・検討を繰り返しながら、チームとしての課題解決策を提案できる組織力・チーム力を養う。
- ②各職員が抱える課題や情報を共有することで、互いがどのような業務に従事し、どのような課題に直面しているのか、相互理解を深めながら、個人の能力及びでチーム力を向上させていく。
- ③職員各自の業務課題に対する政策立案を、他の部署で働く職員の助言を受けブラッシュアップを繰り返しながら整理・検討していくことで、課題解決能力を磨きあげる。



（研修の様子）

# No.44 山形県飯豊町（ローカルビジネス創出の支援）

地域力創造アドバイザー	嶋田俊平氏（A681）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（起業支援）
活用期間（頻度）	令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	# 伴走支援 # 地域戦略策定 # 人起点 # 起業支援 # 産業振興 # 地域商社 # 人材育成

## 【目的】

町内の資源を活用し、思いのある人と人をつなげながら、創発を促すことで、将来にわたり持続可能な地域社会を構築する

## 【内容】

都市部人材と地域人材が、地域資源を活用したローカルビジネスの創出を目指して、フィールドワークやグループでのディスカッションを通じて、ローカルビジネスモデルの創出を目指す。

ローカルビジネス創出に向けたプロジェクトチームへのアドバイス、起業化に向けた伴走支援



町内フィールドワーク



ビジネスモデルのプレゼンテーション



チームによるグループワーク



地域人材ヒアリング

## 【成果（見込み）】

地域資源を活用したローカルビジネスの創出

プロジェクトを通じた関係人口の創出による、地域の活性化

プロジェクトをきっかけとしたチームと町民有志によるNPO法人の設立、株式会社の設立

# No.45 福島県檜枝岐村（中間支援組織づくり・人材育成等）

地域力創造アドバイザー	石井 重成氏（A530）
活用分野	関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	# 地域おこし協力の推進 # 官民パートナーシップ # EBPMに基づく政策立案

## 【目的】

昨年度実施した地域おこし協力隊制度の活用に向けたワークショップ等をいかし、より制度を活用することや地域課題解決のため、中間支援組織設立に向けた検討や地域内の人材育成を図ることで地域活性化を目指す。

## 【内容】

- 中間支援組織設立に向けた設計や関係者との協議・意見交換会を実施
- 行政、民間事業者との先進地視察コーディネート
- 役場若手職員を中心とした地域活性化に向けたワークショップを開催



先進地視察



若手職員との  
ワークショップ

## 【成果（見込み）】

- 中間支援組織設立に向けた村内での合意形成の推進と若手職員による地域活性化事業の検討
  - 役場、民間事業者との中間支援組織の有効性についての確認や設立に向けた協議を重ね、組織の設立を目指す
  - 昨年度に続き地域おこし協力隊の制度と運用のアドバイスによりR8年度より1名の協力隊員採用予定
  - 役場若手職員とのワークショップにより行動を促し、地域活性化につながる事業を行う

# No.46 福島県南会津町（南会津高校を核とした地域人材育成事業支援業務委託）

地域力創造アドバイザー	藤岡 慎二氏（A302）
活用分野	地域と教育機関の連携（高校魅力化・域学連携等）
活用期間（頻度）	令和7年4月～令和8年3月（年度内見込み20日程度）
キーワード	# 高校魅力化 # 魅力の発掘 # 人材育成 # 地域連携

## 【目的】

- ①地域と連携した学びやひとつのことに打ち込んだ経験などを通じて、地域への愛着を醸成し、将来の地域づくりを支える人材の育成に取り組み、南会津高校が地域内外から選ばれるような高校になることを目指す。
- ②南会津町ならではの魅力ある高校づくり、教育環境の整備を支援しながら、最終的に地域の将来を担う人材の育成を目指す。

## 【内容】

- 事業のビジョン策定
- ビジョン策定ワークショップの開催
- ワーキンググループの組成・実施
- 地域コーディネーターの採用・支援
- 生徒の放課後活動の支援
- 各関係学校へのヒアリング
- プロジェクト推進支援
- 資料作成

## 【成果（見込み）】

- ・事業のビジョン策定



高校魅力化の講演



ビジョン策定ワークショップの実施

# No.47 福島県・猪苗代町（DMO登録支援）

地域力創造アドバイザー	高橋 一泰氏（A652）
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月2回程度）
キーワード	#DMO登録 #観光振興 #インバウンド #伴走支援

## 【目的】

（一社）猪苗代観光協会が目指すべきDMOの形を検討し、観光庁へ提出する「観光地域づくり法人形成・確立計画」作成並びに同協会の法人機能強化に関する伴走支援。

## 【内容】

- 観光庁へ提出する「観光地域づくり法人形成・確立計画書」作成に関する支援
- DMO登録に向けた他地域活動に関する情報収集並びに提供
- 法人経営補助並びに事業実施補助

## 【成果（見込み）】

令和7年10月1日に（一社）猪苗代観光協会が地域DMOに登録された。



DMO登録証交付式

# No.48 福島県・棚倉町（地域の統一的なブランディングの構築）

地域力創造アドバイザー	浦野 宣幸氏（A712）
活用分野	地域資源を活用した官民連携によるまちづくり
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	# 地域資源の掘り起こし # 地域資源の価値向上 # 地域ブランディング # ブランド戦略 # 地域おこし協力隊

## 【目的】

棚倉町の歴史や自然、文化など地域資源から棚倉町の価値を向上させ、町外からの交流人口の促進を図るため、観光物産協会など地域内団体や外部事業者と連携して地域の魅力の掘り起こしを行い、それらを活用したブランド戦略を企画立案する。またブランドを構築することで、地域内外に向けて統一感とコンセプトを明確にした棚倉町ブランドの情報発信をおこない、地域活性化を実現する。

## 【内容】

- マーケティングデータに基づいた事業構築
- ブランド戦略におけるツーリズムコンセプトの構築
- 地域おこし協力隊募集プロセスの構築
- 棚倉町役場の部署間を横断した情報発信の仕組みの構築
- 棚倉町が連携する外部法人との事業推進への助言・提言

## 【成果（見込み）】

- 福島県観光入込客数のデータを分析
  - ⇒来訪客のニーズなどターゲット分析
  - ⇒来訪客ニーズから地域資源の分析
- 新たなブランドの資料を作成
  - ⇒観光物産協会や地域内団体と連携した統一的なブランド構築
  - ⇒統一的なブランドによるマーケティング施策の構築
- 交流人口の促進を推進
  - ⇒地域おこし協力隊員の募集プロセス資料の作成、メディア展開、採用活動



（アドバイザーによるアドバイス状況）

# No.49 福島県鮫川村（ローカルゼブラ企業創出）

地域力創造アドバイザー	北川 智博氏（A545）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、観光振興、交流・関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1・2回程度）
キーワード	#地域の担い手 #起業・開業 #起業塾 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #若手活躍 #女性活躍 #若者会議 #賑わい創出 #他世代交流 #伴走支援 #ゼブラ企業 #地域プレイヤー

## 【目的】

過疎化が進む地域の未来に対応するため、地域の強みを活かしたビジネス手法により地域社会性と経済性を共存させられる地域プロジェクトを生み出し、地域課題の解決と地域産業の創出による地域活性化を図る。

## 【内容】

- 地域事業者面談
- ゲストワークショップの開催  
（地域課題、地域ビジネス、DAO取り組み）
- 先進地域の視察研修
- 子ども同伴参加大歓迎の学習会の開催
- 仮説検証
- 地域プレイヤーへの助言、サポート



実行委員による活動報告会



子ども同伴参加大歓迎の学習会

## 【成果（見込み）】

- 地域の若手人材のスキルアップのための、「地域マネジメント実行委員会」の立ち上げと定期的な会議の開催
- 若手の地域プレイヤーによるプロジェクト化と仮説検証の実施。（R7～R8）
- 多世代の地域住民との協働による「ローカルビジネスの立ち上げ」（R8見込）

### ■年度別目的

- R6 事業創出の可能性、視察研修
- R7 実行委員会立上げ、ワークショップ開催、仮説検証
- R8 仮説検証のブラッシュアップ  
ローカルビジネス立上げ



異業種人材で組織した実行委員会

# No.50 福島県浅川町（観光・まちづくり団体の設立）

地域力創造アドバイザー	善井 靖氏 (A084)
活用分野	観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度11月～令和9年度3月（月1、2回程度）
キーワード	#関係人口 #観光振興 #交流人口 #移住・定住促進 #地域おこし協力隊 #人材育成 #にぎわい創出 #ブランディング #魅力発掘 #地域資源活用

## 【目的】

地域おこし協力隊および地域人材の育成を行いながら自走可能な「観光・町づくり団体」の設立をめざし活動。  
今後組織する予定の団体の役割や活動内容の検討をするとともに、「観光・町づくり団体」が自走するための財源となる観光コンテンツの企画も行う。

## 【内容】

- 「観光・町づくり団体」の設立および資金調達の助言
- 浅川町民向け地域活性化セミナーの開催
- 浅川町役場職員様向けセミナーの開催
- 他市町村の事例を踏まえた浅川町の独自性ある体験コンテンツの造成

## 【成果（見込み）】

- 浅川町民向け地域活性化セミナー/ワークショップの開催  
→計4回開催（※見込み）、参加者40名（※見込み）  
→参加者のうち1名が地域おこし協力隊として着任、起業
- 「観光・町づくり団体」の設立および資金調達の助言  
→地域事業者、町民、地域おこし協力隊の計6名が参画する「観光・町づくり団体」の設立。  
→団体の活動資金および拠点づくりにおける資金調達に関する助言とサポートを実施。



▲町民向けセミナーチラシ



▲町民・役場職員向けセミナー風景

# No.51 茨城県常陸大宮市（やすらぎの里公園ブラッシュアップ推進事業）

地域力創造アドバイザー	片岡 寛明氏（A694）
活用分野	観光振興・交流（地域おこし協力隊の推進）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	# エリア構想 # ブラッシュアップ # 観光誘客 # マーケティング # 観光施設魅力化 # 課題整理

## 【目的】

- ・「やすらぎの里公園」のエリア全体戦略の策定と実施推進にかかる助言。
- ・「やすらぎの里公園」のブラッシュアップにより、民間事業者が参入することで、民間事業者の持つ知識や活力を活用することで、市内観光施設の拠点のひとつとして観光誘客の増加及び施設運営費の削減を目指す。

## 【内容】

- ・事業環境調査及びマーケティングによるエリア構想の策定。
- ・エリア全体構想に向けた公園施設の魅力化等の詳細設計。
- ・各種交付金等の財源確保にかかる助言。

## 【成果（見込み）】

- ・「やすらぎの里公園」のエリア全体戦略の策定および公園施設の魅力化等の詳細設計
- 今年度は公園エリア全体の機能・資源・動線の定義づけと課題整理を実施。
- ①管理運営、集客、事業化の論点を可視化し、関係者合意の基盤を構築。
  - ②来年度で区分別戦略を確定し、中長期計画へ反映する体制を整備する見込み。



現地訪問にてエリア区分と課題を  
現地スタッフと共同で実施し見える化

# No.52 茨城県那珂市（道の駅整備）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月2、3回程度）
キーワード	#観光振興 #6次産業化 #魅力発掘 #地域ブランディング #販路開拓 #官民連携

## 【目的】

那珂インターチェンジ周辺を活用した地域活性化を図るため、複合型交流拠点施設「道の駅」を整備する。本市と地域内外の魅力をつなげる拠点として「道の駅」を整備し、魅力的な機能・サービスの提供を図る。

## 【内容】

各種委員会を設置し、施設設計、コンセプト立案、コンテンツ企画、収支計画の策定に向けた検討を行う。「道の駅」の運営における事業採算性など、経営的な視点に着目した事業計画の立案により、持続可能な施設運営を実現するための総合的支援を行う。



- 南棟（製造直売・フードホール・観光案内）
- 東棟（カフェ・休憩スペース・トイレ・道路情報案内）
- 西棟（農産物直売所・観光物産販売所・加工施設）
- 北棟（屋内あそび場・子育て支援）
- その他施設（防災機能・交通アクセスの向上）

## 【成果（見込み）】

運営効率を考慮した施設設計、飲食コンテンツの展開、サービスコンセプトの決定  
出荷者組合の設立に向けた生産者への理解促進



# No.53 茨城県稲敷市（公共交通の再編成等）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏氏（A294）
活用分野	生活機能の維持、地域づくり人材の育成・教育、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度（月1回程度）
キーワード	# 地域公共交通 # 公共ライドシェア # 持続可能 # 過疎 # まちづくり # 伴走支援 # 人材育成 # モビリティサービス # 地域公共交通マイスター # 人口減少 # 少子高齢化

【目的】公共交通事業者の衰退が生じている現状において、公共交通事業者間の整理とともに、利用者の多様化等も踏まえ、財政面等も含めた総合的な観点からの公共交通の本格的な見直しを図る。

## 【内容】

- （1）持続可能な公共交通体系に関する指導・助言業務
  - ・担当者及び庁内関係部署との打合せ協議
  - ・交通体系の再編に向けた指導・助言
- （2）事業内容検討・調整に関する支援業務
  - ・交通事業者・関係機関等との調整協議支援
  - ・地域住民等との意見交換支援
- （3）見直し作業支援業務
  - ・見直しの基礎調査等分析に係る指導・助言
  - ・見直し方針等の作成に係る指導・助言



市民ワークショップ



持続可能な地域づくりシンポジウム

## 【成果（見込み）】

- 既存路線の再編及びデマンド交通導入準備
  - ⇒ 交通事業者ヒアリングおよび協議
  - ⇒ デマンド交通導入に向けた基本的な方向性の決定
- 市民ワークショップ等での地域住民との意見交換
  - ⇒ 稲敷でのこれからの暮らしを考える市民ワークショップにおいて、公共交通グループの進行役として参加
  - ⇒ 公共交通をテーマに実施したシンポジウムにおいて、パネルディスカッションにファシリテーターとして参加

# No.54 茨城県桜川市（移住・定住支援等）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A-629）
活用分野	移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1,2回程度）
キーワード	#人口減少対策 #移住・定住 #高校連携 #まちづくりワークショップ

## 【目的】

- ・人口減少対策に対する助言・指導を受け、事業進捗の加速を図る。
- ・人口減少及び在校生の減少対策の一環として、新たに高等学校への支援に向けた事業立案に向けた助言・指導を受ける。

## 【内容】

- ・人口減少対策に対する助言・指導を受け、事業全体のブラッシュアップを行う。
- ・担当課を中心とし、全庁的な体制強化を目指した助言・指導
- ・高校生を中心とした若者のまちづくり参画を促進するため、高校生を対象としたまちづくりワークショップを定期開催し、若者の元気なまちづくりを目指すコーディネート（公立2校、私立1校他）

## 【成果（見込み）】

- ・現在の情報発信方策を見直し、移住者目線を徹底した情報発信体制を構築するにあたり、桜川市の観光とは違う訴求ポイント、訴求方法、現状の広報活動に対する改善策についての指導・アドバイス。
- ・「高校生まちづくりワークショップ」を継続的に開催し、高校生がまちづくりに参画する気運を醸成する。市内の高校生及び中学生17名が参加。
- ・同まちづくりワークショップには、市内の私立・公立あるいは、市外に通う高校生の他、地元中学生からの参加の申し込み、地域の中・高の先生及び、メディア、地域教育の事業者まで、幅広い関心を得られると同時に、生徒の意欲向上が図られた。
- ・今後は、本活動の更なる浸透と、PR活動を結びつけることによって、若者の活躍する桜川市としての地域ブランディングを行い移住・定住の促進に繋げてゆく予定。



高校生まちづくりワークショップ

# No.55 茨城県茨城町（農産物イメージアップ事業）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和7年度（全7回）
キーワード	#農産物 #規格外農産物 #地場産品 #販路開拓 #加工品 #新商品開発 #試作品 #ふるさと納税 #加工施設 #地域資源 #地域ブランディング

## 【目的】

農畜水産物加工施設の運営に関する知見やノウハウと実践力を併せ持つ外部専門家を招へいし、町内産農畜水産物の付加価値向上を目指し、新たな農畜水産物加工施設の新設に向け、課題解決を図る。

## 【内容】

- 町内産農産物を使用した新商品の試作・一部試験販売
- 加工施設新設に係る検討
- ふるさと納税返礼品の寄付額・寄付件数の向上に向けたアドバイス



ふるさと納税寄付額  
アップに向けた意見交換会



先進地視察  
（工房Wemam）

## 【成果（見込み）】

- 町内産規格外農産物を活用した試作品（工房Wemam協力）  
（推したい農産物を3品（米・メロン・さつまいも）に絞り込みブランディング）
  - ・イバラキングのジェラート
  - ・優香メロンのゼリー
  - ・おこめのジェラート
  - ・アールスメロンのジェラート  
→限定500個を常磐自動車道 友部SA上り線 おみやげの蔵にて限定販売
  - ・焼き芋プリン
- 加工施設新設・地域商社新設に向けた取り組み
  - ・先進地視察（茨城県下妻市・工房Wemam）
  - ・加工施設のラフ図作成、保健所相談
  - ・規格外農産物の活用に関する生産者向けセミナーの開催



アールスメロンの  
ジェラート（友部SA）



焼き芋プリン  
（試作）

# No.56 茨城県八千代町（町の魅力発掘・ブランド化等）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	シティプロモーション・地域PR、観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#魅力発掘 #シティプロモーション #賑わい創出 #世代間交流 #地域ブランド化 #若手活躍 #地域連携 #シビックプライド

【目的】白菜日本一の町として知られる八千代町が、さらなる町の魅力を発掘・再発見し、住民参加型のシティプロモーションや町のブランド化の取組みを継続性を持って行う体制づくりを構築するとともに、地域活性化の取組みに関する知見やノウハウを活かし、ふるさと納税制度のさらなる活用及び返礼品開発につなげていく。

## 【内容】

- 白菜日本一の町のブランド向上に向けたPR企画
- 行政提供サービスの紹介動画への町民参加の企画の伴奏支援
- 他地域の取組み事例の紹介やメディアとの連携支援



白菜日本一のブランド化  
検討会議



八菜まわ～る号紹介動画  
の絵コンテと衣装指示書



八菜まわ～る号紹介動画  
の撮影映像素材

## 【成果（見込み）】

- 白菜日本一を標榜するための深い知識を住民が理解するための“検定”制度などの仕組化を提案。  
町民参加の仕組みづくりのために白菜レシピのコンテストの企画、検定本の制作立案、料理研究家やメディアとの連携の企画を提案し、令和8年度の予算化や具体的な推進内容について検討を進めている。

**令和7年度に具体的な取組みを推進する方針が決定 ⇒ 令和8年度検定の仕組化へ**

- 町の機能向上についての町民向け紹介動画の制作企画

町民の利便性向上を目的に導入したデマンド交通「八菜まわ～る号」の利用促進を目的とした動画制作において、外部にすべてを発注するのではなく、できる限り手作りで職員と町民が一体となって制作する企画を推進。

**職員と町民が出演する紹介映像が撮影され、町民30名が撮影に参加。編集を経て令和7年度内に公共施設等で公開予定。**

# No.57 栃木県栃木市（栃木市地域公共交通計画策定業務）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏氏（A294）
活用分野	生活機能の維持
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#公共交通 #地域公共交通計画 #地域活性化 #人材研修

## 【目的】

- 第2次栃木市地域公共交通計画の策定に係る助言と指導、施策の推進に向けた支援等を受ける。
- 第2次栃木市地域公共交通計画において、本市の今後のまちづくりを見据え、市民、企業、交通事業者、行政等が一体となって、持続可能な地域公共交通体系を実現するための再編事業の計画を策定する。

## 【内容】

- 担当者、庁内関係部署、交通事業者等のヒアリング、打ち合わせ協議等の支援
- 栃木市地域公共交通会議への出席・助言
- 地域住民との意見交換等の支援
- 第2次栃木市地域公共交通計画の策定に向けて、今後のまちづくりを見据えた、持続可能な地域公共交通体系を実現するため、助言・指導等を実施する。

## 【成果（見込み）】

- 関係者のヒアリング、地域住民との意見交換等を通じて、持続可能な公共交通体系の見直しに向けた第2次栃木市地域公共交通計画を策定する。
  - ⇒ 令和7年度に計画の策定方針を作成し、令和8年度に決定する予定。
  - ⇒ 令和8年度に計画案を作成する予定。
  - ⇒ 令和9年度に計画を策定する予定。
  - ⇒ 令和10年度より計画に基づき、本市の公共交通網（コミュニティバス、デマンドタクシー）の再編に取り組む予定。



栃木市地域公共交通会議勉強会

# No.58 栃木県・日光市（伝統工芸産業支援）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	伝統的な産業の後継者発掘・育成
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月4回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 伝統工芸の技術継承 # 伝統工芸品の持続的発展 # 後継者育成 # 地域の担い手

## 【目的】

栃木県伝統工芸品である日光彫を取り巻く環境は、生活様式の変化や大量生産品の普及等により大きく変容し、需要の減少、職人の高齢化、後継者の不足などさまざまな課題を抱えている。

そのため、専門的な知見を有する者から、アドバイスを受け、事業を展開することで、日光彫の技術の継承及び持続的な発展を図る。

## 【内容】

伝統工芸品である日光彫の価値向上、認知拡大を目的とした商品開発インターンシップを実施。全国から伝統工芸産業に関心をもつ6名の参加者と日光彫事業者で商品開発に向けたインターンシップを2泊3日で実施。その後、商品案のブラッシュアップを行い、新商品の開発を実施。

## 【成果（見込み）】

令和8年3月に日光市内商業施設にて1週間程度のポップアップイベントを開催し、テストマーケティングを実施予定。メディア関係に対するプレスリリースを事前に実施し幅広い周知を行うことで、集客及び認知拡大等を図り商品購入に繋がる戦略を図る。



▲日光彫の特徴を把握するため、日光彫事業者の指導のもと仕事体験をしている様子。

# No.59 栃木県矢板市（業務改革プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	大山 詠司氏（A347）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1，2回程度）
キーワード	# 仕組み化、# 業務改善、# 人材育成

## 【目的】

### (1) 目的

業務の効率化により、住民向け新規施策、DX施策に取り組むための労力を創出する。

### (2) 目標

全職員の作業系業務を仕組み化するとともに、作業系事務の管理分析から、業務の整理、統合等を検討する。

## 【内容】

- ・ 仕組み化シートの作成
- ・ 各所属の作業系業務一覧作成
- ・ 所属長ヒア等を通じた分析の実施
- ・ 作業系業務の仕組み化、マニュアル作成、仕組み化シート作成指導・支援及び集約・添削
- ・ 所属内、所属間の業務課題の抽出・分析及び改善案の提示
- ・ 業務の進捗管理及び改善案等の状況報告

## 【成果（見込み）】

- ・ 仕組み化シートの作成・運用開始による作業の見える化、属人化の解消、所属内、所属間の業務課題抽出等
- ・ 各所属の作業系一覧による業務割振りの最適化
- ・ これらに伴って創出した時間を市民サービスに割り振る。



（市幹部に対し、各仕組み化シートから抽出した業務課題をもとに改善案を提示）

# No.60 栃木県・益子町（DMO運営支援）

地域力創造アドバイザー	田藏 大地氏（A658）
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1回程度）
キーワード	# DMO運営支援 # DMO組織強化 # DMO財源獲得 # 観光地経営強化

## 【目的】

DMOの観光地経営機能強化や事業運営機能並びに法人機能の整備

## 【内容】

- DMO中核人材獲得に向けた採用設計、並びに採用活動の支援
- DMO事業の改善や安定財源獲得に向けた助言や計画策定の支援
- 観光地経営戦略策定準備に向けた助言と支援
- DMOの経営管理の仕組み化と法人マネジメントに対する助言と支援
- DMOのガバナンス構築に向けた助言と支援
- DMOの地域マネジメントや地域広報に向けた助言と支援
- DMOの組織設計、並びに財源獲得に向けた計画策定支援

## 【成果（見込み）】

- DMO中核人材の確保と安定的な運営体制の構築
- 観光地経営機能を強化する複数の専門人材の獲得と活用体制の構築
- DMO事業の進捗管理とマネジメントの仕組み化
- 新たな公的財源獲得による事業推進とR8体制強化（人材採用含む）
- 観光地経営戦略の策定に向けたマーケティングの仕組み化とデータ整備
- 公的資金が入る組織として必要な社内ルールや規定等の整備
- 観光地経営を推進するR8年度事業計画作成



（益子町の集客の柱である陶器市）

# No.61 群馬県前橋市（シティプロモーションアドバイザー）

地域力創造アドバイザー	佐藤 幸俊（A659）
活用分野	シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1回程度）
キーワード	#シティプロモーション #都市ブランディング #プロジェクトチーム #戦略 #職員研修

## 【目的】

「前橋市シティプロモーション推進プロジェクトチーム」の方向性や進め方、各課における実行面でのアドバイスをもらうとともに、シティプロモーション・ブランド戦略策定に対してサポートを受け、全庁的で効果的なシティプロモーションを推進する。

## 【内容】

### （1）シティプロモーション推進アドバイス業務

前橋市シティプロモーション推進プロジェクトチームの事務局ミーティング及び全体ミーティングに継続的に参加し、構成所属20課の業務におけるシティプロモーションの実行や課題解決に取り組めるよう、アクションプランの作成や進捗確認におけるアドバイスを実施。

### （2）シティプロモーション・ブランド戦略策定サポート業務

当市のシティプロモーションの方向性を明示し、庁内で目線を合わせて取り組むための戦略策定をサポート。戦略策定のスケジュール管理や戦略プロジェクトチームに対するワークショップを行い、専門的な知見を活かして提案・助言を実施。

### （3）シティプロモーション研修業務

職員のシティプロモーションに関する理解や意識を高め、実践的な知識を身につけるための研修を実施。

## 【成果】

- 庁内向けシティプロモーション・ブランド戦略の策定（R8.3月予定）
- シティプロモーション推進プロジェクトチーム全体ミーティングの開催3回/年
- 各課を対象としたアドバイス面談の実施



（戦略プロジェクトチーム） 69

# No.62 群馬県・富岡市（中学生以上全住民アンケート調査）

地域力創造アドバイザー	齋藤 主税氏（A439）
活用分野	生活機能の維持（集落機能の確保）、地域づくり人材の育成・教育（人材）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（4月～3月）
キーワード	#地域づくり #地域づくり協議会 #人材育成 #地域課題の把握 #住民ニーズの把握 #地域づくり計画 #世代別会議 #事業の縮充

## 【目的】

地域が抱えている課題や住民のニーズを把握し、地域づくり協議会活動の充実や改善等に活かす。

## 【内容】

- アンケート調査表の作成支援
  - ・アンケートの質問項目や構成等に対する指導及び助言
- アンケート結果の集計及び分析
  - ・クロス集計によるアンケート結果の分析
- 地区別報告会の開催支援（計4回）
  - ・分析レポート及び報告書の作成
  - ・報告会の運営支援
- 全体報告会の開催支援（計1回）
  - ・分析レポート及び報告書の作成
  - ・報告会の運営支援

## 【成果（見込み）】

- ・地域課題及び世代別ニーズの把握
- ・地域づくり協議会 地域づくり計画の見直し
- ・地域づくり協議会事業の縮充

人口減少や高齢化率の増加が急激に進む中、誰もが安心して暮らし続けられる地域を持続させるためには、住民の皆さん一人一人の思いや考えを聞き取り、地域づくり活動に活かしていく必要があります。

そこで、一ノ宮地区で暮らしている中学生以上のすべての住民の方々に、アンケート調査を行います。未来を担う子どもたちのため、豊かで健やかに暮らせる地域にするため、ぜひご協力をお願いします。

**調査の内容**  
アンケート調査票により、一ノ宮地区のみなさんが日頃から感じている“暮らしの困りごと”や“必要なこと（ニーズ）”を調査します。

**実施する時期**  
令和7年6月にアンケート調査票を配布・回収します。

**調査の方法**

- 各世帯にアンケート調査票と封筒を人数分配布します。中学生以上の方は、全員ご回答ください。
- 記入した調査票は、個別に封入し、封をした状態でご提出ください。なお、調査票は、地区の役員さん（総長さんまたは班長さん）が直接回収に伺います。
- アンケートは無記名式です。個人が特定されることは決してありません。  
※中学生以上全住民アンケート調査の詳細は、今後、富岡市HPに掲載予定です（令和7年5月頃）。

【お問合せ先】  
富岡市地域づくり課 一ノ宮地域づくりセンター  
TEL:0274-62-2004/FAX:0274-62-2004  
E-MAIL:itiniomiya-ko@city.tomioka.lg.jp



（アンケート実施チラシ）

（地区別報告会の様子）

# No.63 群馬県・富岡市（生活支援コーディネーター基礎研修会）

地域力創造アドバイザー	齋藤 主税氏（A439）
活用分野	生活機能の維持（集落機能の確保）、地域づくり人材の育成・教育（人材）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（4月～3月）
キーワード	#地域づくり #地域づくり協議会 #生活支援コーディネーター #地域福祉 #地域支え合い活動

## 【目的】

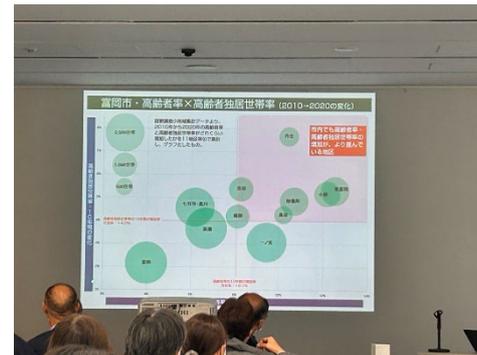
生活支援コーディネーターと地域づくり協議会とが連携し、今後、どのように地域福祉活動に取り組んでいくべきかを学習し、今後の取り組みに活かす。

## 【内容】

- 講義  
「福祉を地域づくりの中に編み込む～ささえあいを地域で実践するためのポイント～」
- 参加者同士での意見交換
  - ・ 講義に対する感想の共有
  - ・ 今後の取り組みについての話し合い

## 【成果（見込み）】

- 高齢者福祉や地域包括ケアに対する理解促進
- 地域づくり協議会と生活支援コーディネーターの連携促進
- 生活支援コーディネーターの業務や役割等の明確化
- 地域福祉活動の充実
  - ・ 生活支援コーディネーター主体によるアンケート調査の実施
  - ・ 生活支援コーディネーター通信の作成（情報発信） など
- 関係課及び関係機関の協力・連携体制の強化



（研修会の様子①）



（研修会の様子②）

# No.64 群馬県・長野原町（長野原町農畜産物ブランド化推進業務）

地域力創造アドバイザー	北川 智博氏（A545）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大 移住・定住促進、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	日数 約70日 期間 令和7年6月～ 令和8年3月
キーワード	# 農畜産物ブランド # 地域ブランド # 地域内交流 # 異業種連携 # 社会課題解決

## 【目的】

農畜産物のブランド化について、地域プレイヤーの育成・モチベーション醸成・事業者間の共通認識形成等を見込む研修プログラムや、現状分析・課題特定・収益化設計等を進める事で、地域内での合意形成を図ると同時にブランド化戦略を策定する。地域プレイヤーの調査・研修等から次年度以降の具体的なアクションプランを策定する。

## 【内容】

- (1) 長野原町農畜産物ブランド化に関する基本的事項の検討・実施
- (2) 伴走支援
- (3) 現状調査
- (4) 収益化戦略の検討

### 外部人材の役割

地域ブランド化に向けた現状分析・課題特定・出口戦略設計を実施し、具体的な方向性を明確化する。

## 【成果（見込み）】

次年度以降の具体的なアクションプランを策定。



地域プレイヤーによるミーティング

# No.65 埼玉県秩父市（秩父高校魅力化事業）

地域力創造アドバイザー	藤岡 慎二氏（A302）
活用分野	高校魅力化
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（2ヶ月に1回程度）
キーワード	# 高校魅力化 # 地域と高校の連携 # 地域への愛着 # 秩父高校 # 高校生 # 総合的な探究の時間 # 探究支援 # 学習支援 # 高校魅力化コーディネーター # 地域おこし協力隊

## 【目的】

埼玉県立秩父高等学校（以下「秩父高校」という。）の魅力化を通じて、入学志願者を増やすとともに、在校生の地域への愛着を高め将来的に地元へ戻って地域を支える人材を育成する。

## 【内容】

- 秩父高校や市の職員、市民、関係団体等と連携しつつ、同校の「総合的な探究の時間」のカリキュラムの企画・運営補助、生徒への探究支援、学習支援等を行う高校魅力化コーディネーター（地域おこし協力隊）に対する助言・指導
- 秩父高校の生徒や教員、地域内小中学生等を対象とした研修会・講演会・ワークショップの講師等

## 【成果（見込み）】

「総合的な探究の時間」のカリキュラムの企画・運営に地域力創造アドバイザーの助言・指導を受けたコーディネーターが中心に関わり、地域特性を活かした内容で実施している。入学志願者については現時点で前年度と同水準を維持することができる見込み。



志望理由書講座



高校生向けIoTデバイス講座



小中学生向けワークショップ

# No.66 埼玉県上里町（観光振興事業展開への助言）

地域力創造アドバイザー	花田 欣也氏 (A504)
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#観光 #観光協会 #地域振興 #地域資源の発見、磨き上げ

## 【目的】

当町の観光振興事業における諸課題受けることを通じて多様化した観光市場に即した効果的な観光振興事業を展開すること。

## 【内容】

- ・アドバイザー業務
- ・研修業務
- ・その他、観光地域づくりに必要と認められる提案
- ・上里町観光地域づくりセミナー2024・2025開催
- ・観光地域づくりワークショップ コーディネーター

## 【成果（見込み）】

- ・町観光セクション職員及び観光関係事業者の知見の向上  
(上里町観光づくりセミナー2024・2025 参加者各回約50人)
- ・観光コンテンツの掘り起こし及び磨き上げ
- ・観光振興ビジョンの策定に係る準備  
(観光地域づくりワークショップ3回実施 参加者各回約10人)
- ・町の観光関係イベントへの助言  
イベントを継続していくための方法や展開についての助言
- ・町の観光を進めていく上での助言  
上里町以外の市町村の観光振興の状況や、目指すべき方向性への助言



(写真の説明)  
令和7年6月16日開催  
「観光地域づくりセミナー2025」のチラシ。



(写真の説明)  
令和7年7月～9月開催  
「観光地域づくりセミナー2025」のチラシ。

# No.67 千葉県・香取市（シビックプライドの醸成）

地域力創造アドバイザー	飯盛 義徳氏（A086）
活用分野	シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#シティプロモーション #地域の担い手 #魅力再発見 #シビックプライド #スローシティ

## 【目的】

市民と大学生が一体となって、市内各所に根付く独特の生活スタイル、食や農産物、歴史・文化などを探求し、地域の個性を再発見する。

その地域の個性を尊重したまちづくりを目指し、移住・定住施策を推進することで、郷土愛の醸成を図る。

- 地域の魅力の再発見
- 地域キーマンの発掘
- シビックプライドの醸成

## 【内容】

フィールドワークによる調査・研究への助言・補助、ワークショップコーディネート、講演会講師などの支援業務

- 大学生のフィールドワークによる調査・研究
- ワークショップの開催
- 調査研究の成果発表

## 【成果】

- 地域外の大学生というソトからの視点で、地域の魅力を再発見
- 大学生のフィールドワークによる、地域キーマンの発掘
- 地域の人たちとの交流やワークショップをとおして、地域の魅力を再発見し、参加者同士で魅力を共有
- 成果発表会ではフィールドワークやワークショップでの成果をアピールし、シビックプライドの醸成に寄与



巡回展の様子

# No.68 千葉県・香取市（地域経済活性化、市職員の政策立案能力向上）

地域力創造アドバイザー	朝比奈 一郎氏（A200）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度（年10回程度）
キーワード	#地域活性#農業#観光#官民連携#人材育成#研修#リーダー

## 【目的】

地域経済活性化及び市職員の政策立案能力向上（人材育成）

- 地域資源の発掘
- 人口減少を踏まえた政策立案方針の設定
- 人材育成方針の改定支援

## 【内容】

地域経済活性化に向けた官民の橋渡しや、外部目線による政策立案への助言を行う。

また、人材育成に関するノウハウを提供する。

- 関係者へのヒアリング
- 経済活性化に関する助言
- 政策立案方針設定に対する支援
- 人材育成方針改定サポート
- 職員研修

## 【成果】

- 地域経済活性化方針の設定
- 上記方針に基づく政策立案
- 人材育成方針の改定実施



事業者向け講演会にて、  
香取市の現状を把握

# No.69 千葉県・香取市（地域公共交通再編等支援）

地域力創造アドバイザー	為国 孝敏氏（A294）
活用分野	生活機能の維持
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#公共交通 #地域公共交通 #路線バス #コミュニティバス #タクシー #デマンド交通 #自家用有償旅客運送 #公共ライドシェア #まちづくり #講演会

## 【目的】

地域公共交通計画に基づく路線バス・循環バスの再編に係る業務を円滑に進めること、また今後の事業推進に係る支援を図る。

- 地域公共交通計画に基づく路線バス、循環バス等公共交通の再編の実施
- 上記に係る協議会運営、市民・運行事業者等の関係者との協力体制の構築

## 【内容】

交通を軸としたまちづくりのアドバイザー業務、協議会の運営、地域公共交通計画に基づく再編等の事業実施に係るアドバイス、市民や運行事業者との意見交換会の開催などの支援

- 地域公共交通計画に基づく路線バス、循環バスの再編及びデマンド交通の運行に係る助言等
- 上記に係る協議会運営、市民・運行事業者等の関係者との打ち合わせ等の開催

## 【成果（見込み）】

- 地域公共交通の課題収集とその対応策をまとめた地域公共交通計画の策定（R6.3月）
- 地域公共交通計画に基づく地域公共交通の再編実施（R6.10月～）
- 市民や運行事業者等の地域公共交通への理解や活用意識の向上による地域内の連携体制の構築
- 市民や運行事業者等の地域公共交通の関係者向けの講演会の開催（R6.2月、R7.2月）
- 市職員向け地域公共交通の研修会の開催（R8.3月）



講演会  
「地域のみなさんと創る公共交通」



# No.71 千葉県・香取市（地域おこし協力隊の活用推進等）

地域力創造アドバイザー	根津 久一郎氏（A516）
活用分野	移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	# 地域おこし協力隊 # 移住・定住推進 # 関係人口の創出・拡大

## 【目的】

地域おこし協力隊の活用や、移住・定住施策への助言を行い、継続した地域おこし協力隊の活用スキームの構築、移住・定住関係人口イベント及び移住相談や地域交流が行える拠点の創設を図る。

## 【内容】

- 協力隊担当職員・協力隊員研修
- 協力隊新規分野の検討
- おためし地域おこし協力隊支援
- 協力隊員の法人設立までの支援
- 地域おこし協力隊の採用支援 等

## 【成果】

- 地域おこし協力隊担当職員の隊員マネジメント能力の向上
- 地域おこし協力隊員数及び分野数の増
- 新たな移住イベント・関係人口イベントの実施
- 協力隊員を中心とした地域商社の始動（R7年3月）  
及び地域商社による隊員のマネジメント体制の構築
- 移住・定住相談センター始動（R7年4月）



移住相談会での相談支援



協力隊採用支援



地域おこし協力隊員研修

# No.72 千葉県・多古町（地域ブランディング推進）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、生活機能の維持、防災減災・危機管理、観光振興・交流関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、少子化対策、子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	#地域ブランド創生 #高校生連携 #古民家活用 #空き家・空き店舗利活用 #地域経済循環 #起業人材育成 #ふるさと納税強化 #地域ブランディング #観光まちづくり

## 【目的】

地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘しまちの魅力向上を図る。  
地域独自の魅力や価値の向上に対する施策を図る。

## 【内容】

- ・地元高校生と連携した古民家・空き店舗利活用をテーマとする地域ブランド創生事業の企画・実施
- ・ふるさと納税の増額を見据えた制度運営に関する指導・助言
- ・地域ブランディング及び観光プロモーション手法に関する指導・提案

## 【成果】

- ・地元高校生と連携した地域ブランド創生事業として、月ごとにワークショップを開催。  
多古町の魅力発掘や古民家・空き家の利活用に関する具体的な提案が行われた。  
あわせて、起業に関する基礎的な知見を学ぶ機会を創出した。  
これらの活動の集大成として、令和8年2月に提案事業の一つである「地産地消カフェ」を1日限定で開設する。
- ・ふるさと納税については、次年度に向けた方向性を明確化し、関係課との連携のもとで中間事業者選定や返礼品構成、運営体制に関する整理を実施した。専門的助言を踏まえ、制度運営の基盤強化に向けた検討が進んだ。
- ・地域ブランディングの分野では、多古町観光まちづくり機構と道の駅多古の関係性および運営体制について整理が行われ、道の駅レストランのメニュー構成や両者の連携強化に関する具体的な提案を受けた。



ワークショップの様子

# No.73 千葉県・白子町（DMO事業運営に関する伴奏支援）

地域力創造アドバイザー	田藏 大地（A658）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、地域づくり人材の育成・教育、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（年100日程度）
キーワード	#DMO #観光地域づくり法人 #地域資源活用 #観光振興#関係人口創出 #地域経済循環 #伴走支援

## 【目的】

- ・白子町におけるDMO（観光地域づくり法人）事業の円滑かつ着実な推進
- ・観光庁が定める「観光地域づくり法人(DMO)」登録を目指し、必要となる組織体制・事業内容・法人機能の整備を図る
- ・白子町DMOが自走できることを目指し、事業計画の策定、実行することで持続可能な組織づくりを行なう

## 【内容】

- ・DMOが実施すべき事業（マーケティング、プロモーション、コンテンツ造成等）の整理
- ・法人運営・組織体制（意思決定体制、役割分担、事業計画等）の構築
- ・観光庁DMO登録制度に対応した要件整理および書類作成への助言
- ・町職員およびDMO関係者へのノウハウ移転、実務レベルでの助言・指導

## 【成果（見込み）】

- ・DMO法人設立後の法人機能を整備するために、各種既定の整備に関わる（事務局規定、会計規定、文書管理規定、旅費規程、印章管理規定）
- ・観光庁が定める「観光地域づくり法人（DMO）」候補法人としての登録を完了した
- ・白子町における観光推進体制が強化され、継続的かつ自立的な観光地域づくりの基盤が構築される



（候補DMO登録証）

# No.74 千葉県・鋸南町（地域産品開発支援）

地域力創造アドバイザー	本田 勝之助氏（A309）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	# 特産品開発 # 魅力発掘 # 地域産業の振興

## 【目的】

- ・人口減少による地域活力の衰退や担い手不足をはじめとした課題を効果的に解決する。
- ・関係者との打合せ（ヒアリング、意見交換会、ワークショップ等）を踏まえ、（仮称）鋸南町地域産品開発戦略を策定する。

## 【内容】

地域課題の解決に向けて、指導、助言その他取組の実践等を行う。

- 地域産品開発のための地域内事業者や地域リソースの掘り起しに関すること
- 地域外からの資本および人的リソースの誘致・連携を図ること
- 上記の事項の推進に向けて効果が期待される取組みのほか付帯して取り組むことが可能なものおよび人口減少による地域活力の衰退や担い手不足をはじめとした、あらゆる地域課題解決に有益な取組みの推進に関すること

## 【成果（見込み）】

- 地域産品開発におけるビジョン及びロードマップの策定
- 事業推進体制の構築



町民を対象としたワークショップの様子

# No.75 新潟県小千谷市（二地域居住実証事業）

地域力創造アドバイザー	堀口 正裕 氏（A515）
活用分野	関係人口の創出・拡大（滞在・活動の場づくり、地域と関係人口の協働に取り組む）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和10年度（月1, 2回程度）
キーワード	#二地域居住 #実証事業 #関係人口 #移住・定住 #地域おこし協力隊 #情報発信

## 【目的】

・二地域居住実証事業を通じて、当市の二地域居住の可能性を研究し、地方における多様な働き方や暮らし方を実現するための課題やその解決の方策を調査・実践する。

・3年間で当市での二地域居住実践者300人、そのうち3年累計で100人の移住者の実現を目指す。

## 【内容】

- ・二地域居住に関する現状分析および課題抽出
- ・二地域居住者の誘致、受け入れ、定着に関する具体的な施策の提案および助言
- ・二地域居住者と地域住民との交流促進や地域活動への参加促進に関する助言
- ・二地域居住に関する情報発信・プロモーション

## 【成果（見込み）】

・地元企業、自治体、外部メンバーで構成する「関係人口創出会議」を開催し、二地域居住者を巻き込んだ市民総参加イベント等の企画を通じ、地元との一体感や協働で取り組む意識を醸成する。

・市外から様々な知見を持つ専門家を小千谷市に集め、現地フィールドワークなどを実施する。そこで得た情報をもとに、二地域居住や移住・定住に関する課題を深掘りし、課題解決に向け継続的に関わってもらえる人材を獲得する。

・地域の魅力・人・アイデアに触れながら「ローカルビジネスのリアル」と「二拠点生活の可能性」を体験できる現地イベントを定期的で開催し、「小千谷市への関心層」を獲得する。

・空き家・リノベーション・DIYをキーワードに、二地域居住希望者が自ら空き家を再生する。その後、活用者を募り、実際に起業する人材の獲得及び空き家の有効活用を図る。

・移住専門メディアTURNSを活用し、小千谷市公式での発信を強化する地域おこし協力隊

（1名）採用決定。市公式NOTEを企画・運営し、小千谷市に暮らす・関わる為の情報発信を強化。



（市職員、地元企業に向けたセミナー開催）



（地元企業への聞き取り調査）

# No.76 新潟県加茂市（桐箆笥後継者育成支援）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（年5回）
キーワード	# 地域の担い手 # 事業承継 # 地域おこし協力隊 # 移住・定住 # 地場産業 # 若手活躍

## 【目的】

桐箆笥職人の後継者を発掘し、育成につなげることで技術の伝承を図る。

## 【内容】

- 2泊3日の仕事体験インターンシップツアーの開催
- インターンシップツアーのプログラム作成、進行管理、応募者管理・選定、インターンシップ終了後のフォローアップ等（1泊2日の内定者フォロー現地ツアー含む）

## 【成果（見込み）】

- 主に全国の美術工芸を専攻する学生等へインターンシップツアー開催をPR。
- 令和7年度は、全国から18名の応募があり、その中からツアー参加者4名を選定。
- ツアー参加者の中から桐箆笥職人の後継者候補を、地域おこし協力隊として採用予定。



インターンシップツアーにおける仕事体験の様子



# No.77 新潟県津南町（探究活動・地域の魅力発見）

地域力創造アドバイザー	山本 竜也氏（A・713）
活用分野	地域づくり人材育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月3～4回程度）
キーワード	#探究活動 #高校魅力化 #総合的な学習の時間 #地域の魅力発見 #起業 #地域・企業の活性化 #キャリア教育 #賑わい創出 #学校・行政・地域との連携

## 【目的】

- 町の特色を生かした教育活動を推進し、未来に向けて自分の夢や希望を持ち主体的に生きる児童生徒の育成を図り、町の教育の魅力を高める。
- 学校と地域のかかわりを重視し、児童生徒が地域（ふるさと）の特色や課題を自分ごとと捉え、自らの将来を見据えながら、主体的、対話的に取り組んでいく、総合・探究活動の実現を図る。

## 【内容】

- 各学校や児童生徒、地域等の現状をヒアリング
- 各学校の要望・実態に応じた総合・探究活動の提言やアドバイス、授業展開
- 県立津南中等教育学校の探究活動「津南妻有学」の生徒及び教員の伴走支援
- 町立津南中学校と県立津南中等教育学校との連携
- 苗場山麓ジオパークを活用した学習カリキュラム、事例集等の作成

## 【成果（見込み）】

- 津南中の2年生、3年生を対象に、津南中等の合同授業や交流授業を1回ずつ企画・設計、コーディネートを実施
- 津南小や上郷小の総合学習へ参加し、動画完成等の成果物が生まれる。
- 津南中等5年生で自らのテーマ設定での探究・プロジェクトが26チーム展開  
また、4年生も含め、全国高校生マイプロジェクトアワード新潟県Summitへ15チームが出場
- 津南町内の小中学校教員を集めた、探究活動に関わる研修会を企画し、課題の抽出を図る。
- 苗場山麓ジオパークを活用した事例集作成に向けた、ジオパーク推進室や小学校教員との打ち合わせを重ね、実装へ動く
- 津南中等が目指す学びの姿をまとめた「9つの学習者像」の作成作業を行い、20周年記念式典にて出席者全員へ配付される。



街歩き授業の企画



総合探究研修の講師



インタビュー法の  
授業実施



中学校と中等校との  
交流の企画・運営

# No.78 富山県・氷見市（氷見市に行きたくなる仕組みづくり）

地域力創造アドバイザー	金山 宏樹氏（A478）
活用分野	地場産品発掘・販路開拓、人材研修、地域ブランディング、メディア活用策
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#観光施設の磨き上げ、#伴走支援、#メディア活用、#新商品開発、#メニュー開発、#人材育成

## 【目的】

本市を観光における「目的地」とするため、観光施設等の集客・回遊性の向上による「氷見市に行きたくなる仕組みづくり」を行うとともに、地域資源の磨き上げとPR力強化、人材育成等を行う。

## 【内容】

- 観光施設（道の駅「氷見」（氷見漁港場外市場 ひみ番屋街））テナント等に対する新商品・メニューの開発支援
- 道の駅「氷見」による情報発信を通じた地域のブランディングや誘客
- 道の駅「氷見」の運営会社に対する経営改善、運営体制の改善の支援
- 事業の継続に必要な人材の育成支援

## 【成果（見込み）】

- 直営店における経営改善支援
  - ⇒現状分析や価格転嫁を行い、業務効率を向上させ損益改善したことにより、PR力強化等に取り組むための原資等の確保を図った。
- 誘客促進のためのプロモーションの実施
  - ⇒ブランディングや新商品開発を通じて氷見市の特産品の価値を高め施設への誘客促進につなげた。
  - 新メニュー：氷見しゃぶ（春・秋）、氷見牛ひつまぶし、うに氷見牛にぎり等（年間の入込客数R6年1,020,800人からR7年1,142,900人に増加）
- 事業の継続に必要な人材の育成支援
  - ⇒支援対象施設内での運営体制の改善のため、ヒアリング、ミーティングを行い組織強化を図った。また、新メニューや企画立案に対し伴走支援を行った。



（左）氷見市の特産品である「氷見牛」を使った新メニュー（氷見牛ひつまぶし）



（右）今年度開催した「ひみぶり出世魚→ク」チラシ

# No.79 富山県滑川市（ふるさと納税企画・起業支援）

地域力創造アドバイザー	中川直洋氏（A464）
活用分野	1.地域資源を活用した地域経済循環 （地場産品発掘・販路開拓、経営資源の引継（事業継承）・起業支援）
活用期間（頻度）	令和7年度（月1回程度）
キーワード	# 起業・開業 # 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 若手活躍

## 【目的】

ふるさと納税企画を通して、寄附額の増加及び地域資源の発掘を図るもの。  
また、起業支援を通して、地域商業の活性化、若手活躍を図るもの。

## 【内容】

- ①ふるさと納税企画
- ②起業家・地域おこし協力隊起業育成プロジェクト  
女性デジタル人材育成（滑川デジ女）メンバーとの定例打合せ  
活動方針整理、法人化検討、地域連携モデル策定  
地域文化発信の取組が始動
- ③若者の魅力化プロジェクト  
地元中学校に起業体験プログラムの提案



## 【成果（見込み）】

- ①ふるさと納税の戦略方向性を具体化（商品開発の新たな視点を提案）
- ②滑川デジ女事業モデルのブラッシュアップ「オンライン秘書なめりかわ」  
「女性人材の地域包括支援」  
地域課題×女性就労×自治体業務支援の設計、収益モデルを伴う実装”を見据えた形に進化  
地域おこし協力隊地域文化発信の取組が始動
- ③地域教育連携の理解促進



# No.80 富山県滑川市（地域資源を活かしたイベント企画）

地域力創造アドバイザー	相川 知輝氏（A742）
活用分野	7.関係人口の創出・拡大（地域と関係人口の協働に取り組む）
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1、2回程度）
キーワード	#関係人口 #魅力発掘 #魅力発信 #賑わい創出 #地域資源の活用 #地域イベント開催 #バズる商品開発 #交流の場づくり

## 【目的】

市外在住者の目線で、旧北陸街道周辺の歴史的文化財等の地域資源を地域人材と協力しながら活用することで、関係人口の創出を図るもの。

## 【内容】

- ①旧北陸街道周辺の歴史的文化財等の地域資源を活用したイベントの企画
- ②市外在住者の目線による地域の魅力のPR活動
- ③地域人材資源の発掘

## 【成果（見込み）】

- ・交流会の開催（月1回）
- ・ほたるいかレシピコンテスト開催
- ・能登支援ドキュメンタリー上映会開催
- ・本棚づくりワークショップ
- ・関係人口として、上記イベントにも関わる人材をなめりかわアンバサダーとして紹介
- ・なめりかわ建物フェスに関わるテストツアーの実施
- ・来年度4月開催のなめりかわ建物フェスの各種準備



交流会



ほたるいか  
レシピコンテスト



なめりかわ建物フェス  
に向けたツアー準備

# No.81 富山県小矢部市（インバウンド観光アクションプラン策定業務）

地域力創造アドバイザー	中村 英樹氏（A584）
活用分野	観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和7年11月～令和8年3月（月1、2回程度）
キーワード	#インバウンド #ワークショップ #伴走支援

## 【目的】

本市の観光資源及び訪日外国人観光客（金沢市、高山市の外国人旅行客）に関する各種情報を整理・分析し誘客に向けた方向性及び体系的に整理し、インバウンドを受け入れるためのアクションプランを策定する。

## 【内容】

- 地域住民・企業からのヒアリング（R8.1～2月頃実施予定 4回程度）
- 観光事業者とのワークショップ（R8.2～3月頃実施予定 3回程度）

## 【成果（見込み）】

アクションプランをもとに次年度以降の訪日外国人向け施策立案をおこなう。



（写真の説明）

# No.82 富山県・舟橋村（町の魅力発掘、特産品・返礼品開発）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓） シティプロモーション・地域PR（地域ブランディング）
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年45日程度）
キーワード	#ふるさと納税 #地域活性化 #商品開発 #魅力発信 #シティプロモーション #販わい創出 #世代間交流 #地域ブランド化 #地域連携 #シビックプライド

## 【目的】

本村は日本一小さな村であることから、事業者等が少なく、特産品やふるさと納税返礼品等の商品開発が難しいが、ふるさと納税の寄付金額増等は喫緊の課題であるためそのノウハウを必要とした。また観光資源等がほとんどなく、交流人口は少ないが、富山市に隣接するベッドタウンであり、若い世代の転入が多く、大半が核家族であるため、地域の活動が希薄化している等の課題解決のための施策としてひまわりを使ったコミュニティ活動の推進をすることとした。

## 【内容】

- サンフラワープロジェクト（事業実施に向けた先行事例の紹介）  
秋田県大館市で実施した先行事例を紹介。村の課題解決として、ひまわりの種植えから草取り、収穫を若い世代や高齢者とともに実施。コミュニティの希薄化の解消や、新たな商品開発の企画検討（見込み）
- ふるさと納税返礼品開発（先行事例の紹介及び連携可能業者の発掘）  
村内の施設を改修し、加工品の製造を可能とする加工場設置に向けたアドバイス業務



加工品開発に向けた打ち合わせ

## 【成果（見込み）】

- サンフラワープロジェクトの実施  
20aのひまわり畑の新規創出、テレビ・新聞による報道、種まきイベントの村内外への周知、ひまわり油を活用した料理教室の開催
- ふるさと納税返礼品開発  
サンフラワープロジェクトによるひまわり関連商品の開発（見込み）  
新規加工所改修による農産物加工品等約10品目の新規返礼品の開発（見込み）  
ひまわり油の搾油（12ℓ）



サンフラワープロジェクト実施圃場<sup>90</sup>

# No.83 富山県・舟橋村（シティブロモーション、地域PR）

地域力創造アドバイザー	浜野 耕一氏（A703）
活用分野	シティブロモーション・地域PR （地域ブランディング、メディア活用、効果の把握、評価に取り組む）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（年15日程度）
キーワード	#シティブロモーション #関係人口の拡大 #地域ブランディング #人材育成 #EBPM活用 #自治体DX #デジタル広報 #情報発信力強化 #広報体制づくり #持続可能な広報体制

## 【目的】

本村は日本一小さな村として、住民同士のつながりを大切にしながら、さらなる交流の広がりや地域の魅力発信力の強化が求められている。こうした状況を踏まえ、住民交流を原点とした地域づくりの取組として、サンフラワープロジェクトを核に地域のつながりを育み、村の魅力を内外に発信することを目的とする。あわせて、効果的な情報発信体制と公式サイト運用を強化し、職員による自走型の広報運用を確立することで、広報力・ブランド力の向上と関係人口の拡大につなげる。

## 【内容】

- サンフラワープロジェクトを核とした住民交流と魅力発信の推進  
住民交流を原点としたサンフラワープロジェクトの企画・展開方針について助言を行い、ひまわりを通じた地域のつながりづくりと、村の魅力を伝えるストーリー設計を支援。
- デジタル広報戦略の構築と自走型運用体制づくり  
ニュースレター・プレスリリースの企画支援、公式HP・SNSの運用改善、アクセス解析手法の助言に加え、職員研修を通じてデータに基づく改善サイクルを導入し、職員が自ら運用できる自走型の広報体制づくりを支援。



サンフラワープロジェクト推進委員会

## 【成果（見込み）】

- サンフラワープロジェクトを核とした住民交流と魅力発信の推進  
住民参加に加え、イベント等に村外からの来訪者も訪れるなど交流が広がった。  
取組の発信を通して、村の認知度向上と関係人口の増加につながった。
- デジタル広報戦略の構築と自走型運用体制づくり  
情報発信がテレビ・新聞・ネット記事での報道につながり、村の認知向上に貢献。  
職員による公式サイトのデータ活用・改善運用が定着し、自走型の広報体制が進んでいる。



新規でのメディア掲載例（抜粋）

# No.84 石川県加賀市（DMO組織強化・観光振興プラン策定）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光地域づくり／DMOマネジメント強化／財源確保・持続可能な運営体制整備
活用期間（頻度）	令和7年4月～令和8年3月（月1回 2日間訪問／その他オンライン含む随時伴走）
キーワード	DMO組織設計／財源確保計画／観光振興プラン策定／関係者インタビュー／官民連携／視察研修／地域資源分析／持続可能な観光地経営／中期計画策定支援

## 【目的】

加賀市観光交流機構(DMO)が、自走可能な観光地域マネジメント組織へ移行するための基盤強化を図ることを目的に、(1)財源確保計画の策定、(2)観光振興プランの骨子整理、(3)関係者インタビューによる地域合意形成、(4)他地域DMO(釜石DMC・DMOなんじょう)との比較視察による組織能力向上を実施した。

## 【内容】

- **観光振興プラン(素案)策定支援** ・“加賀温泉郷の未来像”を導出するため、計画導出フレーム(DMO課題／地域課題／WS／ヒアリング)を加賀市向けに再構成。 ・マトリクス分析(特産・歴史・自然・食文化)を活用し、地域資源の再整理を実施。
- **財源確保計画策定支援** ・宿泊税・協賛・体験事業・関係人口型財源など、多様な財源の構造設計を提案。
- **関係者インタビューの実施** ・温泉地・商工・行政・若手事業者などを対象に「本音ベースの課題抽出」を実施。
- **他地域視察の企画・助言** (釜石DMC／DMOなんじょう) ・持続可能なDMO経営(収益事業・財源・体制・教育旅行・研修受入)のモデルを学ぶ視察を助言。 ・視察成果を加賀市の財源計画・体験造成方針へ反映。
- **業務フロー・内部体制の整理** ・加賀市観光交流機構、現地サポートチーム、外部調査チームとの三層連携の整理 ・計画策定の承認プロセス(行政・機構内部)を提示。

## 【成果(見込み)】

- **関係者の合意形成が大きく前進** ・温泉地・行政・機構職員の「課題認識の共有」が進み、観光振興プラン策定の実働ステップが明確となる。
- **視察成果を反映した“加賀市独自の計画”の基礎が完成** ・釜石DMCの「企業研修×地域資源」のモデル、DMOなんじょうの「官民連携型DMO」などを参考に、加賀市が目指す事業構造が具体化。
- **DMOの中期財源モデルを初めて明文化** ・宿泊税活用、体験商品の高付加価値化、インタビューを通じた課題の可視化等により、持続可能な運営財源の見取り図が整理できた。
- **観光振興プラン(素案)・財源計画(骨子)を令和8年2月に納品予定** → 令和8年度の施策立案・予算要求に活用される見込み。



※ワークショップの様子 92

# No.85 石川県宝達志水町（空き家利活用等）

地域力創造アドバイザー	高瀬 直史氏（A505）
活用分野	移住・定住促進（空き家対策、移住定住促進）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	# 空き家 # 移住・定住 # 関係人口 # プロモーション # 地域おこし協力隊 # 人材研修

## 【目的】

町の空き家を移住者向けの中間管理住宅として整備・活用することで、移住定住者や関係人口の創出を促進し、空き家の解消を通じた持続可能なまちづくりを推進する。

## 【内容】

- 四万十町役場の移住定住対策の取り組み紹介
- 中間管理住宅整備に向けた事業化支援
- 空き家利活用に関する支援
- プロモーション戦略に関する支援
- 他自治体・民間事業者の交流及び事例共有
- 移住者との意見交換



（移住者との交流会）



（勉強会）

## 【成果（見込み）】

- 予算化に向けた支援（令和8年度）
  - ・中間管理住宅整備事業の事業スキームと必要経費を整理。
  - ・空き家対策強化のため、空き家実態調査、空き家対策計画改訂、空き家管理システム導入の各事業について、予算要求に必要な準備を進めた。
- ※令和7年度後半から当該制度活用のため、令和8年度以降の戦略的な基盤整備に重点を置いた。
- 移住定住促進に関する3カ年事業計画を策定。課題の整理と具体的な実行戦略を明確化し、町全体の取り組みの方向性を決定。
- 職員向け研修会を実施し、役場職員の意識改革を図る。



（現地調査の様子）

# No.86 福井県大野市（地域資産の発掘等）

地域力創造アドバイザー	橋村和徳 氏（A466）
活用分野	地域資産の発掘、交流人口の増加、観光振興・地域活性化策の提案、
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月4, 5回程度）
キーワード	# 地域資源を活用した地域経済循環 # 観光振興・交流 # 関係人口の創出・拡大 # 移住・定住促進 # 自治体経営イノベーション

## 【目的】

地域の魅力や価値を発掘・向上させることで、地域力を強化し持続可能な地域創生と活性化を目指す

## 【内容】

六呂師高原を中心とした大野市の自然資源（地域資産）を発掘し、自然体験を軸とする観光業及び観光サービスの開発について、地元関係団体を巻き込みながら、企画提案、アドバイスをを行なっていく。

- キャンプ場『SORA to DAICHI』を核とした連携モデルの拡張
- キャンプフェスを起爆剤とした六呂師高原の活性化
- 六呂師高原開発計画の次期整備に向けた提言と制度活用



## 【成果】

- キャンプ場『SORA to DAICHI』の事業提案（企画提案等）
  - ・大野商工会議所のアウトドアブランドと連携事業の実施
  - ・星空案内人と連携した星空観望会等の実施 ※10, 11月に開催
  - ・恐竜博物館との連携事業の実施
    - ※博物館からのシャトルバスの運行やナイトミュージアムの開催 等
- 大規模音楽フェス「六呂師スターリーミュージックフェスティバル」の開催
  - ・地元企業らが参画する実行委員会を組織し音楽フェスを企画・実施 ※約9,000人が来場
  - ・地元事業者による食や体験などの出展ブースの設置など地域連携
  - ・新たな地域ブランドとして育てるため、次年度開催に向け企画検討 ※R8.10.10-11予定
- 六呂師高原開発計画の次期整備に向けた提言
  - ・周辺施設のリニューアル等の具体的な内容の提案
    - ※フォト、遊びスポット「StarryDeck」の設置
    - ※台湾企業との資本提携を進め次期整備計画を検討



# No.87 福井県勝山市（観光地域資源ブラッシュアップ・人材育成等推進業務）

地域力創造アドバイザー	金山 宏樹 氏（A478）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1,2回程度）
キーワード	#商品開発 #地域活性化 #販路開拓 #伴走支援 #メニュー開発 #人材育成 #自走化支援 #高付加価値化

## 【目的】

地域資源を活かした商品開発を担う一般社団法人に専門家を派遣し、地域内の生産者や事業者への収益還元を強化するとともに、道の駅等を拠点とした新たな販路を開拓し、地域経済の活性化に貢献する。

商品開発及び販路開拓を行うだけでなく、知識・スキルを定着させることを重視し、スタッフが主体的に商品開発を展開できる「自走化」の仕組みを構築する。

## 【内容】

- 地域事業者との面談及び地域資源を活かした具体的な商品開発の企画・提案
- 実践的な販路開拓・ブランディングの支援
- 事業継続に向けたスタッフへの研修・スキル・知識の定着と組織の自走化支援

## 【成果（見込み）】

- オリジナル商品の開発、販路開拓
  - ・これまで飲食店での提供に限定されていた「勝山 やまのサーモン」について、他地域の成功事例を提示いただき、「まるごと一尾」「半身冷凍」での商品開発を実現。
- 商品開発に対する当事者意識と専門的スキルの向上による組織力の向上
  - ・スタッフ研修（計2回 参加者延べ16名）
  - ・運営体制の改善のための定期的なヒアリング、ミーティング。
    - 日報制度導入による売上・コスト意識の向上。現場の課題をタイムリーに共有する習慣が定着。スタッフ間で改善案を出し合い、速やかに実行に移す体制が構築された。
  - ・市役所職員研修（課長職向け参加者23名）



スタッフ研修



地元事業者への提案

# No.88 山梨県・大月市（道の駅の調査研究）

地域力創造アドバイザー	嶋田 俊平氏（A681）
活用分野	関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度（月2回程度）
キーワード	#道の駅 #地域の担い手 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #伴走支援

## 【目的】

道の駅の設置等に向けた助言及び支援を受けて当市の活性化を図る。

## 【内容】

主な取組内容

- ・現状分析、課題整理
- ・道の駅における全体コンセプトの提案
- ・道の駅の必要な施設、機能の整理
- ・各候補エリア（市街地、山間部など）における事業シミュレーション
- ・事業化にむけた事業手法の検討
- ・公有財産の資産活用の助言・指導 など

## 【成果見込み】

主な取組内容に基づく、アドバイザーからの助言を受けて当市における道の駅（新設）の方向性を判断する。



閉校跡地（公有財産の活用方法の助言）

# No.89 山梨県・南アルプス市（観光地域づくり支援）

地域力創造アドバイザー	高橋 一泰氏（A652）
活用分野	観光地域づくり支援、観光協会・DMOの機能強化、地域観光資源の商品化
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月2回程度）
キーワード	#観光地域づくり #観光地経営戦略 #観光協会機能強化 #DMO経営支援 #地域の魅力発信 #観光資源の商品化 #観光地ブランドづくり #インバウンド招聘 #観光計画

## 【目的】

人口減少・少子高齢化が進む中、観光を市の成長戦略の柱とし、交流人口・関係人口の拡大により地域活性化を促進するため、市の現状を分析・把握したうえで、持続可能な観光地経営づくりを推進する。観光業や旅行業の経験が豊富であり、人脈も備えたアドバイザーを活用することにより、関係機関や観光事業者と合意形成を図りながら、中長期的な観光戦略を策定する。

## 【内容】

- 市の観光環境の分析（観光入込客数、宿泊者数、観光消費額、需要と供給量の把握）
- 観光地として中長期で目指すビジョンの策定
- 観光地経営戦略の手法（商品、価格、販路、プロモーション）
- 観光協会の機能強化、行政との効果的な連携方法の確立
- 観光地経営づくりを実施するための財源確保支援

## 【成果（見込み）】

- 市観光業の現状把握・分析し、観光地経営を準備。観光協会職員へのセミナー、観光事業者へのヒアリング調査を実施し、供給量を確認するとともに、需要の調査を行う。
- 令和8年度に観光戦略を策定し観光地経営を準備、令和9年度から戦略を実行するとともに検証・改善を行い、更新していく。
- 本市の観光産業の柱である「果樹観光」と「山岳観光」について、観光消費額を増加するための付加価値の創出や、商品のブランド化、効率的なツアー造成、周辺都市と連携して観光経済の規模拡大など、多くの新たな取り組みを実施している。



南アルプス市のさくらんぼ狩り

# No.90 山梨県・上野原市（シティープロモーション戦略策定）

地域力創造アドバイザー	嶋田俊平 氏（A681）
活用分野	シティープロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度 6月～3月（6回12日 現地訪問）
キーワード	#戦略、#シティープロモーション、#地域運営組織

## 【目的】

- ・地域力創造アドバイザー制度を活用し、外部専門家による地域の活性化を図る。
- ・上野原みらい戦略の推進、シティープロモーション戦略の策定
- ・地域運営組織等の立ち上げや地域計画の策定

## 【内容】

### 《主な取り組み内容》

- ・上野原市みらい戦略の推進に関すること
- ・西原地区における特色を活かした地域づくりの推進に関すること

### 《外部人材の役割》

- ・支援（会議やワークショップなどの運営）、指導、助言

## 【成果（見込み）】

- ・上野原みらい戦略の推進、シティープロモーション戦略の策定
- ・地域運営組織等の立ち上げや地域計画の策定

## 【外部専門家の活動を支援する者】

- ・安藤淳平（所属：株式会社さとゆめ）



シティープロモーション戦略策定に伴う  
会議・研修支援の様子

# No.91 山梨県・身延町（指定管理施設の経営改善）

地域力創造アドバイザー	藤田 泰一氏（A669）
活用分野	自治体経営イノベーション（財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備））
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	# 指定管理施設 # 経営指導 # 経営改善 # 経営評価 # 業務評価 # スキル向上

## 【目的】

指定管理者制度導入施設へ経営指導やアドバイスを行い、施設担当職員向けの業務評価研修を実施することにより、経営改善及び施設担当職員のスキルの向上を図る。

## 【内容】

- 指定管理者への経営状況等のヒアリング及び経営評価の報告
- 指定管理者への経営指導及びアドバイス
- 施設担当職員向け業務評価研修の実施
- 業務評価シート作成への助言、サポート

## 【成果（見込み）】

- 指定管理者制度導入施設を訪問し、対面でのヒアリング及び評価報告を実施。  
経営指導や経営面のアドバイスを行うことにより、施設の経営改善や新たな取組みをサポート。
  - ⇒ 1施設において更なる売上向上に向け商品の選定方法をアドバイス。
  - ⇒ 2施設において経営改善のため人員削減を実施。このほかにもアドバイスを基に部門別集計等、経営改善に向け分析を始めた施設あり。
- 施設担当職員を対象とした業務評価研修を実施。  
業務評価シートを用いることにより、画一的で明確な施設の業務達成状況を把握。  
把握した業務達成状況について、改善点等を次年度の年度協定に反映。
  - ⇒ 対象となる6施設全てに対して業務評価を実施。



（指定管理施設でのヒアリング）

# No.92 山梨県・丹波山村（地域資源を生かした観光コンテンツ開発）

地域力創造アドバイザー	細川 哲星氏（A546）
活用分野	シティプロモーション・地域PR（地域ブランディング）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月4回程度）
キーワード	# マーダーミステリー # 観光コンテンツ開発 # 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出 # 関係人口

## 【目的】

若者を中心に近年注目されている「マーダーミステリー」の丹波山村オリジナルの周遊型コンテンツを開発し、集客に苦戦している冬場の観光者数を増やす。

## 【内容】

観光スポットや飲食店など、実在する丹波山村の地域資源を活かした周遊型のマーダーミステリーの新規コンテンツを制作するにあたり、村内の関係各所との連携し、地域資源を生かしたコンテンツ（シナリオ、デザイン）にかかる助言・指導を行っている。

## 【成果（見込み）】

初年度に本事業で開発した丹波山村オリジナルのマーダーミステリー作品である「狼ノ村」は、毎回ほぼ完売となる人気を呼んでおり、地域の飲食店や宿泊施設等の売りに大きく貢献している。今年度は「狼ノ村」を継続開催しつつ、新たにコンテンツを開発し、丹波山村＝エンタメのイメージの定着と、リピーターの獲得を図る。

「狼ノ村」公式HP ▶ [https://immersivelab.jp/Okami\\_no\\_mura](https://immersivelab.jp/Okami_no_mura)



「狼ノ村」キービジュアル

# No.93 長野県長野市 (UFO長野共創塾)

地域力創造アドバイザー	中村 智彦氏 (A374)
活用分野	地域づくり人材の育成・教育 (人材研修)
活用期間 (頻度)	令和6年度：7月～9月 (月3回程度)、令和7年度：10月～2月 (月1回程度)
キーワード	#地域の担い手 #経営力の強化 #共創塾 #魅力発掘 #地域産業の活性化 #新技術 #人材確保 #新技術 #異業種交流

## 【目的】

市内中小企業等の経営力の強化や経営革新を促進するとともに、地場・地域の新技術の研究開発、製品の高付加価値化及び新分野の開拓を担う人材の育成

## 【内容】

- ・アドバイザーは全体の総括及びコーディネートを担当
- ・企業を取り巻く環境変化に係る講義
- ・事業承継に係る講義
- ・従業員確保に係る講義
- ・企業視察
- ・中小企業者間等の交流
- ・ワークショップ、グループワーク



(共創塾受講風景)

## 【成果 (見込み)】

- ・中小企業等に属する地域の産業を担う企業経営者などが受講 (R6年度：9名卒塾、R7年度：6名予定)
- ・卒塾生は自社に戻り、外部環境の把握、人材育成・確保の重要性等、共創塾で学んだことを生かし、その経営や業務において自社の魅力や価値の向上に係る取組を実践中
- ・グループワーク、工場見学等を通じた異業種間の交流の創出
- ・卒業生が組織する団体が地域で活動中

# No.94 長野県松本市（山岳観光エリア戦略 × 起業家支援）

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光地域づくり/DMOマネジメント強化/地域経済活性化 / 起業家育成
活用期間 (頻度)	令和7年4月～令和8年3月 (月1回2日間訪問/その他オンライン含む随時伴走)
キーワード	「山岳観光」「宿泊税」「観光地域づくり」「起業家支援」「関係人口」「自治体戦略策定」

## 【目的】

松本市の山岳観光エリア(上高地・乗鞍・奈川・安曇)の再編と宿泊税の効果的活用、地域内起業家の創出支援を通じて、持続可能な観光地域マネジメント体制を構築することを目的に、現地視察、起業家支援、戦略策定支援を実施した。

## 【内容】

### ● 活動① 西川町視察(山形県)

- ・地域商社モデル、インバウンド受入、体験造成、関係人口創出の成功事例を現地視察。
- ・松本市アルプスリゾート整備本部の「山岳+滞在価値創造」の参考モデルとして分析。
- ・視察内容を松本市の山岳観光エリア戦略へ反映(MaaS / 滞在プログラム / 体験造成)。

### ● 活動② ふるさと起業家支援事業(審査助言・伴走支援)

- ・奈川・安曇エリアを対象とした起業家支援補助金の立上げに伴い、  
①事業審査項目の助言、②応募者への伴走支援を担当。
- ・地域内の資源活用型ビジネス(宿泊・体験・ローカル商社・飲食等)の磨き上げを支援。
- ・関係人口創出と移住促進に寄与する新規事業の形成をサポート。

### ● 活動③ アルプスリゾート整備本部 戦略策定支援

- ・11～2月にかけて5回の深層議論(ビジョン・戦略・アクションプラン)を実施。
- ・宿泊税の用途方針、山岳観光エリアの5カ年戦略、官民連携の骨格を体系化。
- ・2025(令和7)年度内に「松本市山岳観光ビジョン(中期計画)」を取りまとめ予定。
- ・市役所(観光課)とアルプス本部の合意形成プロセスを整理。

## 【成果(見込み)】

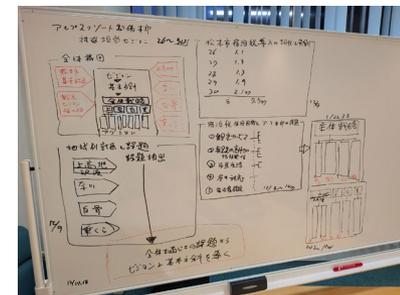
- 西川町視察を踏まえ、松本市の「山岳+滞在型観光」の方向性が具体化
- 起業家支援の審査基準・伴走体制が整備され、地域内で新しい産業芽が創出
- 上高地・乗鞍・奈川・安曇の広域連携による「山岳エリア戦略」が初めて体系化
- 宿泊税の戦略的活用(安全登山・環境保全・滞在価値創造)に向けた方針が整理
- 市役所・アルプス・事業者の認識が統一され、令和8年度以降の施策に反映見込み



西川町でのヒアリング・視察の様子  
(菅野町長がホワイトボードで説明)



ふるさと起業家支援事業関係者との会議・WS  
集合写真



アルプスリゾート整備本部の戦略ホワイトボード(ビジョン・基本方針整理)

# No.95 長野県諏訪郡富士見町（財源確保、人材育成等）

地域力創造アドバイザー	吉弘 拓生 氏（A452）
活用分野	自治体経営イノベーション、関係人口の創出拡大
活用期間（頻度）	令和7年度（月1回程度）
キーワード	#財源確保 #職員研修 #企画立案 #新規事業 #企業版ふるさと納税 #職員スキルアップ #人材育成 #事業の見直し #交付金 #関係人口の創出 #自治体間連携

**【目的】** アドバイザーの幅広い知識から新規事業の企画立案、財源確保、職員の人材育成、関係人口の創出についての助言により、実施事業に反映させることで住民サービスの向上を図る。また、関連する財源を獲得し、健全な財政運営の実現と魅力あるまちづくりを推進する。

## 【内容】

- 新規事業の企画立案に対する助言
- 財源確保に関する助言（各種補助、交付金、企業版ふるさと納税等）
- 職員研修（財源に関する知識・意識の向上、各種補助金の紹介など）
- 関係人口の創出（企業版ふるさと納税、各種省庁、他の自治体職員など）
- その他、職員からの事業実施に係る相談に対する助言

## 【成果（見込み）】

- 企業版ふるさと納税の獲得（企業と調整中）  
⇒企業版ふるさと納税マッチング会へ参加し、企業との関係人口創出や他の自治体職員との交流・連携を図った。
- 交付金及び補助金の獲得（第二世代交付金採択）
- 職員研修による職員の知識・意識の向上
- 他団体の取組紹介から、同様の取組を実施。（青少年健全育成事業）  
⇒まちトークを実施し、若者が抱える課題や意見を聞く場を設け、課題の発掘を行った。



まちトーク



職員研修

# No.96 長野県諏訪郡富士見町（地域ブランディング等）

地域力創造アドバイザー	小口 潤氏（A600）
活用分野	シティプロモーション・地域PR(地域ブランディング,メディア活用策)
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月6回程度）
キーワード	#地域ブランディング #広報 #PR #プロモーション #情報発信

## 【目的】

町では各種補助金や制度等、他市町村と比べても優良な施策を実施しているにも関わらず、住民の認知度が低い状況がある。また、人口減少に対応するため、効果的な町外への情報発信を行い、地域外からヒト・モノ・カネを呼び込む必要がある。こうした背景を踏まえ、情報発信の目的・方針の設定、情報発信方法の見直し等を「まちづくりブランディング事業」として外部アドバイザーの協力のもと、令和6年度から実施。

## 【内容】

- ① 情報発信の改善のための体制構築  
情報発信に関するワーキンググループの構築、ワークショップの開催
- ② 情報発信内容の最適化  
情報発信戦略の作成支援  
ブランディングタグライン及びロゴの政策支援
- ③ SNS や既存の発信メディアの効果的な活用  
情報発信手法の改善講座の開催  
SNSや既存メディアのターゲティング、手法の改善提案



（情報発信勉強会）

## 【成果（見込み）】

住民、議員、職員が参加するワーキンググループに対して、アドバイザーがワークショップを開催。地域の魅力の明確化し、それを住民及び町外向けに伝えるブランディング（タグラインおよびロゴ）が設定された。また、ブランディングについて、認知を広めるために町制施行70周年記念事業にも活用し、ブランドイメージの定着を図っていく予定。また、アドバイザーの支援により情報発信戦略を作成した。これに基づき、町の発信の改善を行っていく。

# No.97 長野県喬木村（旧喬木C.C跡地活用等）

地域力創造アドバイザー	片岡 寛明氏（A694）
活用分野	観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#観光振興 #観光施設の整備計画 #観光マーケティング #地域資源の活用

## 【目的】

「閉業となったゴルフ場跡地をアウトドア施設にしてほしい」という住民からの要望を実現するため、持続可能な施設運営を目指した基本構想を策定する。

## 【内容】

- ・ 現地調査/市場分析
- ・ 関係者との意見交換による活用方針の検討
- ・ 地権者・住民説明会の開催
- ・ 具体的な施設の方針提案
- ・ 予算シミュレーション等の計画の策定支援
- ・ 包括連携協定に基づく移住/定住の促進や産業振興事業へのアドバイス

## 【成果（見込み）】

- ・ 各種観光データを基にした喬木村周辺エリアの現状分析
- ・ 「ゴルフ場跡地」利用の方針策定および概算整備費用等の算出
- ・ エリア資源を活かした事業アイデアの整理検討
- ・ 上記のエリア分析、再整備方針、実施計画を基にした理事者および地域住民との意見交換による合意形成



エリア資源を活かした利活用整備案



現地視察

# No.98 長野県・上松町（地域問題解決の立案等）

地域力創造アドバイザー	石川 貴志氏（A495）
活用分野	12 シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#地域活性化 #魅力発掘 #伴走支援

## 【目的】

地域力創造アドバイザー制度を活用し、外部専門家の知見やネットワークを取り入れることで、上松町が抱える地域課題の解決に向けた具体的な施策を検討・立案する。庁内ヒアリング、視察を通じて地域資源や魅力を再発掘し、外部人材活用スキームの具体化、活用に向けた方針を策定する。

## 【内容】

### 1. 現状把握と課題の構造化

- ・外部人材活用に関する制度説明・事例紹介（勉強会）の実施。
- ・庁内ヒアリングによる、部署ごとの課題・ニーズの抽出。
- ・主要な地域資源の視察。

### 2. 解決策および実行計画の策定支援

- ・次年度以降の実行を見据えたアクションプラン、スケジュール、予算案を含む「実施計画案」の策定。
- ・報告会、意見交換を通じた合意形成および次年度施策の方針決定。
- ・対面およびオンラインを組み合わせた定例協議。

## 【成果（見込み）】

### 1. 具体的な制度活用案と実施計画の策定

庁内の実情に即した「外部人材活用案」および、「次年度アクションプラン」が完成する。

### 2. 庁内合意と推進体制の確立

報告会等を通じて関係者間での合意形成が図られ、次年度以降の外部人材連携、事業の推進体制の方向性が決まる。



（庁内ヒアリングの様子）

# No.99 長野県小布施町（まちとしょエディター養成講座）

地域力創造アドバイザー	太田 剛 氏（A699）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション、地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度5月～令和7年度12月（5、6、7、8、10、12月に2泊3日で滞在）
キーワード	#地域の担い手 #人財育成 #編集力強化 #伴走支援 #賑わい創出 #図書館経営イノベーション #公共施設の魅力化 #地域資源発掘・編集

## 【目的】

「交流と創造を育む文化の拠点」のコンセプトをもつ小布施町立図書館（通称：まちとしょテラス）を地域活性化の拠点とし、選書技術や、企画力、地域共同知のアーカイビング等の地域編集力を持つ人材を継続的に育成する。利用者と共に成長する地域循環型の施設運営に取り組み、持続可能な地域の未来に向けた拠点とする。

## 【内容】

- 地域編集力を持つ人材の育成「まちとしょエディター養成講座」の実施
- 地域の知脈（※）を表現する独自の選書・配架再構成に関するアドバイス
- 地域課題を解決する図書館への変容に向けた経営へのアドバイス  
※知脈…地域の潜在的なコンテンツ（知）の繋がり

## 【成果（見込み）】

- まちとしょエディター講座を開催。  
16名のまちとしょエディター（図書館サポーター）が誕生。  
地域を再編集してゆくミッションを持ってデビューし、定期的なイベント開催や、地域の魅力発信に取り組む。  
※16名中3名が図書館スタッフ。地域人材とのネットワークと編集技術を同時に向上。
- 小布施町立図書館独自の配架グランドデザインの完成  
地域の知脈を表現する配架を行うために、およそ3000冊を除籍。教養本の購入。  
既存の書棚配置と魅せ方を再定義し、郷土棚をリニューアル。



（まちとしょエディター修了式）

# No.100 長野県小布施町（ゼロ・ウェイスト推進支援）

地域力創造アドバイザー	坂野 晶氏（A744）
活用分野	環境保全・SDGs
活用期間（頻度）	令和7年度4月～令和7年度3月（月2回程度の定例会合、4月・10月に首長面談）
キーワード	#ゼロ・ウェイスト #資源循環 #サーキュラーエコノミー #ごみ削減 #3R #地域循環共生圏 #伴走支援 #住民協働

## 【目的】

町計画「小布施町環境ランドデザイン」に則り、住民生活や企業活動の中から極力廃棄物が排出されないまちづくりを進めつつ、観光等で町を来訪する町外在住者から「環境」の文脈で選ばれる観光まちづくりにも繋げるため、本町における一般廃棄物の現状を把握し、その削減や循環利用に向けた施策の実証に取り組み、有効な施策展開につなげることを目的とする。

## 【内容】

- 生ごみ堆肥化推進（広域連携による分別回収・処理体制の検討、および家庭での自家処理推進）
- 常設のリサイクル等拠点整備の検討
- リユース品回収・バイオ炭化の実証

## 【成果（見込み）】

- 町内生ごみの堆肥化推進  
町内家庭ごみ全量の堆肥化に向け、首長との面談を経て、ロードマップ案を策定見込み。また、家庭向けコンポスト制作イベントを開催した。
- 常設の資源ごみ回収拠点の実証と利用者アンケートの取りまとめ  
今年度は近隣の店舗等での回収がないビンに限定して実証的に常設拠点を設置し、利用状況や利用した感想等の結果を取りまとめる見込み。
- 行政機関向けバイオ炭勉強会の開催  
アドバイザーが主催し、環境省や全国自治体が参加する勉強会を実施し、当町の取り組み紹介や今後の施策推進にあたっての情報交換の機会を得た。



（コンポスト制作の様子）

# No.101 長野県野沢温泉村（スポーツコミッション組織構築支援事業）

地域力創造アドバイザー	余吾由太氏（A614）
活用分野	官民連携組織の構築、スポーツツーリズム、スポーツまちづくり
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#スポーツコミッション #スポーツツーリズム #スノーツーリズム #スポーツまちづくり #官民連携 #組織開発 #スポーツ政策 #事業計画策定

## 【目的】

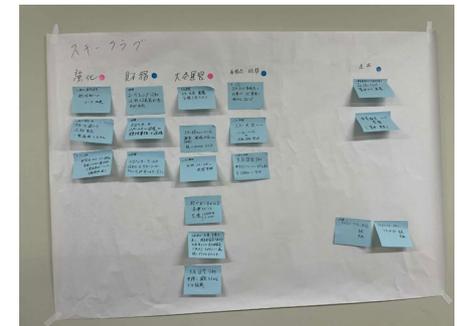
スポーツコミッションを核とした持続可能な地域運営体制の構築と、地域組織の役割整理・最適化

## 【内容】

村事業、スキークラブ、スキー大会・イベント受入実行委員会の各団体を対象に、スポーツコミッションとの業務整理を目的とした棚卸しワークショップを設計・実施。事務局・誘客・宿泊手配・競技運営等の機能別に業務を可視化し、SECIモデルを活用して暗黙知の形式知化を促進。また、各キーマンとの個別ヒアリング、月1回の村長との協議を通じて段階的な業務移管の方針を整理した。あわせて、ソーシャルインパクト採用（エンジャパン）に関する採用基準やプロセス設計、質問リスト作成等も支援し、組織の中核人材の確保に取り組んだ。

## 【成果（見込み）】

複数の地域団体が担っていた業務の全体像と重複・連携関係が明確化されたことで、スポーツコミッションへの移管候補業務が整理され、段階的な役割再編への合意形成が進んだ。また、SCとして担うべき業務や組織体制のあり方について、地域内の共有認識が醸成され、持続可能な運営基盤の構築に向けた第一歩を踏み出している。採用活動も始動し、今後中核人材の参画により本格的な組織運営が見込まれる。



（ワークショップの成果）



（ワークショップの様子）

# No.102 長野県・飯綱町（まちづくり会議の運営等）

地域力創造アドバイザー	瀧内 貫氏（A539）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（2月1回程度）
キーワード	#課題解決 #地域の担い手 #若手活躍 #女性活躍 #魅力発掘 #賑わい創出 #多世代交流 #伴走支援

## 【目的】

当事業は、町内のまちづくり団体等の活動取組の情報共有、連携を図っていく場「〇〇まちカイギ」を継続的に開催することを目的とし、町民が主体となった活力ある持続可能なまちづくりを目指す。

最終的に各団体が連携・共有していくことで互いの足りないことを補い、課題解決や活動を活性化させるため、町に関連する企業、団体等を巻き込んで、将来の町の目指す姿を「（仮称）いいづな未来ビジョン」として取りまとめ、町総合計画の策定に反映することを目的とする。

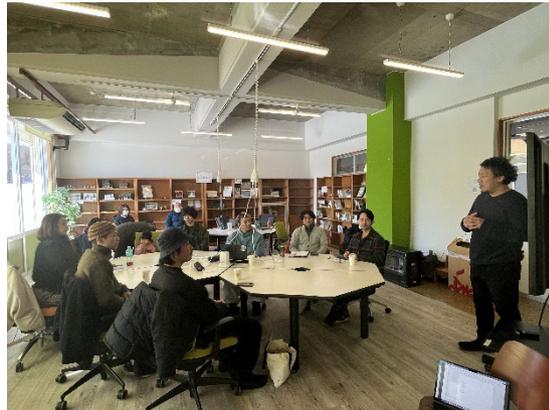
## 【内容】

アドバイザーの業務内容は、地域の課題分析、課題可決に向けた会議のファシリテータ及びプロジェクト全体の伴走支援等となります。

- ・関係団体等へのヒアリング調査
- ・「いいづなまちカイギ」推進

## 【成果（見込み）】

「（仮称）いいづな未来ビジョン」の策定



（若者まちカイギ）



（公共交通まちカイギ）

# No.103 岐阜県・山県市（こどもと美山地域のみらいづくり）

地域力創造アドバイザー	山本 雅也 氏（A642）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、生活機能の維持、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、少子化対策、子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	#こども #少子化 #過疎 #保育園 #地域活性化 #移住定住 #二地域居住 #関係人口 #滞在人口 #シティプロモーション #子育て支援 #保育園留学

## 【目的】

山県市の地方創生及び地域活性化に資する活動の支援及び美山地域の保育園留学事業の推進と子育て会議をとおした地域連携の強化を図ることで、持続可能な保育環境の構築を支援すること。

## 【内容】

- 美山地域における保育園留学の地域連携体制の構築
- 「美山地域の子育て会議」の部会をとおした子育て魅力向上の推進
- 保育園の統合に関する先進事例の調査・分析と、今後の方向性に関する助言

## 【成果（見込み）】

- 令和6年度、美山地域の今後の保育の在り方を検討する、山県市子ども・子育て会議「保育と地域がつながる部会」に2回出席し、地域の今後の保育事業方針の決定をサポート。
- 令和6年度、関係者のヒアリング等の実施により、地域の課題抽出や保育事業を推進する、「美山地域の保育の在り方」を策定。
- 令和7年度、保育園留学事業開始



（美山地域での保育の様子）

# No.104 岐阜県・下呂市（公共施設の適正化等）

地域力創造アドバイザー	朝比奈 一郎氏（A200）R7年度
活用分野	11.自治体経営イノベーション（財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備））
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（ふた月1回程度）
キーワード	# 行財政改革 # 地域振興 # 公共施設 # 地域資源 # 地域経済 # 財政負担 # 意識啓蒙 # 施設カルテ

## 【目的】

下呂市に相応しい公共マネジメントを実現することを目的とする。  
《目標》公共施設を適正化するための基準及び手順、ルールを作成する。

## 【内容】

### 《主な取組内容》

- ・ 下呂市の人口推計、財政状況及び公共施設適正化に向けたこれまでの取組の把握
- ・ 公共建築物及びインフラ系施設の現況を把握し、適正化を図る基準の大枠に関する検討
- ・ メインシナリオ及び「多極ネットワーク型コンパクトシティ」に関する共通イメージの獲得
- ・ シナリオ、適正化の判断基準、適正化手法、その他必要なツールについての議論

### 《外部人材の役割》

- ・ 公共施設適正化に向けた有識者等による研究会の組成及び運営支援
- ・ 官民連携に関する支援
- ・ 市政運営全般に関する支援

## 【成果（見込み）】

- ・ 財政負担の軽減、効率的かつ効果的な行政運営の実現に向けた仕組みの構築（施設カルテによる分析、研究会の組成）
- ・ 各地域の強みの洗い出しと、地域経済の活性化のアクションの方向性の確立
- ・ 公共施設の適正化の判断基準及び適正化手法の提言  
《令和8年度（見込み）》
- ・ 公共施設適正化に関するコンサルティング業務など



下呂市公共施設適正化研究会

# No.105 岐阜県・海津市（保育園留学事業）

地域力創造アドバイザー	山本 雅也氏（A642）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、少子化対策、子ども・子育て支援、関係人口、二地域居住
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2回程度）
キーワード	# 保育園留学 # 子育て # 空き家 # 関係人口 # 二地域居住

## 【目的】

本市独自の魅力や価値の向上に取り組むことで地域力を高め、地方創生及び地域活性化に資する活動に対し、課題解決のために指導及び助言を行うことを目的とする。

## 【内容】

本市の保育事業を通じた地方創生に向けて、円滑な「保育園留学」事業の導入、実施を支援する。

○保育園留学の導入及び持続可能な受入体制の支援

- ① 保育園留学・田舎暮らし体験に向けた移住促進宿泊環境の整備
- ② 地域受入体制の整備として協力体制、運営計画の策定

## 【成果（見込み）】

川遊びなどの豊かな自然体験や園内菜園を備え収穫体験ができる「認定こども園庭田保育園」に加え、市内の宿泊施設との受入協力体制を確立した。今後は整備した受入体制に基づき、モニター世帯の受入を開始していく。

モニター期間中には、利用者へのアンケートやヒアリングを通じ、顧客満足度および運用上の課題点を検証する。

この検証結果をもとに、より円滑で持続可能な保育園留学プログラムへと移行させる。本事業を通じて、関係人口の定着を図るとともに、中長期的な本市への移住定住の促進へと繋げていく。



# No.106 静岡県・浜松市（中山間地域振興アドバイザー）

地域力創造アドバイザー	関司 直也氏（A062）
活用分野	関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度（年6回程度）
キーワード	#中山間 #まち・ひと・しごと #地域コミュニティ #移住・定住 #関係人口 #交流人口 #担い手 #まちむら交流 #過疎対策

**【目的】** 中山間地域が有する様々な課題への対応策や、地域振興に資する施策について、指導、助言、提言及び情報提供等をいただき、本市の第3次中山間地域振興計画に基づく中山間地域の振興を推進する。

## 【内容】

- 中山間地域振興計画の推進に関すること。
- 中山間地域が抱える課題の解決や地域振興に関すること。
- 振興策事業の情報提供に関すること。
- 過疎対策事業に関すること。

## 【成果（見込み）】

- 指導、助言、提言及び情報提供等を基に中山間地域が有する様々な課題への対応策や地域振興に資する効果的な施策につなげていく。

- ⇒ 中山間地域で活動する市民団体と意見交換
- ⇒ 2026まちむら交流フォーラムにおいて、交流人口、関係人口による中山間地域の活性化や地域づくりの担い手の世代交付について、基調講演を実施



（委嘱式・浜松市長と意見交換）



（2026まちむら交流フォーラムでの基調講演）

# No.107 静岡県・伊豆市（ビレッジプライド研修）

地域力創造アドバイザー	寺本 英仁氏（A575）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育（人材研修）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月2回程度）
キーワード	#人材育成 #若手職員 #事業提案 #課題解決

## 【目的】

- ・これからの伊豆市を担う職員の人材育成
- ・若手職員が自身の将来ビジョンを前向きにイメージできる研修プログラムの充実

## 【内容】

研修生各人で任意のテーマを設定。課題解決に向けて政策立案フォーマットを作成し、4～5人で分けられたグループ内でワークショップを開催し、フォーマットのブラッシュアップを実施。完成したフォーマットを基にプレゼンテーション用の資料を作成し、成果発表会を開催する。アドバイザーはフォーマット・プレゼンテーション資料作成におけるアドバイスや成果発表でのプレゼン指導をおこなう。



ワークショップの様子

## 【成果（見込み）】

- 研修を通して市の抱える課題を確認し、これを解決するための想定力を向上。
  - ワークショップにおいて他者の説明を聞き、意見することでヒアリング力を向上。
  - 成果発表会の開催により相手に自分の考えや思いを伝えるためのプレゼン力の向上。
- ⇒作業をグループでおこなうことで情報の共有化を図り、チーム力の向上につなげる。



アドバイザーからの助言

# No.108 静岡県東伊豆町（地域資源を活用した産業振興 ・移住定住関係人口促進・観光振興交流促進事業）

地域力創造アドバイザー	橋村 和徳氏（A466）
活用分野	「まち」の魅力の維持・向上、「ひと」の流れの創出・「ひと」を育てる
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#地域振興 #観光振興 #魅力発掘 #魅力発信 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #移住定住 #関係人口 #交流拠点 #拠点整備

## 【目的】

遊休施設等を活用して、新たな観光振興や交流促進が図れる拠点整備・運営方法について提案、移住定住や関係人口に繋がるシステムの構築を目的とする。

## 【内容】

- 産業振興、観光振興等の促進
- 移住定住・関係人口交流促進
- 現対面型及びオンラインによるアドバイス

## 【成果（見込み）】

- プライベートヴィラ企画立案
- 稲取温泉遊休地の活用によるバイカー向け宿泊事業立ち上げ（2025年5月オープン）
- オフグリッドトイレシステムの導入に向けたコーディネート



（町内有休地を活用した宿泊施設）

# No.109 静岡県・松崎町（町営施設方向性検討支援業務）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2回程度）
キーワード	# 魅力発掘 # 地域ブランディング # 地方創生 # 関係人口拡大 # 古民家再生 # 文化財活用 # 官民連携 # 賑わい創出

## 【目的】

町内に存在する重要文化財や観光拠点等を含む施設群について、町民とのワークショップを通じ、中長期的な視点での方向性の整理を行い、具体的なアクションプラン策定を行うことを目的とした。

## 【内容】

- ・岩科地区ワークショップ ※合計3回  
（重要文化財 岩科学校が対象）
  - ・修繕に向けた休館スケジュールの検討
  - ・岩科学校を中心とした地域の将来像検討
  - ・教育委員会等関係機関との連携検討
- ・大沢地区ワークショップ ※合計3回  
（道の駅 花の三聖苑／旧依田邸・依田之庄が対象）
  - ・地区住民を対象とした将来像検討
  - ・10年後を見据えた施設の在り方・役割の整理
  - ・民間委託・譲渡の可能性検討および事業者との協議
- ・ワークショップ結果を踏まえた来年度以降の方向性・実行計画の整理



（第1回岩科地区ワークショップ）

## 【成果（見込み）】

- ・6つの町営施設について現状調査及び分析を行った。（R 6）
- ・重要文化財岩科学校において、修繕に向けた休館の必要性について住民理解を促進し、今後の修繕・再開後の活用に向けた方向性を整理。（R 7）
- ・道の駅花の三聖苑および旧依田邸・依田之庄について、地域住民とともに10年後の将来像を共有し、活用・委託・譲渡等の選択肢の検討や地域主導での活用方法を整理。（R 7）

# No.110 三重県名張市（赤目四十八滝観光地再生）

地域力創造アドバイザー	中村 元 氏 (A597)
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、観光振興・交流、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年10日～12日程度）
キーワード	#観光 #観光誘客 #集客アップ #観光地再生 #まちづくり #ブランディング #バリアフリー観光 #情報発信 #パブリシティ #プロモーション #水族館

【目的】 オオサンショウウオの活用、バリアフリー観光等により、本市の主要観光地である赤目四十八滝の観光地再生を行い、観光誘客及び消費拡大により観光産業の活性化を図る。

## 【内容】

- 赤目四十八滝のブランディング
- 赤目四十八滝のユニバーサルデザイン化
- パブリシティカの強化
- 日本サンショウウオセンターの赤目滝水族館化
- アクティビティの開発



集客アップ戦略セミナー



赤目滝水族館



オオサンショウウオの展示

## 【成果】

- 行政、各種関係団体、観光業、サービス業など、市内産業に関わる様々な主体が観光について学び、情報を共有し、今後の取組をより豊かで持続可能なものにしていくことを目的としたセミナーを開催（3回）
- 令和6年4月に日本サンショウウオセンターを赤目滝水族館としてリニューアルオープン。  
令和4年度の赤目四十八滝の観光入込客数96,319人→令和6年度124,564人
- 観光事業者へバリアフリー観光を浸透させるためのセミナーを開催（3回）
- バリアフリー対応のアクティビティの開発（2件）
  - ・赤目滝水族館ナイトアクアリウム体験
  - ・苔さんぽ&苔玉づくり体験
- パブリシティ戦略として、様々なメディアに対しプロモーションを実施
  - ・出演番組：あにまるランキングダム、news one、太田・石井のデララバ、すまたん 他



新しいアクティビティ体験

# No.111 三重県・亀山市（かめやま健康都市大学創設・運営事業）

地域力創造アドバイザー	井階 友貴氏（A668）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（年5回程度）
キーワード	#健康づくり #人材育成 #住民主体 #伴走支援 #地域リーダー育成 #社会参加促進 #健康活動の普及 #コミュニティ強化 #活動自立化 #持続可能な体制構築

## 【目的】

地域での健康活動の拡大に向けた人材「健都サポーター」をより効果的に育成し、地域で自立した活動を行えるよう支援を行うことで、地域主体の健康のまちづくりを進め、健康都市の推進を目指す。

地域の人々とのつながりや様々な社会参加を促すことを目標とし、健都サポーターを介した社会参加につなげる。

## 【内容】

- ・健都サポーターの育成、活用方法の検討
- ・健都サポーターの地域での自走化に向けた教育や支援、協働のあり方の検討
- ・「健康」を核とした地域主体のまちづくり体制の構築

## 【成果（見込み）】

令和9年度末時点で、

- ・健都サポーターの育成人数 131人
- ・地域での健康活動への参加人数 1,596人



（井階先生に健都サポーターアドバイザーにご就任いただきました）



（健都サポーター会議で、全国から集まったファシリテーターと健都サポーターの課題等について活発な意見交換を行いました）



（3つの健都サポーターWGを結成し、地域へ展開する健康活動について、井階先生の助言を受けながら検討しています）



（かめやま健康都市大学で井階先生の講座を実施し、地域主体のまちづくりの重要性を学びました）

# No.112 三重県志摩市（保育園留学導入支援）

地域力創造アドバイザー	山本 雅也氏（A642）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、少子化対策、子ども・子育て支援、関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	# 関係人口創出 # 移住促進 # 子育て世帯 # 保育園 # 地域滞在 # 地域経済の活性化 # 少子化対策

## 【目的】

- ・ 地域独自の魅力や価値の向上に取り組むことで地域力を高め、地方創生及び地域活性化に資する活動に対し、指導及び助言を行う地域力創造アドバイザーを招へいし、課題解決に取り組む。
- ・ 志摩市の保育事業を通じた地域創生に向けて、地域（地域のこどもと家族、事業者・関係者）を巻き込み、地域資源を活かした滞在・体験プログラムの提供により、関係人口の創出及び将来的な移住・定住への転換を図る。

## 【内容】

- ・ 保育園留学による子育て家族へのPR、ブランディングへの指導及び助言
- ・ 子育て家族に向けた地域づくりへの指導及び助言
- ・ その他上記に関連する指導および助言

## 【成果（見込み）】

- 保育園留学の開始に向け、志摩市の魅力発信コンテンツの整理、保育園の受入制度・体制の構築、滞在先となる市内宿泊施設の調査・選定を実施。  
⇒ 7月より保育園留学の受け入れ開始  
(<https://reserve.hoikuen-ryugaku.com/destination/mie/shima/shimanomori>)
- WEBページ等での情報発信を実施し、令和7年度は4件の留学家族を受け入れ。  
(年度内、計6件程度の申込予定)



受入開始保育園（しまの杜こども園）

# No.113 滋賀県・栗東市（職員の意識改革）

地域力創造アドバイザー	前神 有里氏（A399）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育（人材研修）
活用期間（頻度）	令和7年度（年5回程度）
キーワード	#人材育成 #人財育成 #行政改革 #意識改革 #地域とのつながり

## 【目的】

外部専門家の知見やノウハウを活用し、職員の意識改革や組織風土改革を通じた行政改革の推進。

## 【内容】

- 栗東市人財育成・確保基本方針の改訂に係るアドバイス
- 研修の企画・実施（働きやすい職場づくりの実現に向けた研修）
- 地域人材育成研修「地域と市役所のつながりを生み出すために」の企画・実施
- 「つながる学習会」の企画・実施

## 【成果（見込み）】

- 「前例踏襲」「現状維持」の意識が強い当市の職員に外部人材を活用した意識改革につながる研修を実施することで組織風土改革の前進に向けた一歩となった。  
⇒ 受講者の8割以上が「意識改革につながった」と回答。  
⇒ 部署横断的に管理職と若手職員がペア型で対話を行うことで、風通しのよい職場づくりの機運の醸成につながった。
- 地域人材育成研修と「つながる学習会」を通じて、「地域住民同士のつながり」、「職員とのつながり」など様々つながりが生まれるきっかけとなった。



（つながる学習会）



（働きやすい職場づくりの実現に向けた研修）



（地域人材育成研修）

# No.114 滋賀県甲賀市（組織体制強化の支援）

地域力創造アドバイザー	嶋田 俊平氏（A681）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（企業支援・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月4、5回程度）
キーワード	# 起業・開業 # マネジメント支援 # 魅力発掘 # 経営体制の改善 # 賑わい創出 # 売り場づくり # 収支管理 # 伴走支援

## 【目的】

令和7年度夏にリニューアル予定の「道の駅あいの土山」については、施設規模や事業規模に適応した継続的且つ安定的な利益を生み出すための経営体制の改善が必要であることから、そのためのサービス設計および組織体制強化の支援を目的とする。

## 【内容】

- 道の駅再整備に向けたプロジェクトマネジメント支援
- 道の駅再整備後のサービス設計支援
- 株式会社道の駅あいの土山組織設計支援



（1階物販スペース）



（2階コワーキングスペース）

## 【成果（見込み）】

- 運営マネジメント(アドバイス・サポート)  
メディア等を活用し効果的に宣伝したことで、想定以上の集客を達成。  
オープンから1か月でおおよそ12万人以上が来場。
- 売り場づくり  
道の駅独自の新商品の開発。  
購買意欲を高める物販配置を構築。
- 収支管理  
商品やサービスごとの収益性を測定。



（道の駅あいの土山）

# No.115 京都府福知山市（地域のリブランディング）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1～2回程度）
キーワード	# 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出 # 伴走支援

## 【目的】

人口減少や人口構造の変化に加え、社会経済情勢に大きな変化が予測される2040年を見据え、地域活性化を強力に推進していく取組として、本市の「魅力」や「資源」を見出すための調査及び調査結果に基づき地域の資源を活用した賑わい創出、観光導線の確立及び関係人口の創出をめざす。

## 【内容】

本市内、特に大江地域の強みを活かした大江駅のリブランディング計画、誘客計画の立案  
リブランディング案で示された、ビジュアル強化アイテムの作成、滞在動機作り施策の実行



ビジュアル強化アイテムの一例

## 【成果（見込み）】

本事業で立案された施策の実施による大江地域の観光における高付加価値化、来訪者数の増加、来訪者満足度の向上

- 地域をリブランディングする取組みの第一歩として、地域の玄関口となる大江駅および駅構内売店のビジュアルを統一  
⇒スタッフTシャツ、のぼり、ショッパー等、キャッチコピーやビジュアルデザイン案を作成
- 地域の大学と連携し、学生との共創による新商品開発  
⇒開発段階における助言指導、開発した商品のテストマーケティング実施
- 地域資源である「鬼伝説」を活用した、来訪者が楽しめるコンテンツの作成  
⇒すでに取り組んでおられる地域団体とのコラボレーション企画の実施

上記の取組みによる来訪者数の増減や満足度への効果について、令和8年度以降に検証を行う。



大学生が開発した商品を実際に販売



地域団体の取組みとのコラボを展開

# No.116 京都府綾部市（水源の里「水源のわ」プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	野口 智子氏（A218）
活用分野	地場産品発掘・販路開拓、地域ブランディング、集落機能の確保
活用期間（頻度）	令和6年度～（月3日程度）
キーワード	#ブランディング #特産品の開発・掘り起こし #事業継承 #限界集落の活性化 #稼げる集落づくり #住民参加 #賑わい創出 #地域連携

## 【目的】

水源の里集落の体制構築と新規集落の加入促進を図り、さらには水源の里のブランドイメージの形成と次世代へつなぐ事業の展開を図る。

## 【内容】

- 水源の里指定集落のサポート支援（伴走型支援）
- 研修会等の開催（ワークショップ、講演会等の開催）
- 水源の里を考える会へのアドバイス など

## 【成果（見込み）】

- 水源の里集落へのサポートとして、集落支援員、コミュニティーナースと連携し、伴走支援を実施。
- 水源の里集落間の連携を深め、特産品ブランドの強化を図るため、4つの集落が集まり、定期的な協議の場を発足。シンボルとなるロゴマークの作製に至った。
- 水源の里の活動を支えるサポーター制度やふるさと納税制度を活用した集落を支える活動の創設に向けたワークショップや研修会を開催予定。



集落連携協議の様子



ワークショップの様子

# No.117 京都府・与謝野町（地域資源を活用した企業誘致推進事業）

地域力創造アドバイザー	平林 和樹氏（A671）
活用分野	地場産品発掘・販路開拓、起業支援、空家・空き店対策、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	# 起業 # 地域活性化 # 新商品開発 # クラウドファンディング # 新規事業道場 # 伴走支援 # 情報発信

## 【目的】

- 空き工場、空き店舗の利活用、農業や織物業など町内の基幹産業の技術や生産物等の地域資源の活用によって、町内企業や事業者との連携に基づく町内での起業、創業（企業誘致）を図る。
- 当該事業を実施するにあたり、町外企業・事業者の募集、クラウドファンディング型ふるさと納税支援事業による創業補助支援全般に渡って地域力創造アドバイザーを招聘し、助言を受けながら事業を実施する。

## 【内容】

- 町内連携協力事業者を募るための企業訪問
- 進出企業・事業者募集要綱等原稿の作成・助言
- 起業家を育成する新規事業道場の開講
- 新規事業道場受講生の伴走支援



新規事業道場

## 【成果（見込み）】

- 農業2社、織物業4社、観光業3社の町内連携事業者の掘り起し
- 令和6年12月、クラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用した「ふるさと起業家支援事業」を創設
- 「ふるさと起業家支援事業」を活用した起業、新商品開発を目指す起業家を育成するため、全6回、全講座ワークショップ形式の実践型ビジネスセミナー「与謝野新規事業道場」を開講
- 新規事業道場受講者10名から、与謝野町での起業・新商品開発を目指す人材が2名程度、生まれる見込み。

# No.118 京都府・与謝野町（町内事業者販路拡大等支援事業）

地域力創造アドバイザー	秋元 祥治氏（A675）
活用分野	新規事業開発・新商品開発・異分野進出
活用期間（頻度）	令和7年度（月1回程度）
キーワード	#販路拡大 #新商品開発 #新たな事業展開 #ビジネス相談窓口 #中小・小規模企業 #ビジネスサポート

## 【目的】

- 町内の中小・小規模企業が取り組む新たな商取引や販路拡大の取り組みに対して、専門的な知見に基づく助言を行うための相談・支援窓口を構築する。
- 当該相談・支援窓口は、愛知県岡崎市の岡崎ビジネスサポートセンター（オカビズ）をモデルとしており、オカビズのチーフコーディネーターである地域力創造アドバイザーを招聘し、助言を受けながら窓口の開設と相談事業を実施する。町内の中小・小規模企業の販路拡大や新たな事業展開をサポートするビジネス相談窓口を開設

## 【内容】

- 町商工会・行政職員を対象とした研修会の実施
- 相談窓口の構築・運営への助言・指導
- 個別相談案件に対する指導、助言
- 相談窓口のコーディネーターの育成



商工会・行政職員 研修会



ビジネス相談窓口

## 【成果】

- 令和7年10月「販路拡大等ビジネス相談窓口」を開設、イベントとして町内事業者2社を対象としたアドバイザーによる特別相談会を実施
- 令和7年11月から令和8年2月まで、毎月1日2コマ、各1時間のビジネス相談窓口を開設
- 相談窓口利用者の満足度は高く、利用者アンケートでは、相談対応について利用者全てが「やや満足」「非常に満足」と評価

# No.119 兵庫県洲本市（道の駅開設支援等アドバイザー）

地域力創造アドバイザー	金山 宏樹氏（A478）
活用分野	人材研修、地域ブランディング、起業支援、地場産品発掘・販路開拓
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#仕掛け #道の駅再生 #起業・開業 #地域ブランディング #ブランディング #商品開発 #繁盛店プロデュース #地域PR #賑わい創出

【目的】 洲本市初となる道の駅開業を見据え、魅力度の高い持続可能な運営体制の構築や、効率的で効果的な施設整備の実現を図る。

## 【内容】

- 運営管理を踏まえた道の駅施設整備に関するアドバイス
- 運営管理を踏まえた既存施設のリニューアルに関するアドバイス
- 道の駅物販施設の経営戦略と体制整備に関するアドバイス



新メニュー試作品



新メニュー試食会

## 【成果（見込み）】

- レストラン部門において、地元の旬食材（春・初夏・夏・秋・冬）を活かした新メニューを開発。淡路島3年とらふぐを使用した冬季メニューを開発し、集客、単価アップを目指す取組みを実施。また、経営改善の取組みにより、食品原価率においては2025年度4月から10月についても平均30%代を維持しているが、さらにF Lコストを下げる仕組みを構築していく。
- 洲本市「海の幸」ブランド化に向け地元漁協に働きかけ、道の駅開設に向けた前準備として各種イベントへ参加する方向で協議を行い具体化を目指し進めた。（2026年3月～漁協青年部として各種イベントへ出店予定）イベントを通じ課題やリピーター確保に向けた取組みを進めていく体制づくりを行う。
- 浴場部門はプランの見直しを2025年1月に行っているが、さらに増収に向けた取組みを行うとともに、今後は価格の改定や大規模改修を実施し、赤字を縮小させていく。
- 宿泊やレストラン等で新たに行う取組み等については、メディアやSNSを積極的に活用し、リピーターや新規客の獲得に向けた取組みを実施。
- 自発的な改善提案の仕組みづくりにより、赤字に対する危機感が薄かったスタッフは、自ら課題を発見し、改善策を提案・報告する姿勢が顕著化。



道の駅建設設計業者との打合せ

※2年度目となる令和7年度は、前年度からの課題解決に向け、経営基盤を支える健全な仕組みづくりを具体化していくため、さらなるコスト削減や課題の抽出、赤字の改善に向けた各種取組みを行った。

# No.120 兵庫県豊岡市（自伐型林業推進）

地域力創造アドバイザー	中嶋 健造氏（A249）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、環境保全・SDGs、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（年5回）
キーワード	# 林業、# 力強い林業、# 多間伐施業、# 小規模、# 低投資、# 低コスト、# 環境保全型林業、# 移住・定住、# 林業の活性化、# 獣害対策、# 災害防止、# 中山間地域

## 【目的】

自伐型林業推進により、豊岡市における新たな林業人材の育成と定着を図り、持続可能な力強い林業の確立を目指す。

## 【内容】

- 自伐型林業をテーマにしたフォーラムへの登壇
- 自伐型林業普及・定着に向けた調査
- 自伐型林業普及・定着に向けた施策及び制度設計の助言

## 【成果（見込）】

- 令和7年7月6日に開催した自伐型林業をテーマにしたフォーラムへの登壇  
→自伐型林業フォーラム参加者：約70名
- 市内山林調査  
将来の自伐型林業者の施業地となり得る山林の調査
- 他市町における自伐型林業関連施策の調査  
他の市町村における自伐型林業関連施策（補助制度等）の内容の調査
- 自伐型林業研修参加者へのヒアリング  
令和7年8月～10月に実施した「豊岡市自伐型林業体験研修」の参加者に対し、本市での自伐型林業による施業の可能性や施業を行ううえで必要な支援等についてヒアリング  
→ヒアリング対象者（研修参加者）：18名
- 自伐型林業普及・定着に向けた施策及び制度設計の助言  
調査内容を踏まえた、本市での補助制度の設計や自伐型林業の施業地確保に向けた施策立案に対する助言



自伐型林業フォーラム



市内山林調査

# No.121 兵庫県・豊岡市（地域資本活用とDX人材育成）

地域力創造アドバイザー	小田垣 栄司氏（A749）
活用分野	地域資本活用、自治体イノベーション（DX人材育成プロジェクト）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月4回程度）
キーワード	#地域資本（資源） #自治体イノベーション #地域活性化 #DX推進 #DX人材 #自治体DX

【目的】 地域資本についての知見や、その活用の経験を活かし、持続可能な地域資本活用の仕組みづくりを進める。また、市民の視点から見た市民サービスのあり方の見直しや、DX人材育成についての専門的な知見を活かし、自治体DXを推進するためのDX人材育成プロジェクトを進める。

## 【内容】

- 地域資本の可視化、活用の手法検討の支援
- 市民サービスの見直しに関する支援
- DX人材育成プログラム（Xmeeting）の開催・運営に関する支援  
Xmeeting：庁内若手職員による改革チーム
- 地域と企業の連携に関する支援



先進地視察（香川県三豊市）

## 【成果（見込み）】

- 先進地の視察や、定例の勉強会（1回/2週）を開催し、**現地に即した地域資本の活用について体系的な整理。**
- DX人材育成プログラム（Xmeeting）を開催し、DX人材を育成するとともに、庁内改革プロジェクトの推進（助言、伴走）。
  - ➔ **Xmeeting定例会（1回/月）と、報告会（2回）の開催。**
  - ➔ **Xmeetingの設計・運営に関する事務局（担当部署）との協議（ミーティング）の開催（1回/週開催）**
  - ➔ **Xmeetingでの庁内改革プロジェクトの推進**
- 地域の資本活用の観点から、市外の企業の紹介、助言。
  - ➔ **既存の施設やイベントと、市外企業との連携提案**



Xmeetingでの指導

# No.122 兵庫県加東市（ICTを活用した観光体験商品の企画開発支援）

地域力創造アドバイザー	細川哲星氏（A546）
活用分野	1. 地域資源を活用した地域経済循環、6. 観光振興・交流、12. シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～（令和8年度まで予定） ・稼働＝月4回程度（全30回程度）
キーワード	#観光 #周遊 #消費拡大 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #誘客

## 【目的】

観光客の一極集中の是正、観光客の滞在時間の延長を目的に、ICTを活用した新たな周遊型の観光体験商品を企画・開発することで、観光地としての魅力を強化する。

今年度は、昨年度に引き続き、東条湖周辺に宿泊するスタイルを継続しつつ、周遊の輪を広げてさらなる消費拡大を促すコンテンツとなる予定。

地域を広く巻き込んで『マダー・ミステリー』というものを一度実施できたことで、宿泊施設をはじめ、様々な方が要領をつかんだ様子で、地域主体でのさらなる観光振興を促進できると考えている。

## 【内容】

- 市、市観光協会、市内事業者が主体となって取り組むマダー・ミステリーのシナリオ作りと既存観光施設での仕掛けづくりの指導
- シナリオの検討会議での地域事業者との調整・アドバイス、周遊の強化策検討
- ICT活用の指導（シナリオ上での活用）



今回のキービジュアル



加東市ならではの仕掛けを盛り込むため、市観光協会や地元事業者とのフィールドワークを重視。  
【播州清水寺】  
【東条湖】

## 【成果（見込み）】

- 指導のもと、昨年よりもさらに広域での旅行商品が出来上がりつつある。
  - アドバイザーにより、地元ホテルほか寺社などの協力を取り付けることができた。
  - シナリオに地域の特産品を組み込むことで、地域のPRと消費喚起につなげた。
  - 参加予約は100人超。
- 前年度の商品も別途稼働しているため、今回のシナリオを加えて運用することで、オフシーズンに宿泊を伴う交流人口の流れを作ることができた。事業全体の費用対効果もプラスに転じている。

# No.123 奈良県・五條市（若手職員政策研究推進事業）

地域力創造アドバイザー	丸橋 裕史 氏 (A534)
活用分野	地域活性化、職員の育成
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（予定）（月2、3回程度のミーティングおよび随時相談）
キーワード	#地域の担い手 #魅力発掘 #地域産業の活性化 #若手活躍 #プラットフォーム #地域産物 #PR #賑わい創出 #交流人口の増加 #伴走支援 #ブランド化

【目的】 民間事業者とともに農産物等の地域資源を活かす取り組みを行い、市の魅力を一人でも多くの人に発信することで、「訪れたい」と思われる活気あるまちづくりを目指す。



農産物等の地域資源

【内容】 下記内容を支援して頂いています。

- 民間事業者と市が一体となるチームの運営（事業者主体とする）
- 五條市の地域資源を活用した産業振興、地域のブランディング
- 若手職員の課題解決力やシティプロモーション技術の向上

【成果（見込み）】

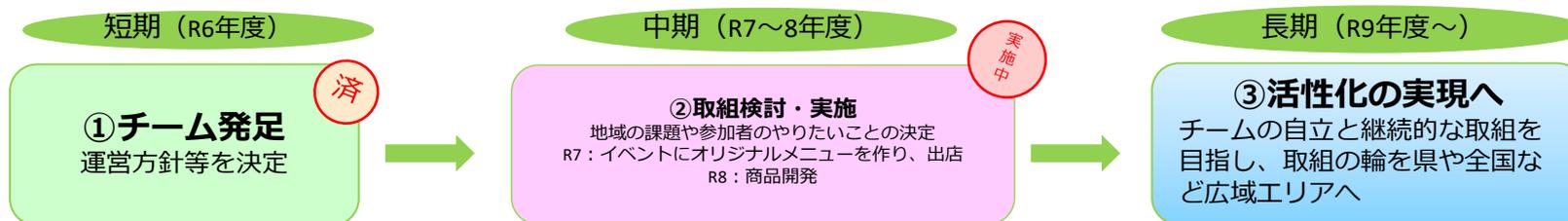
- 市内事業者の特産物を用い、お互いを知る  
「食を通じた自己紹介」（試食会）実施の支援（R6）
- チーム設立の支援（R6）
- チームの運営、イベント実施等の実施による地域活性化支援（R7）
- 地域産物のPRをおこない、五條市の交流人口の増加（R7～R8）
- 地域産物を用いた商品の開発（R7～R8）
- 職員の課題解決力等の向上（R6～R8）



イベント出店用のメニューの試作の様子  
（五條産の農産物を積極的に活用）

会議の様子

**R7目標：イベントを通じ「五條の食」を知ってもらう**



# No.124 奈良県下北山村（観光振興）

地域力創造アドバイザー	片岡 寛明氏（A694）
活用分野	観光振興
活用期間（頻度）	令和7年度（月2.5回程度）
キーワード	#観光 #地域活性化 #滞在・活動の場づくり #地域ブランディング #事業マネジメント

**【目的】** 下北山スポーツ公園経営改善計画の策定に向けた調査及び計画書策定の支援を行い、観光拠点の活性化を図る。

## 【内容】

- 下北山スポーツ公園経営改善計画の策定に関する指導及び助言
- 下北山スポーツ公園経営状況レポートの作成
- その他上記に関連する一切の相談についての指導及び助言

## 【成果】

- 下北山スポーツ公園経営改善計画の策定及び従業員への共有
- 施設運営の管理職向けに経営に関する数字の意識づけを行い、経営改善へ繋がった。
- 温泉等の関連施設でのユーザーの分析やキャンペーン等での集客アップへ繋がった。



下北山スポーツ公園経営改善



温泉施設の集客力向上



経営改善計画に関する指導・助言

# No.125 和歌山県和歌山市（ワーケーション等推進事業）

地域力創造アドバイザー	森重 良太氏（A751）
活用分野	関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月2回～3回程度）
キーワード	# 関係人口 # 地域の担い手 # 地域キーパーソン # 事業連携 # 魅力発掘 # 若手活躍 # ビジネスマッチング # 賑わい創出 # 他世代交流 # 伴走支援

【目的】 県外企業との関係人口づくりを目的とするワーケーション等推進事業において企業と地域の間に入るコーディネーターの育成、地域課題の提供、プラン策定等外部専門家指導のもと和歌山市での県外企業受け入れ体制の構築を行う。

## 【内容】

- 地域コーディネーター養成講座を開講
  - ・コーディネーターの実例学習
  - ・マネタイズのためのマーケティング等の知識習得
  - ・モニタープラン作成等
- 各受講者のモニタープランの個別磨き上げ、サポート
- 最終発表時有識者からのフィードバックとともに講座の修了証の授与を行い、講座修了後は本市の地域コーディネーターとして登録、活動予定となっている。



## 【成果（見込み）】

- 地域コーディネーターとなる人材の発掘・育成のため養成講座を月に2回程度開催。
- 受講者は民泊施設、コワーキング運営、ものづくり関係者、教育関係等計15名参加。
- 受講者間で連携が生まれるなど好循環が生まれている。
- 最終的に13名の受講者からモニタープランが提出され、インバウンド、親子向け、本市企業との連携等幅広い受け入れ体制が構築された。
- すでに本市で受け入れた企業ワーケーションにおいて受講者の1人にプランの一部をコーディネートしてもらい、参加企業から高い満足度を得た。
- 最終発表を行った受講者13名のうち1名が事務局として和歌山市地域コーディネータラボ事務局を立ち上げ、今後事務局を中心に推進していく。



# No.126 和歌山県橋本市（まち・ひと・しごと創生推進事業）

地域力創造アドバイザー	関根 祐貴氏（A511）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月3回程度）
キーワード	#人財育成 #プロジェクトチーム #事業立案 #若手活躍

## 【目的】

地方創生関連事業に対し助言、関連事業の立案、その他施策に対する助言等を受け、効果検証及び改善を行う。  
地域の稼ぐ力、人の流れの創出関連事業の改善を図り、地域の活力を醸成する。

## 【内容】

○事業立案に対する支援（分析、助言、人材研修）

地方創生関連事業に対する助言及び事業立案に対する分析、助言、人材研修を行い、地方創生関連事業及びその他市施策の効果検証、改善を行い、地方創生に貢献する。

## 【成果（見込み）】

○地方創生関連事業に対する助言

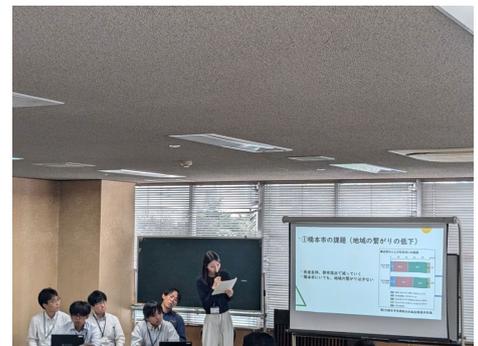
- ・市の若手職員で構成した長期総合計画に係る重点プロジェクトチーム（JPT）による事業の立案等において、助言、効果検証を行い、各分野から事業化について検討し、職員提案による事業化について企画から提案までサポートした。

【事業化に向けて調整・検討しているもの】

- ⇒ 休日の居場所づくり R8年度より遊戯室の土日開放（出生数の改善【予算化調整】）
- 市ホームページ改修 R8年度より掲載内容の充実（ファミリー層の転入促進【予算化調整】）
- マッチボックス事業（転出超過の抑制、住み続けられるまちをつくる【事業化検討】）

・市の施策に対する総合的な助言の実施

市の実施する福祉、医療、財政、企画等をはじめとした施策に対し助言を実施した。  
市制20周年記念事業にかかる取り組み全般について助言を実施した。



（JPTによる事業化発表会）

# No.127 和歌山県みなべ町（「SDGs未来都市計画」の推進）

地域力創造アドバイザー	大和田 順子氏（A362）
活用分野	SDGsを活かした農村振興、農業遺産観点からの地域資源のストーリー作り、住民参加、地域と教育機関の連携
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2回程度）
キーワード	#SDGs未来都市 #世界農業遺産 #多世代交流 #住民参加 #域学連携 #バイオ炭 #OECDラーニングコンパス2030 #Well-being

## 【目的】

世界農業遺産に2015年に認定された「みなべ・田辺の梅システム」地域のうち、みなべ町を対象に、「SDGs未来都市」の申請を支援。選定された「自治体SDGsモデル事業」のテーマは「日本一の梅の里、“みなべ梅ラーニングコモンズ”による人・地域・地球の健康増進」。住民・職員が参加し地域の課題解決に向けて主体的に活動する組織の確立を目指す。また、梅剪定枝を原料としたバイオ炭化のしくみをつくり、CO2削減・土壌改良・資源循環など環境保全型梅栽培を目指す。

## 【内容】

- 「SDGs未来都市計画」及び「自治体SDGsモデル事業」推進支援
- 梅剪定枝のバイオ炭化しくみづくり支援
- 住民・職員参加による「みなべ梅ラーニングコモンズ」グループ活動の支援



（大阪・関西万博「ジュニアSDGsキャンプ」）

## 【成果（見込み）】

- 「みなべ梅ラーニングコモンズ」8テーマの活動のうち、特に梅で健康①町民（先進地視察：琵琶湖システム）、梅で健康②都市と梅で健康③若者（大阪・関西万博におけるジュニアSDGsキャンプ、105名参加）、バイオ炭（勉強会）の企画・講師紹介等の支援を行い、町民・職員実行委員（委員数約50名）による積極的な活動が進んだ。
- バイオ炭については、第23回日本炭化学会において、みなべ町における取り組みを紹介。
- 広報活動として第9回東アジア農業遺産学会において、みなべ町SDGs未来都市計画や「みなべ梅ラーニングコモンズの」取り組みを紹介。また、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」10周年記念シンポジウムにおいて、「学びの場としての世界農業遺産」として、取り組みを報告。

# No.128 和歌山県・白浜町（地域活性化事業）

地域力創造アドバイザー	浦野 宜幸氏（A712）
活用分野	地域資源を活用した官民連携によるまちづくり
活用期間（頻度）	令和7年度（月4回程度）
キーワード	# 地域活性化 # 魅力・ブランド発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出 # 他世代交流 # 伴走支援 # KPI設定管理 # マーケティング調査・分析・計画の策定 # 経営改善 # 観光振興 # 地域おこし協力隊

## 【目的】

白浜町内にある道の駅志原海岸周辺を中心に、町内の過疎地区である日置川地域独自の魅力や価値を向上させ誘客を図るため、道の駅・スポーツ施設・ジオパークなどを活用したブランド戦略を企画立案する。

さらに、白浜町日置川地域を活動拠点とする日置川町商工会と共に日置川地域のブランドを再構築し、地域内外に向けて統一感とコンセプトを明確にした情報発信をおこない、道の駅事業をはじめとして地域活性化を実現する。

## 【内容】

- ブランド戦略の企画立案（提供価値、KPI設定、マーケティング等）
- 改善計画立案
- 地域推進体制の見直し
- 運営体制の見直し

## 【成果（見込み）】

- 地域の認知度の拡大、観光客の流入、道の駅等の経営力の強化を行う（令和7年度の実施内容）
    - ⇒ 白浜町観光施設及び日置川エリアの観光資源を調査し、日置川ブランドの検証と資料を作成
    - ⇒ 全国道の駅事業のヒアリングとビジネスモデルリサーチ、道の駅ビジネスモデル資料を作成
    - ⇒ 地域おこし協力隊の募集から運用までの年間計画の検討及び事業計画書の作成
    - ⇒ 道の駅志原海岸店舗（海来館）の事業戦略を策定
    - ⇒ 道の駅志原海岸店舗（海来館）の管理運営計画・商品・サービス計画の策定
- 今後は、策定した計画を基にマーケティング等を実施していく予定



商品陳列（実験中）の様子



道の駅志原海岸

# No.129 和歌山県上富田町（ひと体験コンテンツの造成等）

地域力創造アドバイザー	森重 良太氏（A751）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～（月4、5回程度）
キーワード	#地域の担い手 #観光施設 #地域おこし協力隊 #伴走支援 #魅力創出 #体験 #観光振興 #交流 #関係人口 #地域資源 #関係人口 #プロモーション #地場産品

## 【目的】

上富田町観光協会をはじめとした観光事業の人材育成をきっかけに地域振興への取り組みを加速させることを目的とする。特に、特産品の開発や既存スポットの高付加価値化などから、地域経済を循環させる仕掛けを積極的に行えるようにする。

## 【内容】

- 町所有観光施設の利活用についてのアドバイス業務
- 町内観光事業者との打合せ及び伴走支援
- ひと体験コンテンツの開発における伴走支援
- 地域おこし協力隊の育成



東京での商談会



ひと体験コンテンツ

## 【成果（見込み）】

- 関係者との協議により、町所有観光施設の利活用の方向性を定めることができた。
- ひと体験コンテンツを造成し、都市圏に向けての商談会に初めて参加し、アピールすることができた。
- 観光に携わる事業者及び町担当者への意識醸成につながった。
- ワーケーションの受け入れを初めて行い、コンテンツを体験してもらうことで、現状の課題の把握と磨き上げにつながった。
- 町及び上富田町観光協会と観光庁各種補助金の公募申請に係るアドバイス等を実施



ワーケーションの様子

# No.130 和歌山県那智勝浦町（デジタルノマド誘致）

地域力創造アドバイザー	細川 哲星 氏（A546）
活用分野	インバウンド、関係人口、滞在、活動の場、DMOと連携、民泊、農泊
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	#デジタルノマド #インバウンド #関係人口 #観光業の活性化 #多文化交流 #観光振興

【目的】 歴史的建造物の活用、訪日外国人誘致、デジタルノマドの誘致を通じて観光振興および地域の経済発展を図る。

## 【内容】

- ワーキングスペースの整備
- 受け入れ環境調査
- モニターツアーの実施
- デジタルノマド向けWEBサイトの作成
- プロモーション活動

## 【成果】

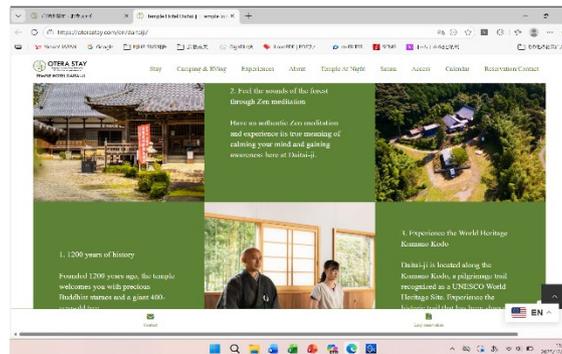
- 受け入れ環境調査の実施
- 「デジタルノマド」を学ぶ研修会実施  
⇒町内観光関係事業所を対象（13名参加）
- モニターツアーの実施  
⇒日本人有識者2名、外国人有識者1名を招待  
2泊3日で町内5エリア+aについてレポート
- デジタルノマドツアーの実施  
⇒14名参加  
来年度も実施（参加者100名を目指す）
- WEBサイトの作成
- COLIVE FUKUOKA 2025参加  
⇒ブース出展（デジタルノマド誘致）



（モニターツアー）



（デジタルノマドツアー）



（WEBサイト）



（COLIVE FUKUOKA 2025） 138

# No.131 鳥取県・米子市（域内経済強化のエリアマネジメント）

地域力創造アドバイザー	又吉 重太 氏 (A607)
活用分野	まちなか再生、関係人口の創出・拡大、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度から制度活用（月2回現地協議、月6回オンライン協議）※令和3年度から継続して関与いただいている
キーワード	#営み#空間#支える仕組#地域住民#温泉地#海辺#エリアマネジメント#まちづくり#エリア経営#情報発信 #ワークショップ#関わり代拡大#開業支援#低未利用地#中間支援組織#ビジョン#来街支援#マーケティング

## 【目的】

皆生温泉エリアの持続的な経済発展のためには、「選ばれ続ける温泉地」となることが必要である。しかしながら、本温泉地の経営手法には、旅館単体のブランド力で誘客するものがベースにあり、温泉地としての面的なまちづくりが充分とはいえない現状にあった。そのため、個人旅行・トキ消費トレンドといった旅行ニーズの多様化に対応できず、空き地・空き店舗の多い閑散とした街に変化した。また、閑散期と繁忙期の大きなギャップが存在し、不安定な温泉地経営が続いていた。

これらの課題に対処するため、令和4年度にビジョンを定め、宿泊客だけではなく、通年で訪れる方・住まう方の来街を受け入れるウェルビーイングなまちを目指し、「営み・空間・支える仕組み」のマネジメントに着手した。

## 【内容】

地域住民の来街支援・滞在時間の延長・域内消費の拡大に取り組むとともに、新たな活動者・経営者の関わりしるの拡大を図った。加えて、『地域の日常があり、訪れたいくなる「まち」』としてのブランディングに取り組むなど、多様な軸でまちの魅力向上を図り、観光産業の柱である宿泊者増に寄与すべく各種の取組を推進した。

## 皆生温泉エリア経営実行委員会への伴走型アドバイザー

定例会の事務局支援、情報発信支援、事業者誘致開業支援、ビジョン更新支援、WS運営支援  
まちなみデザイン検討支援、まちづくりにおける中間支援の在り方検討の伴走

## かいけラボ共同時様態への伴走型アドバイザー

みんとしよ設立・運営事業、定期的な来街支援イベント事業、

## 【成果（見込み）】

- 新規開業店舗数 R4:8店舗、R5:7店舗、R6:7店舗、R7:4店舗（R7.12現在）
- ビジョンの更新「KAIKE AREA DESIGN ver2.0」（WSを通じて策定）
- コロナ前の宿泊客数の水準に回復（24万人→41万人）
- 地域住民へのエリアマネジメント情報紙によるエリア経営の認知向上（0→50%）
- エリアマネジメント活動の受賞歴

→R4ソトノバアワード大賞、R5グッドデザイン賞、R6デザイン白書掲載、NEXTPUBLICAWARD（公共R不動産）



（ビジョンイラスト）

# No.132 鳥取県岩美町（政策創造事業支援業務）

地域力創造アドバイザー	大山 詠司氏（A347）
活用分野	自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月2～3回程度）
キーワード	#自治体経営 #政策力向上 #政策コンテスト #業務効率化 #人材戦略

## 【目的】

自立した自治体経営を目指す上で個々の職員の能力向上は不可欠であり、特に求められる政策思考力、政策遂行力の向上を目的とする。今年度は特に業務の現状を改善し住民サービスの向上を目指すべく、業務効率化に寄与する仕組化支援と人材育成制度の再構築支援を行う。

## 【内容】

- E B P M講習及びナッジに関する講習
- 講習対象者面談・政策コンテストの実施支援
- 人材戦略策定・政策実務化への伴走支援
- 統一された引継書様式を用いた各業務の仕組化ワークの実施支援



政策コンテスト講評

## 【成果（見込み）】

- 政策遂行力の向上を図るべく、令和5年度に職員による政策コンテストを実施。令和6年度においては、コンテストで提案された政策の一部を実現した。
- 令和6年度において決裁区分の見直しを達成。引き続き令和7年度にかけて統一されたフォーマットでの引継書の作成などにより属人化を防ぎ更なる業務の効率化を目指す。
- 「岩美町人材戦略会議」を設定し、人材活性方法のグランドデザイン及び人事諸制度を構築するため、人材戦略とそれに紐づく人事制度について検討中。採用・人事施策についての一貫した考えに基づく人材育成・確保基本方針策定を目指す。

# No.133 鳥取県・若桜町（政策みがきあげ事業）

地域力創造アドバイザー	大山 詠司氏（A347）
活用分野	シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1～2回程度）
キーワード	# 職員研修 # 政策思考力・遂行力 # 政策コンテスト # 仕組み化 # 人材育成・確保 # 集客

## 【目的】

E B P M・ナッジ講習等や講習を生かした政策提案を行うことで、事業を効果的・効率的に遂行するために必要な政策思考力や政策遂行力の向上を図るとともに、研修、人事評価の方法改善や通常業務の仕組み化を行うことで持続可能な政策遂行に必要な人材の育成・確保を行うことを目的とする。

## 【内容】

- E B P M・ナッジ講習、政策コンテストの実施
- 政策・ワーキングの実行支援
- 人材みがきあげ会議の運営
- 人材育成・確保基本方針の策定支援、採用募集記事掲載
- 仕組み化ワークの実施
- 駅周辺のグランドデザインの作成



政策コンテストの提案資料

## 【成果（見込み）】

- E B P M・ナッジ講習・政策コンテスト・政策実行  
⇒ 事業を効果的・効率的に遂行するために必要な政策思考力や政策遂行力に関する知識習得と応用（政策提案）及び政策実現（会計年度任用職員制度の精査、庁舎案内の改善、個別ワーキングの実施等）
- 人材みがきあげ会議、人材育成・確保基本方針、採用募集記事掲載  
⇒ 求める人材像の明確化、人材像に基づく人事諸制度の改善、国方針を踏まえた人材育成・確保基本方針の策定、記事掲載による広域的な採用募集
- 仕組み化ワーク ⇒ 統一様式を用いたマニュアル（仕組み化シート）の作成・運用による業務効率化及び業務量の可視化

# No.134 鳥取県・智頭町（特定地域づくり事業協同組合）

地域力創造アドバイザー	太田 章彦氏（561）
活用分野	10. 地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	# 特定地域づくり事業協同組合 # 地域の担い手 # 移住・定住 # ブランディング

## 【目的】

智頭町と智頭町複業協同組合は、特定地域づくり事業を軸にまちづくりを進めている。太田 章彦氏を招聘し、鳥根県の海士町および浜田市弥栄町において2つの特定地域づくり事業協同組合を設立し、弥栄町では有機農業を核としたまちづくりをしているお立場から、組合の事業、方針や働く環境や暮らしの環境の整備、地域を横断した事業の創出など様々な面においてご助言いただき、智頭町らしいまちづくりを目指す。

## 【内容】

- ・まちづくり全般に関する意見交換(オンライン面談含)
- ・事業者/地域住民の巻き込みについてのアドバイス
- ・移住者の集客・定着についての事例共有
- ・住宅環境整備についての情報共有
- ・弥栄町における農業の情報共有

## 【成果（見込み）】

- ・空き家改修後の運営体制の磨き込み
- ・智頭町複業協同組合、智頭町のブランド化の推進



打ち合わせの様子



現場確認の様子

# No.135 鳥取県湯梨浜町（地域経済の活性化等）

地域力創造アドバイザー	大山 詠司氏（A347）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、移住・定住促進、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#地域資源 #温泉 #道の駅 #グラウンド・ゴルフ #生涯スポーツ #スポーツツーリズム #発祥地 #WMG #地域通貨 #Well-being #健幸

【目的】 地域経済の活性化及び持続可能な地域づくり

## 【内容】

- ①はわい温泉・東郷温泉の活性化及び道の駅はわいの魅力向上に関するランドデザイン作成支援（関係者のヒアリング、ランドデザインの提案、提案に基づいた事業伴走）
- ②グラウンド・ゴルフ国際化の推進支援（発祥地ブランド形成に向けた提案等）
- ③地域通貨の導入支援（事業企画、制度設計提案）
- ④「東郷池の恵みをつなぐ湯梨浜Well-beingタウンプロジェクト」に関する助言（工程表の作成、各プロジェクトチームの伴走支援等）

## 【成果（見込み）】

- ①温泉地及び道の駅の活性化策の具体化  
⇒R7に具体的事業の提案
- ②SNS情報発信による町の知名度向上  
⇒発祥地モデル用具の売上増加、R8国際大会参加者増加、WMG2027関西参加者増加
- ③導入の可否の決定
- ④方向性の具体化



グラウンド・ゴルフ国際化に向けたインフルエンサーの招へい

# No.136 鳥取県北栄町（官民連携による地域の課題解決等）

地域力創造アドバイザー	鷲見 英利氏（A771）
活用分野	自治体経営イノベーション（官民連携による地域課題の解決・地域の持続的発展）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1、2回程度）
キーワード	#官民連携 #企業と地方のマッチング #自治体イノベーション #人材研修

## 【目的】

官民連携による町の様々な課題解決や地域の持続的発展を目指す

## 【内容】

多くの自治体と企業を繋げ、自治体が抱える社会・地域課題の解決や地域発展の政策兼事業実現してきたノウハウを活かし、職員の官民連携への理解を深め、官民連携の取り組みを促進する。

- 職員向けの官民連携のセミナー開催
- 町の課題の精査
- 企業の紹介・政策企画立案
- 官民連携のためのサポート（助言・支援）

## 【成果（見込み）】

- 職員向けの官民連携セミナーを開催（全6回）  
全庁から23名の職員が参加し、官民連携について理解を深めた
- 企業の紹介による官民連携を実現  
10社紹介  
→ **2社と連携協定（地方創生及び地域社会の発展を図ることを目的）**  
※提供される家電を活用した業務効率化や災害対策  
**1社と事業を実現（企業版ふるさと納税ポータルサイトの掲載）**  
→ **その他企業についても協議・調整しており、今後も官民連携による地域課題の解決や地域の持続的発展が図られる**



（官民連携セミナーの様子）



（（株）Jackery Japan様との協定）

# No.137 鳥取県伯耆町（自治体の総合振興計画策定支援）

地域力創造アドバイザー 藤山 浩氏（A428）

活用分野 地域資源を活用した地域経済循環、自治体経営イノベーション

活用期間（頻度） 令和7年度～令和7年度（月1回程度）

キーワード # 地域資源を活用した地域経済循環 # 集落機能の確保 # 住民参画 # 地域ブランディング

## 【目的】

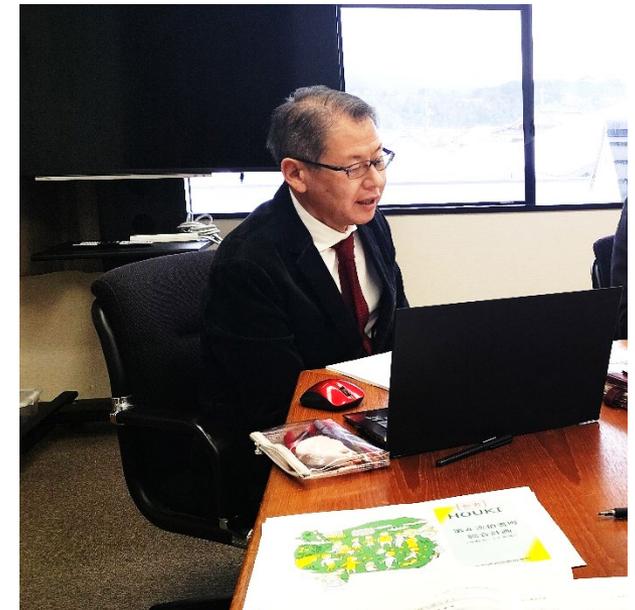
伯耆町の第4次総合計画策定にあたり、総務省「地域力創造アドバイザー」制度を活用し、外部専門家の知見等を取り入れ、政策推進上の課題の解決に向けた助言や情報提供を目的とする。

## 【内容】

- (1) 人口ビジョン策定アドバイス、支援
- (2) アンケート調査アドバイス
- (3) 総合計画策定に関する提言、アドバイス
- (4) 現地指導 ①町内視察・業務打合せ ②現地指導・協議 ③メール・電話協議

## 【成果（見込み）】

- (1) 人口ビジョン 独自の人口分析ワークシートを提供。人口ビジョン策定を支援
- (2) アンケート調査
  - ①住民アンケート、中学生アンケート調査に関する提言、アドバイス
  - ②調査・分析結果をもとに今後のまちづくりに向けた提言、アドバイス
- (3) 総合計画策定に関する提言、アドバイス
  - ①現状と課題、まちの将来像とまちづくりの基本方針、重点施策についての提言、アドバイス及び先進事例の紹介
  - ②町政運営全般における課題解決のための提言、アドバイス並びに関係資料の提供等
- (4) 現地指導
  - ①町内視察・業務打合せ1回（現状把握・人口ビジョン、アンケート調査協議）
  - ②現地指導・協議5回（アンケート分析・人口ビジョン・将来像、基本方針・重点施策、審議会出席、）
  - ③メール・電話協議



# No.138 島根県・川本町（政策立案研修）

地域力創造アドバイザー	椎川 忍氏（A192） 箕浦 龍一（A554）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（年5回）
キーワード	#政策立案能力の向上 #地域課題 #本当の課題 #動かせる政策 #伝える力 #調整力 #実行力 #対話力 #係長・主任を対象

## 【目的】

川本町職員の次期中核的リーダーとなる職員に対し、政策立案のための企画力・実行力・創造力の向上を図る。

## 【内容】

全5回（計5日間）の研修を通して、政策の基礎理解に始まり、データによる現状分析や課題の構造化、他自治体事例の応用、実行に向けた現場マネジメント、そして住民や組織に政策を伝えて協働を生む実践的コミュニケーションまで、政策立案に必要な理論と実務力を体系的に習得する実践型プログラムを実施。（地域力創造アドバイザー）

- ・椎川 忍：本事業の監修・指導
- ・箕浦龍一：主任講師として本事業の企画運営

## 【成果（見込み）】

- ・政策立案の基本的な構想力と分析力が身に着く
- ・データ、事例、現場の声から地域課題を分析し、構造的・多面的に捉える思考力が身に着く
- ・庁内外の調整や業務整理を通じて、実行力のある政策が立てられる
- ・住民や上司、同僚などを巻き込んで政策を実行に移すための、マネジメント能力が養われる など



（地域課題抽出のグループワーク）

# No.139 島根県美郷町（みさと農業再生プラン推進事業）

地域力創造アドバイザー	大島 裕司氏（A520）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（令和8年1月～3月、月2回程度）
キーワード	#農業 #農業振興 #就農 #新規就農 #新規就農者 #地域脱炭素 #ゼロカーボン #環境負荷

## 【目的】

町内農業の課題解決として「みさと農業再生プラン」を展開し、地域農業の活性化を図る。

## 【内容】

「みさと農業再生プラン」では、新規就農者の獲得と町内農家への支援を目的に、2つの施策の推進を考えている。1つ目は「攻めの農業」として、儲かる農業と環境への配慮を両立した「魅力ある農業」を確立し、その取組に共感する人材を町外から呼び込み、新設した研修施設にてトレーニング後の就農を促進する。2つ目は「守る農業」として、農業特化型第3セクター「ファームサポート美郷」を活用した農業者支援と耕作放棄地対策に取り組む。2つの施策の更なる推進に向け、アドバイザーのサポートを受け下記の①～③を実施予定。

- ①再生プランの将来像の整理
- ②再生プランの将来像を実現するための施策の整理
- ③補助事業の申請支援

## 【成果（見込み）】

- ・再生プランの将来像の整理及び将来像を実現するための施策の整理を行い、更なる事業推進を見込む
- ・農業を含む地域課題解決や環境・経済・社会のバランスが取れた地域循環共生圏の確立を目指す

第一期研修生と研修風景



美郷町ミニトマト研修施設  
島根県就農準備資金等研修機関  
認定施設（島根県内第2号）



- ＜施設概要＞ 総面積 16,146㎡
- 営農型太陽光発電 100kw 蓄電池 50kw  
藤棚式(架台高3m) 遮光率30%
  - 研修用農業ハウス 8m×45m ヒートポンプ付  
※R8年度以降2棟増築予定
  - 研修棟(男女別トイレ、シャワー室付)
  - 選果場
  - 機械室
  - EV車両

# No.140 島根県津和野町（高校の授業支援）

地域力創造アドバイザー	相澤 謙一郎氏（A753）
活用分野	地域づくりの人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度（月2回程度）
キーワード	#高校支援 #学習 #IT #地域づくり #キャリア教育 #デジタル #プログラミング #人材育成

## 【目的】

○地域人材ネットに登録された外部専門家による助言・指導を受け、IT分野における知見やノウハウを持って高校の事業支援や地域の活性化に取り組む

## 【内容】

- 津和野高等学校デジタル関連授業構築支援
- 情報Ⅰ、プログラミング等、デジタルに関する総合的な学びの場の構築
- 津和野高校の情報Ⅰの授業をはじめデジタル関連の課外授業に関与し、生徒のデジタル思考や情報活用力の向上に取り組む
- デジタル教育拠点の充実やプログラミングやデータ活用等のキャリア教育を通じた就業支援と活性化を行う

## 【成果（見込み）】

- 情報Ⅰ等の授業の充実
- 高校生のITスキル向上
- IT分野における進学や就業者の増加
- デジタル関連拠点の活性化と就業支援



（写真の説明）

# No.141 島根県隠岐の島町（まちなか再生の取り組み支援）

地域力創造アドバイザー	臂 徹氏（A372）
活用分野	まちなか再生
活用期間（頻度）	令和5年度、令和7年度、令和8年度（予定）（月1回程度）
キーワード	#まちなか再生 #商店街活性化 #官民連携 #エリアマネジメント #仕組みづくり #体制づくり

## 【目的】

隠岐の島町および隠岐4町村の商業・流通の拠点である西郷港周辺において、10年間でまちを再生させるプロジェクトに並走し、官民の連携によるまちづくりの推進を支援する。

具体的には、意欲あるメンバーを集めてまちづくりについて考え、実行する「アイノマ大学」におけるレクチャーを通じ、まちづくりを推進する組織の設立と同組織と町との連携によるエリアマネジメントの推進、アイノマ大学のメンバーらが主催するマルシェの定期開催などにより、ハード整備と並行したソフト事業の定着を目指す。

## 【内容】

- まちづくりについて学びアイノマ大学の運営支援
- エリアマネジメントを推進する組織の立ち上げ支援
- まちなか再生の取り組みに関する官民へのレクチャー
- 実行委員会によるソフト事業等の実行支援

## 【成果（見込み）】

- 西郷港周辺まちづくりの推進主体となっている「隠岐まちづくり研究所」が設立された。  
商工業者等、役員5名で構成されており、令和8年1月16日に都市再生推進法人の指定を受けた。
- まちなかで2ヶ月に1度程度、マルシェを定期開催する実行委員会の組織化に繋がった。
- 開催したマルシェは今年度延べ1,500人の来場があったほか、まちなかの遊休物件1軒において、トライアルでの出店がスタートしている。



まちづくり組織メンバーによるストリートファニチャー制作



マルシェ開催の様子

# No.142 岡山県玉野市（玉野市観光振興計画（基本理念・基本方針）の策定）

地域力創造アドバイザー	田藏 大地氏（A658）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月2回程度）
キーワード	#観光振興計画 #観光資源 #魅力発掘 #賑わい創出 #観光振興会議 #ワークショップ

## 【目的】

- ・玉野市観光振興計画（基本理念・基本方針）の策定

## 【内容】

- （1）基礎調査
- （2）観光振興会議に係る会議開催の運営支援
- （3）ワークショップの開催支援
- （4）策定に係る提案・原案の作成
- （5）市役所内部会議及び関係各課との調整資料作成、会議への同席
- （6）計画改定に係るその他必要な業務 など

## 【成果（見込み）】

- ・玉野市観光振興計画（基本理念・基本方針）の策定

玉野市の観光を取り巻く情勢や今後の需要予測を基に、「玉野市総合計画」との整合性を図りながら、「本市が観光振興に取り組む目的の明確化」「定量・定性的な目標設定」「目標達成のための推進体制、役割分担の明確化と関係者への浸透」など、玉野市の観光の在り方について検討を行い、民間・地域主体の観光地域づくりの共通のビジョンとなる計画の策定を行い、官民一体の連携を始め、本市の観光による地域の活性化につなげる。



（玉野市観光振興計画策定ワーキング会議の様子）

# No.143 岡山県井原市（伴走型リブランディング支援等）

地域力創造アドバイザー	矢島 里佳 氏 (A424)
活用分野	リブランディングで企業・地域の本質を磨き出し、地域を活性化！（1. 地域資源を活用した地域経済循環）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#ひとつり #地場産業魅力発信 #リブランディング #伴走支援 #若手活躍 #若者のチャレンジ支援

## 【目的】

地場産業の魅力や可能性を再発見する機会の設定や、若者たちの夢や目標の実現に向けたプランやアクションを支援する体制の整備を通して、地場産業の魅力拡大や課題解決、若者たちの自己実現やキャリア形成の一助とする。

## 【内容】

- 地元事業所への伴走型リブランディング支援
- 若者のチャレンジに対する助言

## 【成果（見込み）】

- タツモ株式会社への伴走型リブランディング支援（計5回）を実施**  
⇒佐藤社長をはじめ社員4～10名程度がセッションに参加し、会社の軸となるワンメッセージを検討  
⇒今後の中長期計画策定につなげる想定
- 昨年度伴走企業【株共和鋳造所】のフォローアップ支援を開催予定**
- 『“夢&志”みんなの未来イロドリ交流会』（R7.7.27）の開催支援**  
⇒中高生・大学生・社会人を対象に、互いにめざす「夢（≒実現したい自分の未来）」や「志（≒実現したい社会の未来）」を語り合い、自分や身近な他者のステキな未来を創り出すチャレンジ【マイプロジェクト】を創出する交流会において、高校生3名、大学生年代2名、社会人1名の取組に対する指導講評を行うとともに、自身のマイプロジェクトの紹介や参加者との交流を通して活動のブラッシュアップ及び参加者のモチベーションアップを支援
- 『“夢&志”未来イロドリ交流発縁会』（R8.3.8）を開催予定**



タツモ株式会社本社での記念写真



交流会の様子




# No.144 岡山県・井原市（空家対策事業）

地域力創造アドバイザー	井上 幸一氏（A445）
活用分野	空家対策
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#空家 #空家問題 #空家対策 #地域課題の解決 #持続可能なまちづくり

**【目的】** 空家問題に対する気運の醸成や空家対策に主体的に取り組む住民組織の立ち上げ・活動支援を通じて、空家の課題解決を図り、住みやすい持続可能なまちづくりを推進する。

**【内容】** ○住民や事業者への空家問題に対する助言・指導による気運の醸成  
○空家問題に主体的に取り組む民間組織の活動支援

## 【成果（見込み）】

### ○空家問題に対する助言・指導による気運の醸成

住民や事業者が中心となり空家問題やその取り組みについて学ぶ「井原市未来創生会議」を月1回開催。  
空家問題や課題解決の方策について、意見交換を通して住民の空家問題に対する理解を深めるとともに、気運の醸成を図っている。

### ○空家問題に主体的に取り組む民間組織の活動支援

令和6年度、市内事業者が主体となって空家対策に取り組む（一社）全国空き家アドバイザー協議会岡山県井原支部を設立。当該団体は令和7年度から空家等管理活用支援法人の指定を受け、市の空家に関する「ワンストップ相談窓口」として活動を実施しており、困難事例に対する助言等を行っている。  
また、当該団体が空家を活用した事業計画の立案に当たり、支援を行っている。

### ○次年度以降の事業成果見込み

空家を活用した地域活性化策を構築・推進する。



井原市未来創生会議



空家の視察

# No.145 岡山県・真庭市（情報化計画推進事業）

地域力創造アドバイザー 横尾 隆義氏（A629）

活用分野 自治体経営イノベーション（自治体間連携）

活用期間（頻度） 令和6年度～令和7年度（月1、2回程度）

キーワード #現状分析 #アドバイス #自治体間連携 #ビジネスモデル改革 #事業創出

## 【目的】

ITに関する地域及び共同運営組織の改革に向けた現状分析、アドバイスを行う。  
広域連携組織の岡山中央総合情報公社も含めた自治体間連携のビジネスモデル改革

## 【内容】

- ・地域及び共同運営組織の改革にむけた現状分析、課題把握へのアドバイス
- ・岡山中央総合情報公社の今後の在り方についての方向性及び事業拡大への助言
- ・自治体連携の在り方、共同運営組織のビジネスモデル改革にむけた研究、アドバイス

## 【成果（見込み）】

- 自治体連携、共同運営組織のビジネスモデル改革、新たな事業創出
  - ・多くの自治体では、社会インフラ（上下水道・消防等）の広域連携での効率化を実施・検討を図っているが、IT活用に於ける広域連携事例は少なく、また社会変化も激しい中での外部からの今後の事業継続・拡大への道筋へのアドバイス。  
具体的には、公社の自走方法への組織課題の抽出、解決への道筋作り。
- 公社がサブシステムとして加盟自治体へのサービスとして実施していた水田システムの外販機会への道筋や市場への拡販方法・事業協力体制作り（競合社との協業案 や 類似事業者との協業紹介等）
- 他地域の広域連携の事例の紹介
- 公社を実務の核とした「地域連携によるデジタル活用推進に関する連携協定」への基礎組織の強化アドバイス（7市長村連携）



（デジタル活用の広域連携協定式）

# No.146 岡山県・美咲町（民生委員活動の継続化推進）

地域力創造アドバイザー	森本 登志男氏（A453）
活用分野	生活機能の維持
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	# 民生委員児童委員 # 活動の持続可能性 # DX推進 # 負担軽減 # 地域の担い手 # オンライン支援 # 早期発見・早期対応 # 見守り体制の強化 # なり手不足解消 # 伴走支援

## 【目的】

地域住民の相談役である民生委員・児童委員への期待は年々増している一方で、定年延長も進み、60代70代でも仕事を続けられる方がさらに増えていくことが予測され、仕事をしながらでも民生委員活動ができる環境づくりを推進するため、現任の民生委員の意見や実態を把握し、民生委員活動の「持続可能性」を検討・実施することで、地域活動への参加意識の向上、活動方法等の見直し、体制の強化、負担軽減、なり手不足の解消を図る。

## 【内容】

- アンケート等の実施による現状把握の支援・助言
- 業務効率化に対する拒否感の軽減に関する支援・助言
- 業務負担軽減のための検討会・部会の運営に関する支援・助言
- なり手不足解消施策に関する講演・支援・助言
- 専用アプリ等の導入に関する支援・助言、導入時のサポート

## 【成果（見込み）】

- 民生委員対象にアドバイザーによる講演会を開催、委員との対話も重ねて、出席委員のうち79%が美咲町の新たな取り組みに前向きな姿勢となる。
- 令和7年度一斉改選に向けた検討を開始し、検討チーム会議を4回、5部会で計20回開催し、新任委員が活動しやすい環境を作り出した。
- 専用アプリの導入に向け、事業者との調整、予算確保の支援、委員への説明等を実施、令和8年度導入に向けスタートを切る。



民生委員持続可能性検討会議

# No.147 広島県安芸太田町（空き店舗再生支援）

地域力創造アドバイザー	尾崎 香苗氏 (A717)
活用分野	2. 「まちなか再生」 空き地・空き家・空きビル・空き店舗等対策
活用期間（頻度）	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日 / 延べ活動日数54日（予定）
キーワード	# 地域商業の活性化 # 地域の担い手 # 起業・開業 # 魅力発掘 # 賑わい創出 # 他世代交流 # 伴走支援

## 【目的】

スーパーが閉店し生活が不便となった地域を守るため、空き店舗を活用し、新たな買物拠点をとる実験店舗を運営する。人口減少が進む本町において、生活の基盤となる「買い物拠点」の喪失は、人口減少を加速させる要因となる。

町内中心部の空き店舗を活用した実験店舗の運営により、生活基盤を支えるとともに、地域の活性化とコミュニティの推進を図る。行政、民間、地域住民の共創により空き店舗を復活させ、店舗を中心とした地域コミュニティを継続させることで、町全体の活力維持に貢献する。

## 【内容】

スーパー経営のノウハウを蓄積し、自走経営に向けたモデルケースを構築する

- 実験店舗運営
- スタッフ育成
- 移動販売事業
- 店内ワークショップ開催
- 持続可能な店舗運営を構築



（オープニング式典）

## 【成果（見込み）】

- 地域おこし協力隊を活用し、生活を支える店舗を再オープン
- オープン来場者数172人（目標100名）
- ワークショップ2回開催 参加者：クリスマスリースづくり10人 しめ縄づくり10人
- 地域高齢者サロンと連携した出張販売回数4回 来客数42名
- 生鮮品やお弁当生活雑貨を揃え、地域から求められる店舗の形を創出



（店内の様子）

# No.148 山口県下関市（公民共創加速化事業）

地域力創造アドバイザー	加藤 遼氏（A429）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、関係人口の創出・拡大、少子高齢化、子ども・子育て支援
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月2,3回程度）
キーワード	#リノベーションまちづくり #新しい働き方の創造 #地域産業の活性化 #賑わい創出 #伴走支援 #テレワーク人材育成 #就業機会の創出 #女性活躍推進 #子育て支援 #ローカルベンチャー創出 #ローカル・ゼブラ育成 #関係人口創出・拡大 #ローカルイノベーション創出

## 【目的】

外部専門家の招へいにより、公民共創の取組を一層推進し、関係人口・交流人口の創出・拡大を図る。  
また、地域住民を貴重な地域資源と捉え、特に女性の新たな働き方の創出に取り組むとともに、ローカルベンチャーを地域産業振興の一環として位置づけ、地域全体で積極的に受け入れるための機運醸成を行う。

## 【内容】

- 本市が推進するリノベーションまちづくり（働き方のリノベーション）の横展開として、昨年度開催したテレワークセミナーの実践編「テレワーク実践ワークショップ」を実施。
- 地域スポーツクラブ「FCバレイン下関」の選手らも参加し、地域スポーツ団体の業務を地域テレワーカーが担う可能性を検討。
- 地域テレワークのモデルとして地域企業の仕事を地域のテレワーカーが実施する「ローカルテレワークモデル」のモデル実証を行った。
- 地域企業の業務を地域テレワーカーが実施する「ローカルテレワークモデル」の実証を行い、成果報告会で地域企業・住民に発信予定。
- 外部専門家（講師）と連携し、ワークショップや実践段階での助言・サポートを実施。
- ローカルベンチャーの意識啓発を目的とした講座を開催し、専門家による基調講演を通じて、その意義や地域へのインパクトを共有した。



テレワーク実践ワークショップ



ローカルベンチャー講座

## 【成果（見込み）】

- テレワーク実践ワークショップの参加者27名（8割が女性）
- ローカルテレワーク成果報告会の参加者30名（想定）
- ローカルベンチャー講座の参加者25名

# No.149 山口県下松市（移住定住支援）

地域力創造アドバイザー	品川 智宏氏（A692）
活用分野	移住定住促進
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	# 移住定住 # 地域の活性化 # 地域課題の解決 # 地域コミュニティ # 魅力発掘 # 地域おこし協力隊

## 【目的】

本市の現状に合う移住・定住施策を検討し、実施に向けアドバイスを受ける  
「地域おこし協力隊」着任に必要な制度設計

## 【内容】

- 月例会議での提言
- 本市に合った効果的な移住施策の決定
- 地域住民との会議におけるアドバイス
- 正規職員のいない公民館地域に配置する「地域担当職員」の伴走支援
- 地域おこし協力隊導入フレームの検討

## 【成果（見込み）】

- 移住・定住者を呼び込むことによる持続可能な地域づくり、地域の活性化
- 本市独自の移住定住支援施策の実施  
→R7に移住農業就業者、移住漁業就業者、移住創業者への奨励制度開始
- 地域おこし協力隊の募集に向けた、地域の課題整理  
→R7に地域おこし協力隊募集開始、4名の応募あり
- 地域住民、市、地域担当職員をメンバーとして開催する「地域担当者会議」への出席及び助言



（地域担当者会議）

# No.150 山口県岩国市（廃校利活用事業計画策定業務）

地域力創造アドバイザー	余吾 由太氏（A614）
活用分野	観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#地域の担い手 #廃校利活用 #地域の活性化 #魅力発掘 #関係人口 #交流人口 #スポーツ #交流拠点

## 【目的】

休校及び廃校となっている2つの小学校施設について、公共施設の維持管理コストを抑え、地域コミュニティの維持・活性化を図るため、施設の利活用を検討し具体的な運営方法と施設改修方法を検討する。

## 【内容】

- 顧客ニーズの調査
- 競合先の調査
- 事業収支の確認
- 運営方法の調査



廃校となった小学校



ワークショップの様子

## 【成果（見込み）】

- 学校施設やスポーツ施設といった地域資源を視察し、地域住民等延べ53名が参加したワークショップを開催。
- 地域活動、農業、若者、スポーツの視点から4名の関係者へインタビューを実施し、ワークショップで出たアイデアを深掘り。
- 地域の考える廃校施設の利活用構想を策定。
- 地域住民や関係者等に向けた報告会を開催。
- スポーツ合宿事業の市場分析を行い、事業規模や運営方法案を検討。

# No.151 徳島県鳴門市（地方創生推進に係る総合支援業務）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	# 地方創生 # 関係人口拡大 # 移住定住促進 # 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出

## 【目的】

鳴門市総合戦略掲載事業をはじめ、各種地方創生施策を推進するに当たり、総合的な支援業務を行う。

## 【内容】

- 鳴門市大麻町のまちづくりに係る諸課題の発見・整理等支援業務
- 総合戦略掲載事業をはじめ、各種地方創生施策推進に係る課題整理・助言等業務

## 【成果（見込み）】

民間企業等でのノウハウや経験、高い専門性を活かしたアドバイザーの知見により、鳴門市大麻町のまちづくりについて議論する「大麻町未来づくり会議」の審議や（仮称）大麻町総合防災センターの運営等について助言を受けるなど、本市の諸課題に対する解決等に向けた支援を受けている。



「大麻町未来づくり会議」の様子

# No.152 徳島県三好市（道の駅アドバイザー業務）

地域力創造アドバイザー	加藤 はと子 氏 (A-718)
活用分野	地場産品発掘、販路開拓、シティプロモーション、地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（年5回程度）
キーワード	#魅力発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #地域PR #ジオパーク

## 【目的】

平成8年に石の博物館として設置され、平成20年に道の駅登録された道の駅大歩危は、コロナ禍以降の物価高騰や人件費の上昇等により、赤字経営に苛まれている。加えて令和6年三好ジオパーク認定により、売上の大きな割合を占めていた石・鉱物商品の販売を取りやめることが求められている。また、近隣に民間のドライブインが2施設あり、民間施設の売上を公の施設である道の駅大歩危が吸い上げてはいけないという条件を抱えている。このような状況にある道の駅大歩危において、石・鉱物に代わり、かつ近隣民間業者と競合にならない商品等新企画の開発、黒字転換の経営改善を目指す。

## 【内容】

- ・販売商品、取り扱いコンテンツの見直し
- ・石・鉱物の代替となる新商品企画考案
- ・売店、レストランの売上増加案の提案
- ・経営力増加のための従業員への指導
- ・道の駅連絡会を活用した研修などの実施

## 【成果（見込み）】

- ・道の駅大歩危の従業員へのヒアリングを実施
  - 施設・経営状況の把握、従業員目線の不満点・要望などから課題を洗い出し、改善案の立案
- ・施設ゾーニング案を提案
  - 令和8年度売店の導線改善を目的とした施設修繕を実施予定
- ・全国「道の駅」連絡会のコミュニティを活かし、ジオパークを活かして成功している道の駅の駅長を招へい



道の駅大歩危



駅長との意見交換会の様子

# No.153 徳島県那賀町（新規事業創出・ブランディング推進）

地域力創造アドバイザー	板垣 信行氏（A-693）
活用分野	11.自治体経営イノベーション 12.シティープロモーション・地域PR（地域ブランディング）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月平均3.5日程度）
キーワード	#地域ブランディング #新規事業創出 #インナーモチベーションアップ

## 【目的】

人口減少のスピードを緩め、住民の満足度・幸福度が向上することに寄与する行政として行うべき事業を創出し、持続可能な町づくりを実現する。

## 【内容】

- 那賀町みらい創造プロジェクトにおける事業タスクフォース推進
  - ・観光推進・農業改革・まちづくり・高校魅力化・女性活躍・医療改革・陸上養殖クルマエビ・情報PR強化
- 住民発案事業を進めるプロジェクト推進  
NextImpactと命名した住民代表によるタスクフォース「子育て環境向上」「住居整備」「娯楽施設新設」
- 産官学連携の一環として東京農業大学の学生招聘により、まちの課題発見と解決策提示を行う。
- シティープロモーション自治体等連絡協議会主催「首長シンポジウム」にて橋本町長と共に、パネラーとして那賀町の取り組み事例を全国発表（情報発信）

## 【成果（見込み）】

- ・新たな事業創出として「陸上養殖クルマエビ」が開始され、次年度以降の販路開拓と更なる事業拡大・雇用創出を狙う。
- ・農業改革においては、営農者の高齢化対策、生産性向上のためのスマート農業化着手
- ・住民タスクフォースにより発案された「子育て環境向上」における予算化決定
- ・情報PRの質的量的向上が図られ、ホームページのアクセス数の向上、SNSでの情報発信数の向上が見られる。
- ・住民基本台帳ベースでの転出数（社会減）の低減が見られる。



# No.154 愛媛県今治市（エリアマネジメント推進支援）

地域力創造アドバイザー	臂 徹氏（A372）
活用分野	まちなか再生
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（予定）（月1回程度）
キーワード	#まちなか再生 #専門家伴走 #官民対話 #現場起点 #小さな実装 #エリアマネジメント #仕組みづくり #体制づくり

## 【目的】

本市の中心市街地において、持続的な賑わいの創出と交流の促進を図るため、今治市及び立地企業、既存市街地の関係者等との連携により、公民連携によるエリアマネジメントの取組を推進する仕組みや手法を立案するとともに、その担い手となる組織設立の検討を支援することを目的とする。

## 【内容】

エリアマネジメントの導入について、外部の知見を踏まえた助言等支援を行う。

- エリア活性化に向けた方策の検討支援
- エリアマネジメント（まちなか再生）の仕組みと事業内容に関する検討支援
- 関係機関の連携・役割分担・活動統治に関する検討支援
- エリアマネジメント（まちなか再生）組織の設立と担い手に関する検討支援

## 【成果（見込み）】

中心市街地まちづくりにおける中間支援組織による持続可能な体制の構築  
→上記のための勉強会等に官民合わせて35名が参加をし、組織化に向けたコアチームの組成に繋がった（R7成果）



（ヒアリング調査の様子）

# No.155 愛媛県松前町（人材育成）

地域力創造アドバイザー	前神 有里氏（A399）
活用分野	人材育成、地域活性化
活用期間（頻度）	令和7年度（月1回程度）
キーワード	#人材育成 #地域づくり #魅力発掘 #地域コミュニティ #地域活性化 #業務推進 #福祉 #子育て

## 【目的】

「課題解決思考」から「価値創造思考」への転換と、人と地域をつなぐ人材育成を通じて本町の地域力を高め、持続可能で活力ある地域社会の実現を図るとともに、日々の変化を柔軟に捉えて既存の枠組みにとらわれない新たな価値を創出できる体制づくりを目的とする。

## 【内容】

- 松前町ほか1市合同新規採用職員研修 ○RESAS研修
- 松前の福祉と地域づくり勉強会
- 松前町ほか2市子ども家庭センター意見交換会
- 予算研修
- 地方創生・企画担当職員による意見交換会
- 他部署の業務を知って自分の可能性を広げよう
- やさしいまちづくりワークショップ
- 松前町ほか2市町合同新規採用職員研修



3市町合同新規採用職員研修



地方創生・企画担当職員による意見交換会

## 【成果】

- 新規採用職員においては、自治体職員としての基礎的な知識や地域課題への対応力を養うことができた。
- 他自治体を巻き込んだ意見交換会や研修を行うことで、従来にはなかった自治体間の相互連携を深めることができた。
- 国や県の補助金等の見つけ方、財源確保につなげるための考え方、組織内での横連携の重要性について理解を深められた。



2市町合同新規採用職員研修

# No.156 愛媛県・内子町（高校魅力化）

地域力創造アドバイザー	跡見 愛美氏（A400）
活用分野	高校魅力化・地域型キャリア教育・探究学習の設計と実践、地域人材を育成する学校・公営塾づくり
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1、2回程度）
キーワード	#高校魅力化 #公営塾 #探究学習 #キャリア教育 #地域人材育成

## 【目的】

愛媛県立内子高等学校の魅力高め、内子町内中学校からの入学希望者を増やすとともに、内子町外からの入学希望者を呼び込むことにより、交流定住の促進および地域活性化を図る。

## 【内容】

- 高校魅力化ワーキンググループの設置と運営、プロジェクトマネジメント、サポート
- 高校魅力化に関する業務（アンケート、説明会、戦略策定等）
- 生徒向け講演・研修（地域での活動や地域活性化を生徒自身のキャリア形成と結びつけて考えるための講演・研修）

## 【成果（見込み）】

- 地域での活動を通じて、自身の地域でのキャリアを主体的に描ける生徒の育成
- 町内外の入学者数の増加
- 公営塾の開校／放課後における生徒の学び・探究・交流の拠点づくり（地域と連携しながら、生徒が挑戦を重ねられる環境整備）
- 学校・地域・自治体と連携した高校魅力化の推進

（写真上）高校全教員向け説明会の実施  
（写真下）志望理由書講座の実施



# No.157 高知県須崎市（地方創生）

地域力創造アドバイザー	堀見 和道 氏（A612）
活用分野	市行政全般に係るアドバイザー業務
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月2回程度）
キーワード	# 関係人口創出 # 地域おこし協力隊推進 # 地域ブランディング # 大学連携 # 高校魅力化 # 企業版ふるさと納税 # DX推進

【目的】 市行政全般に係るアドバイザー業務のほか、有識者の紹介、企画提案等、須崎市の元気創造、地方創生に寄与するためのアドバイスを行う。

## 【内容】 月2回 市政諸課題について協議、その他随時現地視察や関係者のマッチング

- ・ 市行政全般に係るアドバイザー業務
- ・ 「日本で一番釣り人にやさしい町」プロジェクト計画策定支援業務
- ・ 須崎市DX推進に係る支援業務
- ・ 図書館整備における企画、大学連携などの支援業務
- ・ 高校魅力化事業企画

## 【成果（見込み）】

- ・ 市行政全般に係るアドバイザー業務
- ・ まちづくりへの高知大学参画と高校魅力化事業  
須崎総合高校：総合的探究の授業支援、高校生の地域イベント出展、高校生マルシェや音楽祭開催  
須崎市で高知大学シンポジウム開催 観光漁業推進（釣りバカシティ）や関係人口創出事業（逆参勤交代）実施へ
- ・ 企業版ふるさと納税マッチング支援（R5 16,000千円、R6 5,000千円）  
寄付を活用し保育園と小学校でのアートを活用した非認知能力を伸ばす取り組みを実施
- ・ 「日本で一番釣り人にやさしい町」釣りバカシティプロジェクト計画策定支援業務  
R5 計画策定完了 R5.11.9 須崎市釣りバカシティ宣言  
地域おこし協力隊2名活用  
釣り関係企業とのイベント開催やPR 地元事業者と連携したおもてなし体制構築  
R6.10、R7.1、R7.5、R7.10 釣りイベント開催  
R7.2 大阪フィッシングショー出展 SNS登録者600人  
スポーツ新聞や釣り雑誌掲載、釣りPR動画制作
- ・ 須崎市DX推進に係る支援業務  
DX推進アドバイザーのマッチング支援 R6よりアドバイザーが着任  
R6 須崎市DX推進計画策定、ノーコードシティ宣言



高校生のイベント出展



釣りバカシティ宣言



高知大学シンポジウム

# No.158 高知県・仁淀川町（仁淀川奇跡のブループロジェクト）

地域力創造アドバイザー	山田 洋司氏（A082） 森田 みか氏（A729）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、生活機能の維持、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	# 地域ブランド # イメージアップ # 移住定住 # 町営住宅 # 賑わい創出 # 地域資源活用 # 新産業創出 # 観光促進 # 音楽イベント

## 【目的】

- ・ 町の名前でもある奇跡の清流「仁淀川」を多角的に活用し、町のブランド構築を積極的に実施し、町のイメージアップを図る。
- ・ 「仁淀川と暮らす」ため移住定住希望者に町内での住宅提供のための調査活動を継続。

## 【内容】

- アドバイザーの伴走支援のもと、またネットワークを活用し、
  - 仁淀川奇跡のブループロジェクト推進
  - 「青の商品づくり」「音楽イベント開催」
  - 定住促進のための調査研究支援
  - PFI検討会開催



（事業者参加のワークショップ）



（青のマルシェ）

## 【成果（見込み）】

- 仁淀川奇跡のブループロジェクトの推進（企画振興課を中心に、検討委員会を開催）
  - ⇒アドバイザー支援のもと、町内の事業者と協力し音楽イベント「インパクトブルー」及び「青のマルシェ」を開催（子どもから高齢者まで多くの来場者を獲得・目標来場者数100名を達成）
  - ⇒アドバイザーによる「青の商品づくり」ワークショップ3回開催。13事業者が参加。アドバイザー個別指導、6者。
- 定住促進のための調査研究支援からは、PFI検討会の推進
  - ⇒アドバイザーが支援し、町営住宅建設にむけたロードマップ作成。

# No.159 高知県黒潮町（交流・関係人口の創出）

地域力創造アドバイザー	高瀬直史氏（A505）
活用分野	観光振興、交流・関係人口の創出、シティプロモーション（地域ブランディング）
活用期間（頻度）	令和7年4月から令和8年3月（月1回程度）
キーワード	#観光振興、#関係人口、#地域おこし協力隊、#空地・空き家対策、#中心市街地活性化、#起業・事業承継、#人材研修、#ふるさと教育、#地場産品、#メディア活用、

## 【目的】

交流人口、関係人口の創出を目的に都市圏企業のイベント参加や取り組みへの助言をもらいながら関係人口の増へ向けた事業をともに進めていく。

## 【内容】

- 地域資源を活用した地域活性化
- 交流・関係人口創出に繋がるイベント等の企画
- 外部人材・企業との調整
- その他、地域ブランディングに関する相談等



再開した「こぶしのさと」



「こぶしのさと」イベントの様子

## 【成果（見込み）】 令和7年度

○「土佐佐賀温泉こぶしのさと」再開後の運営課題へ助言を受けた。

⇒令和7年4月25日に再開。雇用課題、運営上の課題など再開後に出てきた課題へ助言を受け解決につながった。

○移住相談窓口の外部委託に向けた情報提供や、移住相談員の業務課題の整理及び移住相談の取り組み強化に向け、助言を受けた。

# No.160 福岡県・行橋市（シティプロモーション等）

地域力創造アドバイザー	吉弘 拓生氏（A452）
活用分野	企業版ふるさと納税、シティプロモーション
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#企業版ふるさと納税 #シティプロモーション #地方創生 #移住定住

## 【目的】

地域の魅力及び価値を向上させながら地域力を高め、地域創生及び地域活性化につなげるための活動の指導及び助言等を求めることを目的とする。

- ・企業版ふるさと納税を推進する
- ・地方創生を推進する
- ・地域資源を活用したふるさと納税返礼品など商品開発
- ・地域力創造に係る人材を育成する

## 【内容】

各事業におけるヒアリング、事業の改善、補助金活用等のアドバイス。この取り組みを推進する職員研修の開催。

## 【成果（見込み）】

企業版ふるさと納税増額、補助金等を活用した事業の増加、ふるさと納税返礼品の開発



地域活性化センターでの  
シティプロモーションイベント

# No.161 福岡県・宗像市（コミュニティ支援事業）

地域力創造アドバイザー	山口 純哉 氏（A180）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（数ヶ月に1回程度）
キーワード	#地域の担い手

## 【目的】

自治会やコミュニティ運営協議会の担い手不足や事業が実施困難な状況になってきているという課題を解決する。

## 【内容】

- ・市民参画のきっかけを模索するために、調査項目や分析等の助言を外部講師からいただいた市民協働に関する意識調査を実施。
- ・コミュニティ運営協議会が実施する事業をより多くの方にとって参画しやすいものにするため、事業に対して外部講師から助言をいただいた。
- ・地域が抱える課題の解決策を考えるため、コミュニティ運営協議会役員向け研修会と自治会役員研修会を実施。その際に、講師としてご講演いただいた。

## 【成果（見込み）】

- ・市民協働に関する意識調査については、コミュニティ活動や自治会活動への参加・参画のきっかけづくりにとっても有意義な結果が得られた。
- ・コミュニティ運営協議会の事業に助言をいただいた。（1地区に実施：令和7年12月16日時点）
- ・地域活動の中心になるコミュニティ運営協議会役員及び自治会役員に多く参加いただけた。（累計175人：令和7年12月16日時点）
- ・自治会やコミュニティ役員が抱える課題について、外部講師から助言をいただきながら一緒に考える機会を設けることで、より実践的な解決策が生まれた。

## 宗像市 まちづくりへの参画に関する市民アンケート

日頃から宗像市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
宗像市は、20年前に「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」を制定し、市民の皆様とともにまちづくりを進める「協働のまちづくり」の実現に向け、他市町村に先駆けて取り組みを進めてきました。今回、より多くの方がまちづくりに参加・参画していくためのきっかけづくりを考えていくため、市民の皆様が地域での活動状況や市政への関心等をお聞きするアンケート調査を行います。

宗像市が、これまで以上に豊かなで活力あるまちとなるよう、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年6月  
宗像市長 伊豆 美沙子

## （市民協働に関する意識調査）



（コミュニティ運営協議会役員研修会）

# No.162 福岡県広川町（広川町二酸化炭素排出抑制対策事業アドバイザー委託業務）

地域力創造アドバイザー	横山 泰治氏（A536）
活用分野	環境保全・SDGs
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（年10回・下記の通り）
キーワード	#脱炭素 #SDGs #ワークショップ #持続可能なまちづくり #プラットフォーム

## 【目的】

○令和5年度に策定した「広川町脱炭素ロードマップ」を基に「持続可能なまちづくり」を住民・企業・行政の「オールひろかわ」で進めていくための意識醸成と、主体的なアクション・プロジェクトを生み出すプラットフォームづくりを目的とする。

## 【内容】

- SDGsワークショップ  
（令和6年度：年10回、令和7年度：年5回）  
カードゲーム「2030年SDGs」「SDGsで地方創生」「脱炭素まちづくりPLAY」の企画・開催
- 「ゼロカーボンシティひろかわ推進連絡会議」でのグラフィックファシリテーション（令和7年度：全5回）

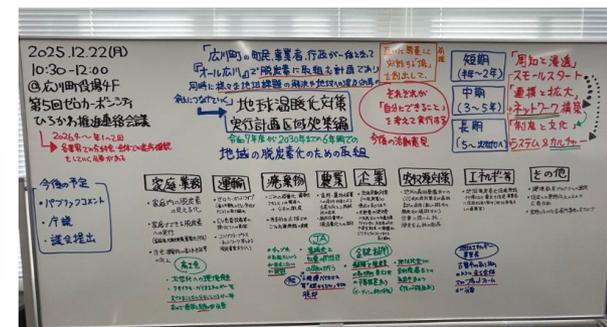
## 【成果（見込み）】

○継続して開催されるSDGsワークショップを通じて、町民の意識醸成が進んでいる。アドバイザーとして参加している「ゼロカーボンシティひろかわ推進連絡会議」で「広川町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の作成を行った。今後も町民への啓発活動を続け、プラットフォームづくりにつなげていく。  
（令和6.7年度ワークショップ参加実績 延べ300人以上）



（SDGsワークショップ風景）

（令和7年度 チラシ）



（ゼロカーボンシティひろかわ推進連絡会議）

# No.163 福岡県添田町（魅力ある道の駅の再構築）

地域力創造アドバイザー	金山 宏樹氏（A478）
活用分野	人材研修、地域ブランディング、メディア活用策、地場産品発掘・販路開拓
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#道の駅再生 #魅力度向上 #人材育成 #メディア活用 #情報発信 #ブランディング #経営力強化

## 【目的】

町の特産品や地域の特性を活かした取り組みをはじめ、人材育成を通じた組織体制の強化や経営課題の整理を図ることで、「わざわざ行きたくなる魅力ある道の駅」を目指し、来場者及び観光消費額の増加並びに地域経済の活性化につなげる。

## 【内容】

- ・人材育成支援
- ・経営課題の整理
- ・施設の魅了度向上に関するアドバイス
- ・情報発信の強化支援



（分科会ミーティング）



（関係者全体会議）

## 【成果（見込み）】

- ・スタッフのスキル向上、意識改革  
→低迷する運営状況からの脱却に向け、運営組織における課題について6つの分科会を設定し、毎月課題解決に向けたミーティングを実施。課題を整理しながら、自発的な提案と「他人事」から「自分身」へ意識改革を図っている。
- ・効果的な情報発信  
→道の駅公式ホームページにおけるスタッフブログの開設（毎日投稿）により、情報発信と共に商品等に対する知識や伝達スキルの向上につながっている。
- ・施設管理状況の改善  
→お客様目線での改善点の洗い出しや、希薄だったテナントとの意見交換・情報共有を行えるようになり、施設環境づくりに対する関心意識が高まっている。



（スタッフブログ）

# No.164 福岡県みやこ町（人材育成、関係人口創出等）

地域力創造アドバイザー	吉弘 拓生 氏（A452）
活用分野	企業版ふるさと納税、人材研修、メディア活用、ウェルビーイングな組織づくり
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#企業版ふるさと納税 #人材育成 #ウェルビーイング #政策相談 #関係人口創出・拡大 #シティプロモーション #地方創生

## 【目的】

地域課題の解決や地域活性化の取組みに関して指導・助言を受け、研修・PR活動・企業との連携促進など多角的な取組みを通じて、複雑化・多様化する行政課題に対応できる職員の能力向上を図っている。

## 【内容】

- 地方創生、地域未来戦略事業における助言及び支援
- 企業版ふるさと納税に関する助言及び支援
- その他政策実務、業務相談等への助言
- 各種交付金に係る助言
- 外部講師等を活用した人材育成研修
- SNS等を活用したPR、関係人口創出に係る助言及び支援



外部講師による研修

## 【成果（見込み）】

- 効率的な行財政の運営について助言やウェルビーイングやコミュニケーション、モチベーション向上の研修等風通しの良い職場づくりに向けて外部講師も招くなど、ニーズベースで町を支援している。
- 企業版ふるさと納税のマッチング会に初めて参加し、町が実施する事業等を企業に対して直接PRすることができ、企業との新たな関係構築の一步となった。
- SNSをはじめとする各種媒体を活用したPRや関係人口の創出に向けて、メディア関係者の意見も取り入れながら、より効果的な町のPR手法を模索している。

# No.165 福岡県吉富町（SDGs推進及び政策アドバイス全般）

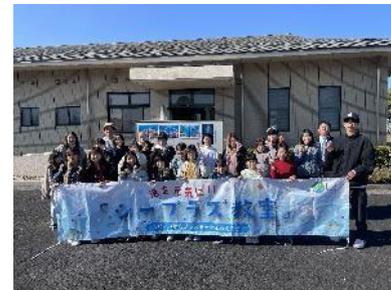
地域力創造アドバイザー	曾根 進 氏 (A613)
活用分野	環境保全・SDGs、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1～2回程度）
キーワード	#SDGs #政策連携 #官民連携 #地域づくり #行動変容 #観光振興 #ふるさと納税 #AI #持続可能 #職員研修 #ペロブスカイト #脱炭素 #海洋ごみ #ブルーカーボン #企業版ふるさと納税

## 【目的】

地方創生・SDGs・脱炭素の政策実現のため、令和5年度より専門家を招へい。令和6年度に内閣府よりSDGs未来都市に認定され、令和7年度はSDGsの特徴である“横断的・横串の政策実現”実行のため、庁内職員の知見及び創造性の向上、SDGs未来都市選定後のアドバイス及び政策提案、町が目指している脱炭素日本一へ向けた具体的アドバイス、多世代複合型交流施設を含めた国策連動及び官民連携による外部財源確保等、2030年の自立・自走及び2050年カーボンニュートラル達成に向け基盤構築することを目的とする。

## 【内容】

- AIによる政策立案研修及びワークショップ
- SDGs住民アンケート実施及び検証、SDGs吉富ミライづくり会議開催
- 内閣府SDGs未来都市政策実現サポート（ペロブスカイト検討等）
- 吉富町海岸清掃及びシープラス教室(ワークショップ)開催  
・こどもを入り口に、大人の行動変容を促す
- アサギマダラによる観光振興立案等
- 地方創生政策勉強会及びセミナー開催
- 狭小の町連合の企画立案及び政策実行
- 先進自治体への視察企画及び随行（高知県、香川県、大阪府、鹿児島県等）など



シープラス教室開催



地方創生セミナー開催

## 【成果（見込み）】

- 吉富町の内閣府SDGs未来都市認定及び計画策定のサポートを実施。
- 係長以下の職員対象に政策立案AIワークショップを実施し、横断的な政策立案ができるレベルになった。（3回実施）
- 官民連携が庁内のスタンダードとなり、外部原資獲得の企画立案等が行われている。
- 吉富町がSDGs未来都市に認定されている地域住民周知率が率が50%を超えるなど町内に浸透。



狭小自治体視察(山口県和木町) 173

# No.166 福岡県築上町（地方創生人材育成事業）

地域力創造アドバイザー	吉弘 拓生氏（A452）
活用分野	人材研修、EBPMに基づく政策立案、その他 企業版ふるさと納税の推進
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#ウェルビーイング #人づくり #人材育成 #政策立案 #Well-Being指標 #外部人材研修 #企業版ふるさと納税

## 【目的】

まちづくりは人づくりからの理念のもとに、政策助言のほか複雑かつ多様化するニーズに対応するため、職員の人材育成による政策立案能力向上を図る。また、職場環境を整備し、組織全体を活性化させる。

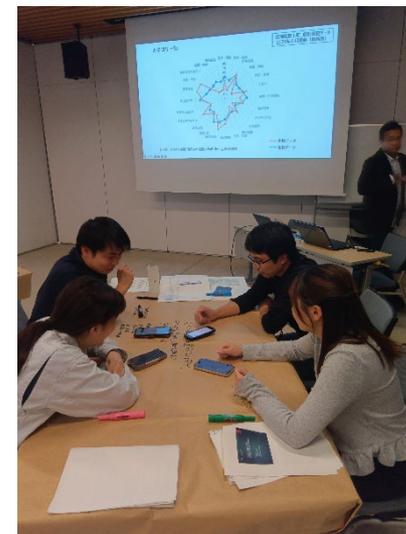
## 【内容】

- 築上町政策研究ラボ（C-labo2025）の開催
- 外部講師招へいによる組織力向上研修の実施
- 企業版ふるさと納税に係る助言
- 財源確保に係る助言
- 各課個別業務相談（組織力向上研修）



## 【成果（見込み）】

- 若手職員中心に令和5年度以降毎年開催している築上町政策研究ラボ（年3回）では、町の基礎情報（人口・財政状況）を共有した後、**Well-Being指標を活用した政策立案のためのロジック思考についてグループワークで学んだ。**  
⇒参加者数実績 R5:12名、R6:11名、R7:16名
- 「風通しのよい組織づくり」を推進し、職員のコミュニケーション能力向上と組織力強化を目的に開催した研修ではアドバイザーが『おもてなしのプロ』である現役客室乗務員を特別ゲストとして招き、情報共有や対話の手法について学んだ。  
⇒メディア取材もあり、受講者の満足度も高く、組織活性化に寄与した。



(C-labo2025)

Well-Being指標アンケート  
入力作業の様子



(C-labo2025)

# No.167 佐賀県鹿島市（企業誘致プロジェクト推進事業）

地域力創造アドバイザー	藤村 雄志氏（A-460）
活用分野	まちなか再生（空き家・空き店舗対策、商店街活性化）
活用期間（頻度）	令和7年6月～令和8年3月（期間内5回程度）
キーワード	#企業誘致 #地域活性化 #空き家対策 #賑わい創出

**【目的】**  
地域に必要なサービスや、地域の魅力を一緒に育ててくれる企業像を明らかにし、事務系企業の誘致を促進する。

- 【内容】**
- ◎ 企業誘致視察ツアーの実施
  - ◎ 市内事業者とのマッチング
  - ◎ 市内事業者、地域外事業者、地域住民等とのワークショップ開催



（視察ツアー）



（ワークショップ）



（事業者マッチング）

- 【成果（見込み）】**
- ◎ 視察ツアーを2回、ワークショップを2回開催。（総動員数70人）
  - ◎ 当市に進出意欲のある企業とのマッチング企業10社以上。

# No.168 佐賀県小城市（人口ビジョンを活用した総合計画策定の支援と情報発信の強化）

地域力創造アドバイザー	関根 祐貴氏（A511）
活用分野	自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#人口減少 #人口ビジョン #自治体経営 #まちの魅力 #総合計画 #人材育成 #伴走支援 #情報発信

## 【目的】

長期的な将来人口の展望や目指すべき将来の方向性等を示した「小城市人口ビジョン」を令和6年度に改訂し、人口ビジョンの現状分析から把握した本市の目指すべき方向性を踏まえた施策提言を受けて、次期総合計画をはじめとしたアクションプランを作成し、持続可能なまちづくりと本市の魅力や価値を向上させる取り組みにつなげていく必要があり、アドバイザーからの助言をもとに、総合計画、総合戦略を含め、今後の施策の検討を行う。

## 【内容】

### 【令和6年度】

- 人口ビジョンの改訂（市内産業の発展を念頭に置いた人口ビジョン各データの構築）
- 職員向け人口ビジョン説明会の実施、経営戦略会議における市長等への人口の展望に関する助言

### 【令和7年度】

- 職員説明会・研修（人口ビジョンでの課題、人口ビジョンから見た小城市が行うマーケティングや情報発信の助言）
- 総合計画策定の支援、第三者視点による総合計画等の助言（各部署のヒアリング及び助言）
- 人口ビジョンのアクションプランの作成支援（人口ビジョンから小城市が重点的に取り組む施策の提案）
- 市長との意見交換による施策の検討支援

## 【成果（見込み）】

### 【令和6年度】

- 歳入増に向けた取り組み、地域の価値を創造する取り組み創出の助言と次期総合計画への反映検討
- 新規事業の創出、既存事業の見直し、スクラップ等の機運を醸成

### 【令和7年度】

- 人口ビジョンを活用した総合計画、アクションプランの策定、民間視点の習得・職員の稼ぐ意識の醸成



職員研修

# No.169 長崎県・松浦市（高校と地域との連携支援）

地域力創造アドバイザー	荒木 美千代氏（A761）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度（週2回程度）
キーワード	# 地域連携 # 探究学習 # 高大連携 # ふるさと教育 # 高校魅力化

## 【目的】

専門知識、業務経験、人脈、ノウハウとともに、外部視点、経営感覚、スピード感をもって高校と地域・他教育機関との柔軟かつ迅速な連携を図り、生徒が行う地域連携活動の支援を行う。



（まつナビ・プロジェクト 課題研究発表会）

## 【内容】

- 生徒が行う地域連携活動（まつナビ・プロジェクト）における伴走支援
  - ・生徒が考える地域課題解決アイデアを地域ニーズを汲み取った現実的かつ実装可能な解決プロセスに導く壁打ち役
  - ・地域・他教育機関と連携を図り、フィールドワークやイベント等の企画立案・開催

## 【成果（見込み）】

- ・まつナビ・プロジェクトにおける生徒の壁打ち役、地域との繋ぎ役として機能し、全14班の地域課題解決アイデアを現実的及び実装可能な段階に落とし込むことができた。
- ・長崎県立大、慶應義塾大学と連携し、高校生と大学生がともに松浦市内の地域課題を考える松浦まちづくりワークショップを開催し、高校生の探究学習能力向上に大きく寄与した。
- ・起業志望の生徒に対して、個別に起業に向けた伴走を行った結果、該当生徒が資金獲得後、ビジネスをスタートさせることになった。
- ・探究学習とキャリア形成についての講演会を実施し、生徒の意欲向上に寄与した。



（松浦まちづくりワークショップ）

# No.170 長崎県・西海市（観光客誘客のための体験メニューづくり）

地域力創造アドバイザー	若林 伸一 氏（A537）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#体験観光 #教育旅行 #インストラクター養成 #体験メニュー造成 #地域資源の活用 #地域課題解決 #プロモーション

## 【目的】

観光客誘客のための体験メニューやルート構築を図るもの。市内への旅行客（特に、修学旅行及び職場研修旅行）の誘致拡大を目指す。

## 【内容】

- ① 体験コンテンツの造成のためのアドバイスの実施
- ② 体験指導者養成のためのアドバイス実施
- ③ イベントにおける取組みや商品等の紹介
- ④ 旅行事業者との関係構築
- ⑤ 体験観光の推進をミッションとした地域おこし協力隊の指導



体験コンテンツの一例  
（竹灯籠づくり体験と合わせて  
インストラクターの募集）



地域活性化の取り組みに関する知識やノウハウをもって、本市の魅力や地域力を活かした体験型コンテンツの造成に対する指導、助言を行う。市内への（主に団体）観光客誘客のための体験メニュー及びルートを造成し、ひいては市内観光業の所得アップを目指す。

## 【成果見込み】

体験コンテンツ案の掘り起こし 20本  
インストラクター養成講座の開催 1回



体験コンテンツの一例（みかん狩りとジュースづくり体験）



# No.172 熊本県熊本市（商品開発インターンシップの実施）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	地場産品発掘・販路開拓、若手人材・担い手育成
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月7, 8回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 伝統的工芸品 # 商品開発 # インターンシップ # 担い手育成 # 販路開拓 # 仕事体験 # 工房見学 # 肥後象嵌

## 【目的】

全国から若者や大学生を募り、職人のもとでの工房体験を通して商品の提案を行ってもらいインターンシップ及びその後の商品販売事業を実施し、消費者や時代のニーズに合った新しい視点の商品の開発、各種広報媒体を活かした販路開拓を行う。

## 【内容】

- ・ 令和6年度
  - 商品開発インターンシップ（2泊3日・6名参加）と商品販売支援の実施
- ・ 令和7年度
  - 商品開発インターンシップ（2泊3日・6名参加）と商品販売支援の実施
  - デザインアイデア会議（6名参加）の実施

## 【成果（見込み）】

国指定の伝統的工芸品である肥後象がん等の商品開発・販促に関するアドバイザーを活用

- ・ 令和6年度
  - 肥後象がんの職人1名が参加し、「ネイルリング」の新商品を開発
    - ⇒ 阪急梅田本店「春の九州物産大会」にて販売を実施
- ・ 令和7年度
  - 肥後象がんの職人1名が参加し、「節句兜」と「サングラスホルダー」の新商品を開発
    - ⇒ 関東方面百貨店にて販売予定
  - 七宝焼の職人1名が参加し、学生等がデザインアイデアを提案
    - ⇒ デザインアイデアの中から作品を製作販売予定



令和6年度に商品開発したネイルリング



令和7年度インターンシップの様子 180

# No.173 熊本県荒尾市（まちなか再生に向けた方策検討、人材の発掘育成等）

地域力創造アドバイザー	臂 徹氏（A372）
活用分野	まちなか再生、移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月3回程度）
キーワード	#エリアマネジメント# 伴走支援# 公民連携 # エリア活性化 # 賑わい創出 # 交流促進 # まちなか再生 # 中心市街地活性化 # 移住定住 # 地域づくり人材 # 自治体経営 # シティプロモーション # 地域PR # 担い手発掘

## 【目的】

「あらお海陽スマートタウン」において、持続的な賑わいの創出と交流の促進を図るため、本市及び立地企業、既存市街地の関係者等との連携により、エリアマネジメントの取り組みを推進するための仕組みや手法を検討するとともに、その担い手となる組織の設立と定着を支援することを目的とする。

## 【内容】

- ARAOpen（後述）の開催
- まちなか再生に関する行政及び民間主体への継続的なレクチャー
- まちなか再生に携わる人材へのレクチャー、伴走支援
- 中心市街地活性化と新規エリアマネジメントの連携・仕組み化の支援



ARAOpen参加メンバー



行政・民間主体へのレクチャーの様子

## 【成果（見込み）】

- 荒尾のまちなか再生やエリアマネジメントに興味のある方、行政職員、まちづくり関係者など、総勢23名が参加し、まちづくりに関するアイデアを考える合宿「ARAOpen」を開催した。その参加者の中から「ARAO 5」という実践者グループが誕生し、シェアキッチンを使ったイベントなどが継続開催されている。
- まちなか再生において、中心的な役割を担う「エリアマネージャー」の選定段階において、まちなか再生の取り組みを主体的に担う上での心構えや役割などを伝えるレクチャーを行い、公募自体の支援も行った結果、14名が関心を表明し、5名の応募があり、1名の選定に至った。
- エリアマネージャーの選定後は連日ミーティングを重ねるとともに、同種の取り組みを行う別地域のまちづくり団体への研修プログラムづくりと伴走などに取り組んでいる。



# No.175 熊本県南関町（図書館を核にした持続可能な地域づくり）

地域力創造アドバイザー	太田 剛 氏（A699）
活用分野	まちなか再生、関係人口の創出・拡大、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月2回程度）
キーワード	#地域活性化 #地域経済循環 #図書館 #人材教育 #賑わい創出

## 【目的】

南関町交流拠点施設〈ukara〉整備において、その中核機能の図書館を地域づくり、地域活性化の中心施設として再設定し、人材育成や地域循環型の施設運営に取り組み、持続可能な地域の未来にむけた拠点とする。

## 【内容】

○南関町交流拠点施設〈ukara〉整備において、図書館を地域づくり、地域活性化の中心施設として再設定し、持続可能な地域の未来にむけた拠点とするため、人材育成や地域循環型の施設運営にむけた町内関係者会議の運営・アドバイスの他、図書館の運用支援システムへのアドバイス。図書館開館に向け専門的視点による選書支援や本棚編集。南関町の新図書館「南関町図書館〈このみch-i〉」は令和7年10月にオープン。

## 【成果（見込み含む）】

○南関町の新図書館〈このみch-i〉の理念や本棚づくりの考えを共有し、人材育成・発掘のため、地元住民向けの本棚編集ワークショップを開催

○近隣の大学・短大の司書課程に在籍する学生や図書館関係者を対象に、NDC分類によらない本棚編集ワークショップを開催

○令和7年10月8日に南関町町制施行70周年記念式典と同日に南関町交流拠点施設〈ukara〉をオープン

⇒施設内に、書店兼カフェ〈キツネノボタン〉が営業開始

⇒施設内での住民主催イベントの開催

⇒来場者数の増加

昨年度値（2024年度）3,300人

現状値（2025年10月～11月）25,000人

目標値（2029年度）40,000人



本棚編集ワークショップ



南関町交流拠点施設〈ukara〉



# No.176 熊本県南阿蘇村（地域ブランディング）

地域力創造アドバイザー	中川 直洋氏（A-464）
活用分野	観光振興・交流、移住・定住促進、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月2、3回程度）
キーワード	#地域おこし #地域ブランディング #地域活性化 #地域産業の振興 #賑わい創出

## 【目的】

地域独自の魅力や価値の向上に取り組む活動を通じ、地域の活性化及び地域産業の振興を図る。

## 【内容】

- 地域人材を活用した新規事業の立ち上げ
- 中学校起業体験プログラムの導入
- SDGs未来都市南阿蘇村のブランディング

## 【成果（見込み）】

- 地域人材を活用した新規事業の立ち上げ  
⇒ 総務省「ローカル10000プロジェクト」申請に向け、事業内容の整理、収益モデルの検討、申請書作成支援を実施。
- 地域の未来を担う若い世代の育成を目的として、中学生を対象に起業体験プログラムを実施。  
⇒ みなみあそ元気フェスタにて開発した商品の実践販売。  
子供から高齢者まで多くの来場者があり、目標販売数約600個を達成（開始約1時間で完売）。
- SDGs型観光推進計画実施業務の円滑な運営  
⇒ 地域資源や課題の整理、企画から実施まで、関係者調整や検討支援、進行管理を行い、事業の円滑な推進。



(起業体験プログラム)



(実践販売)

# No.177 熊本県氷川町（氷川町地域力創造アドバイザー業務委託）

地域力創造アドバイザー	板垣 信行氏（A693）
活用分野	自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月4回程度）
キーワード	#官民連携 #政策立案 #ブランディング

## 【目的】

町の課題解決を図る職員検討チームが立案した施策への戦略的アドバイスや指導・助言、ネットワークの提供を受け、施策の速やかな実装による課題の早期解決と地域活性化を図るとともに、町のブランディングに係るブランドマネージャーとして、交流人口・関係人口創出における効果の最大化を図る。

## 【内容】

- 職員検討チームへの戦略的アドバイス
- 地域活性化のために有用な情報の提供や知見に基づく取組み改善の提言
- 町のブランドマネジメント

## 【成果（見込み）】

- 地域活性化に向けた意識醸成のため職員研修の実施。
- 職員検討チームへの指導・助言による施策の具体化とブランドマネジメント。
- 具体化した施策のうち、「道の駅竜北活性化」「まちづくり酒屋活用」について継続的な指導・助言、民間事業者とのマッチングに係るネットワークの提供。
- 地元民間活力を活用するため、商工会及び地域人材との関係構築。
- 事業承継や空き家対策など、地域活性化に有用な成功事例の現地視察による情報提供。



（職員検討チームへの助言）



（民間活用を見込むまちづくり酒屋）



# No.179 熊本県苓北町（保育園留学）

地域力創造アドバイザー	山本 雅也氏（A642）
活用分野	滞在・活動の場づくり、地域と関係人口の協働
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月5回程度）
キーワード	#関係人口 #二地域居住 #移住定住 #協働 #滞在 #保育園留学

**【目的】** 苓北町の地域資源を活用し、都市部の子育て家族が一定期間地域で暮らしながら保育サービスを受ける「保育園留学」の実現に向けた準備を行うため、地域力創造アドバイザーの知見を活かし、実施体制の調査と構築、地域との連携及び空き家（空き施設）を活用した住環境整備の提案等を目的とする。

## 【内容】

- 保育園留学モデルの設計
- 保育園留学を実現するために必要な地域運営体制の調査と構築
- 町内の空き家（空き施設）を活用した子育て家族が生活しやすい住環境整備の計画提案

## 【成果（見込み）】

- 町内6保育園において「保育園留学」受入に関する調査実施（現地視察・ヒアリング）
- 町保育所連絡協議会において保育園長、保育主任に「保育園留学」についてのディスカッション実施（20名参加）
- 町有空き施設（旧町営住宅）の調査実施（ヒアリング・現地視察）
- 上記空き施設を活用した住環境整備に関する計画案提案
- 保育園留学の「れいほくモデル」構築のための実施体制案提案  
※町内の観光地、史跡、産業、キーパーソンの調査・取材実施
- 保育園留学の実証（モニター）実施 1週間×2組  
※モニター実施のため保育園留学の実施に前向きな町内の保育園（1保育所）の協力を得た。1組のモニター終了後、他の保育園からも保育園留学の実施に前向きな意見が挙がっている。



保育園留学実証の様子



保育園留学実証の様子

# No.180 大分県・豊後高田市（香々地プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	碓 孝洋氏（A244）
活用分野	地場産品商品開発・販路開拓
活用期間（頻度）	令和7年度（月2回程度）
キーワード	# 地域産品開発 # 地域産品発掘 # 新商品開発 # 地域の魅力づくり # 道の駅

## 【目的】

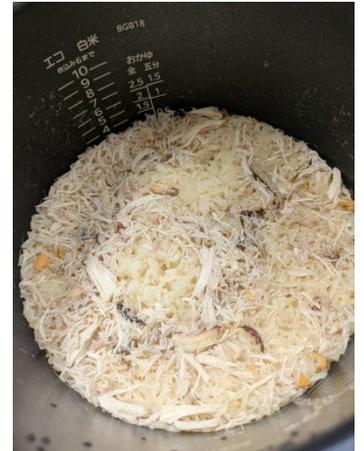
令和9年度の香々地地区道の駅オープンに向けて、販売商品の目玉となりうる地元素材の規格外品等を使用した新たな加工品の開発を行う。

## 【内容】

- 商品開発業務
- 製造体制構築業務
- テスト販売業務
- パッケージデザイン製作



「ぶんど岬ガザミ」を「炊き込みごはんの素」に商品化するための試作工程



## 【成果（見込み）】

- 令和7年度中は香々地地区の地域産品である「ぶんど岬ガザミ」と「香々地長命草」を使った商品開発に取り組んだ。
- 9月には試作を繰り返しておおまかな方向性を検討。「ぶんど岬ガザミ」は「パスタソース」と「炊き込みごはんの素」に、「香々地長命草」は加工に不向きな食材だったが生葉を湯がいて使用することでチャーハンの素に加工することが決定。また、地だこと生地をプレスした「タコのぺったん焼き」を開発。
- 10月にはそれぞれ試食と試作を繰り返し、ブラッシュアップを図る。
- 11月にはパッケージのデザイン案を検討。
- 令和8年度には「香々地の海産物」を使った加工品の開発も予定。



商品名を「かにご飯」に決定し、デザイン案を検討

# No.181 宮崎県・宮崎市（経営分析及び道の駅アドバイザー）

地域力創造アドバイザー	朽尾 圭亮氏（A070）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和4年度・令和5年度・令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#道の駅 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #若手活躍 #女性活躍 #賑わい創出 #他世代交流

## 【目的：令和4・5年度】

市の所有する物販施設は、利用者数や収支、老朽化等、施設ごとに課題を抱えており、今後の施設の方向性・あり方について具体的に検討する必要がある。

## 【内容：令和4・5年度】

○専門的知識を活用した物販施設の現況分析及び分析結果に基づく指導、助言。

## 【成果：令和4・5年度】

○城の駅は、売り場の配置変更や集客効果を見込める特産物の研究・開発等を次期指定管理者の公募条件に反映し、新たな事業者へ指定管理者を変更した。

○交流プラザきよたけは、積極的な自主事業や情報発信による新規顧客の獲得等を次期指定管理者の公募条件に反映し、利用者の増加に繋がった。

## 【目的：令和7年度】

道の駅田野は令和4年度の分析結果や交通量、利用者の状況等を勘案し、移転整備基本計画の策定を行う。

## 【内容：令和7年度】

○専門的知識を活用した道の駅の現状分析及び分析結果に基づく移転整備基本計画の策定支援。

○地元座談会に出席し、将来のビジョンや施設イメージの意見を募り、地域の声を反映した施設づくりに向けた対話を重ねることで、移転整備基本計画に関する地元との合意形成を図る。

## 【成果（見込み）：令和7年度】

○専門的知見を踏まえつつ、地域の声を反映した移転整備基本計画の策定を行った。

○住民参加型の検討プロセスを経ることで、地域住民の愛着と当事者意識（機運）を醸成し、将来にわたり地域に愛され活用される道の駅の基盤を築いた。



地域座談会の様子

# No.182 宮崎県高原町（官民連携推進）

地域力創造アドバイザー	吉田 雄人（よしだ ゆうと） 氏（A764）
活用分野	関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（現地にて毎週2～3日程度・オンラインで月10時間程度）
キーワード	# 関係人口 # 交流人口 # 企業版関係人口 # 民間人材 # 官民連携 # 二地域居住 # 若手活躍 # 地域商社 # 移住者交流

## 【目的】

「産業官民連携推進官」として、行政と民間をつなぐ官民連携のハブ機能を担っている。

主要な目的は「企業版関係人口づくり」で、地域の活性化や課題解決の担い手として、町外事業者の「関わりしろ」を見出し、地域の主要なプレイヤーと繋げることである。

具体的には、企業版ふるさと納税や地域活性化起業人制度を活用した外部人材の導入、「奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社」の設立支援、橘ブランドの商品化、地域事業者と移住事業者の交流・マッチングの機会づくりなどを支援している。



（首都圏企業との連携協定締結）

## 【内容】

- 「高原町企業版関係人口づくり推進協議会」の運営  
主に首都圏の企業経営層を招聘し、町内の地域課題に  
触れる機会を創出し、官民連携でその解決を図るための  
プラットフォームを運営している。

- 「高原まるごと交流会」の企画運営

移住事業者と若手事業者の交流・マッチングの場を創出し、郷土愛の醸成をしつつ、民間プレイヤー同士の新規事業連携を支援している。



（首都圏企業の企業研修in高原）

## 【成果（見込み）】

- 企業版関係人口づくり推進協議会  
令和7年12月末時点で69社が加入。令和7年度の連携協定は2件。

- 高原まるごと交流会

年3回の交流会開催。毎回30人以上の参加。移住者と民間事業者の関係性構築。



（移住者・若手事業者のまるごと交流会）

# No.183 宮崎県・新富町（地域資源を活用した地域経済循環）

地域力創造アドバイザー	高瀬 直史 氏（A505）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、関係人口の創出・拡大
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#地域の担い手 #起業・開業 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #若手活躍 #女性活躍 #関係人口創出 #賑わい創出 #他世代交流

## 【目的】

本町において、文化・芸術に関し、新富町文化会館等を活用し、関係人口の拡大や町民文化の向上のため、地域活性化の取り組みに関するノウハウを有する外部専門家を招へいし、指導・助言を受けながら、新たな政策や仕組みを立案し、実行可能な事業計画を策定することにより「子や孫が帰ってきたくなるまち」を目指すことを目的とする。

## 【内容】

- (1)文化振興事業に関する指導及び助言
- (2)地域活性化事業に関する指導及び助言
- (3)その他、関連する相談対応

## 【成果（見込み）】

地域文化資源の発掘及び活用による地域活性。  
イベントや文化交流プログラムの企画・提案による地域活性  
広報及びブランディングによる地域PR  
地域資源を活用した地域経済循環型新規事業モデルの開発  
地域事業者・行政・外郭団体との連携  
都市部の企業等との連携による関係人口の創出  
移住等による地域活性化



（高瀬直史氏）

# No.184 宮崎県都農町（広報支援業務）

地域力創造アドバイザー	佐久間 智之 氏（A535）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1回程度）
キーワード	#広報力強化 #広報紙リニューアル #戦略的広報 #人材育成 #自走化 #広報基本方針 #SNS活用 #自治体広報 #内製化支援 #職員研修 #業務マニュアル整備

## 【目的】

効果的な情報発信を行うため、専門的な知見を有する外部専門家を活用し、本町が発行する「広報つの」のリニューアルや業務マニュアル、広報基本方針の作成支援を行い、広報力の強化を図る。また、広報担当者や職員向けの研修を行い、情報発信に対する理解および意識向上を図る。

## 【内容】

- ①自走可能な広報紙面づくりの全面的な支援
- ②情報発信の現状と課題を踏まえた基本方針等の策定支援
- ③職員の理解および意識向上の支援
- ④随時支援（SNS活用支援、町が作成するチラシ等の指導 等）

## 【成果（見込み）】

- ①「広報つの」のリニューアル
- ②業務マニュアル、広報基本方針の作成
- ③職員の理解および意識向上



職員研修の様子

# No.185 宮崎県・美郷町（総合戦略推進）

地域力創造アドバイザー	醍醐 孝典氏（A195）
活用分野	シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#総合戦略 #賑わい創出 #チャレンジ #伴走支援

## 【目的】

第3期美郷町総合戦略（R7～R11）の推進をおこない、5つの基本目標に沿った形で美郷町に住み続けたい魅力的なまちづくりを勧める。

## 【内容】

- 庁内連携事業となる「重点的な取組み」のアドバイス支援
- みさとわくわくワーク開催

## 【成果（見込み）】

- 庁内連携事業は総合戦略の重点的な取組みにあたり、全5プロジェクトとなる庁内各課連携事業。最終ゴール地点（5年後）と中間ゴール地点（1年目）を決め、各々協議を進めている。
- 全4回からなる「みさとわくわくワーク」では、町内でチャレンジしたい町民を募り、5つの基本目標に沿ったプロジェクトを6つ輩出した。
  - 第1回 → アイデアを考える。
  - 第2回 → チームを組み、実現に向けて準備をする。
  - 第3回 → 6つのプロジェクトを実際に小さくチャレンジする場「みさとわくわくDAY！」を開催し、150人を集める。
  - 第4回 → 振り返り



みさとわくわくDAY!

# No.186 鹿児島県さつま町（高校魅力強化プロジェクト事業）

地域力創造アドバイザー	跡見 愛美氏（A400）
活用分野	地域づくり人材の育成・教育（地域と教育機関の連携（高校魅力化））
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#高校魅力化 #地域みらい留学 #教育 #地域連携 #公営塾 #伴走支援 #サポートデスク

【目的】 町内唯一の県立高校である薩摩中央高校の魅力を高め、町内中学校からの入学希望者数を増やすとともに、県外を含む町外からの入学希望者を呼び込むことで、関係人口の創出並びに交流定住の促進を図り、本町の活性化に資する。

## 【内容】

- 高校魅力化プロジェクトマネジメント・サポートデスク
- さつま町役場、薩摩中央高校によるワーキンググループ設置・運営
- 全国募集におけるPR、県外生徒受入れ態勢に関するアドバイス、サポート



公営塾設置場所確認



高校魅力化取組紹介

## 【成果（見込み）】

- 高校魅力化プロジェクトをさつま町役場及び薩摩中央高校が連携して推進するためワーキンググループを定期的に関催し、全国57自治体における高校魅力化の実績を活かし、地域みらい留学、公営塾設置の計画を進めるアドバイス及びサポート。  
地域おこし協力隊制度を活用した高校魅力化スタッフ（高校魅力化コーディネーター、公営塾スタッフ）の活用促進・伴走支援。
- 東京及び大阪開催の合同学校説明会における出展サポート・県外生徒受入れ伴走支援
  - ➡ 合同学校説明会ブース来場組数（東京56組、大阪50組）
  - ➡ 地域みらい留学オープンスクール県外中学生参加者 2名（関東1名、関西1名）
  - ➡ 令和8年度地域みらい留學生入学者数（見込み） 2名（関東1名、関西1名）



合同学校説明会でのPR

# No.187 鹿児島県南大隅町（関係人口拡大創出プロジェクト事業）

地域力創造アドバイザー	椋本 修平氏（A620）
活用分野	関係人口の創出・拡大、地域資源を活用した地域経済循環、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月3回程度）
キーワード	# 関係人口 # 地域資源活用 # 賑わい創出 # 地域製品の販路拡大 # 地域づくり # 伴走支援

## 【目的】

町の食や自然など、今ある資源の魅力を活用し認知度引き上げ、地域活性化と関係人口拡大創出を図る。

## 【内容】

自薦による役場内の課を越えた職員に兼務辞令を発令し、プロジェクトチームにより関係人口を拡大する事業を展開する。主な内容としては次のとおり。

- 東京都内で事業者参加型の特産品PR、販売（マルシェ出店調整及び事業者への販売等の助言）
- SNSの情報発信とパンフレット冊子の改訂（SNS活用及び冊子の改訂を助言）
- 資源を活かしたイベントの実施、参画（バイクイベント、釣り大会の実施への助言等）
- 関係人口（二地域居住）のサポーター制度の検討（関係人口の役割と意義について助言）
- 創り出す関係人口との関係性、連携の構築検討（次の展開への助言と指導）



外部専門家の助言の様子（販売会にて）

## 【成果（見込み）】

- 都内マルシェにおいて、食をフックに「ゼロ→イチ」へのアプローチ（約500名達成）
- 作成した冊子の活用（各メディア発信及び県内外設置10か所達成）
  - ▶ 発送依頼、各イベント設置による持ち帰り（約300冊） 反響が強く改訂版検討
- 地域資源を活かしたイベントでの接点づくり
  - ▶ 釣り大会（110名の応募、参加者との接点構築）
- オドル野菜プロジェクト（参加者5,500名）
- ふるさと納税への誘導 ▶ 約50件/約900,000円



釣り大会参加者とビーチクリーンを実施

# No.188 鹿児島県大和村（大和村地域力創造DX推進プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	浜野 耕一 氏（A703）
活用分野	自治体経営イノベーション・シティプロモーション・地域PR(効果の把握、評価)
活用期間（頻度）	令和7年度～令和10年度（月1回程度）
キーワード	#DX推進 #デジタルトランスフォーメーション #生成AI #AIリテラシー #オンライン申請 #書かない窓口

## 【目的】

大和村職員が主体となってDXを推進できる体制を整え、業務の効率化、手続きの簡素化、情報共有の高度化を図ることで、地域の魅力発信や人材育成など創造的な取組を推進し、地域力の向上につなげる。

## 【内容】

- ・現状把握と課題の共有を通じたDX推進方針の整理
- ・職員によるAIやデジタルツールの活用を促進するための学び合い・研修の実施
- ・申請・届出のオンライン化に向けた体制づくりや庁内ルールの検討支援
- ・各部署の改善提案を庁内で共有し、横断的な連携を推進

## 【成果（見込み）】

- ・職員のスキルアップ及び自走体制の確立
- ・行政手続きの利便性向上及び住民サービスの質的向上
- ・DX化推進に関する庁内横断的な連携強化
- ・庁内業務の効率化、電子申請導入



令和7年10月27日  
委嘱式



令和7年11月11日  
職員研修

# No.189 鹿児島県・喜界町（喜界町ゼロカーボンアイランド型地方創生戦略事業）

地域力創造アドバイザー	青山 光彦氏（A521）
活用分野	分散型エネルギー・地域経済・環境保全・SDGs・官民連携
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（活用延日数22日（往訪5回））
キーワード	# 起業・連携 # 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出 # 多職種交流 # 若者会議 # 伴走支援

## 【目的】

2024年4月の喜界町地域脱炭素ビジョン、2025年3月の喜界町地域脱炭素ビジョン推進計画（仮）及び「喜界町デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期喜界町総合戦略）」を踏まえ、持続可能なまちづくりの実現に向けた「喜界町ゼロカーボンアイランド型地方創生戦略の事業化推進の支援を図る。

## 【内容】

### タスク1

・喜界町の持続可能な地域づくりの観点から関連する計画における地域課題を、  
①共通の課題、②個別戦略・計画での特有の課題などの視点での整理。

・関連する計画・取組における記載内容を踏まえ、地域課題の優先度の設定。

### タスク2-1

・将来像実現に向けた取組の整理において、①実施理由/実施目的、②実施内容、  
③実施時期、④実施主体・関係性（事業スキーム）、⑤KPIの項目に沿っての整理。

・各施策の枠組み詳細化の整理

### タスク2-2

・事業実現に係る施策の実施主体と介在する財・サービスを明らかにし、それらを事業スキームとしての図式化。  
・各施策において、産・官・学・民・金等の視点から、関係者を洗い出し、各主体の所掌範囲・具備すべき機能を具体化し、関係する主体者間の共有認識の土台の作図。

## 【成果（見込み）】

・脱炭素、SDGsといったエネルギーを軸としたまちづくり分野への波及効果。

⇒国等の補助事業の採択

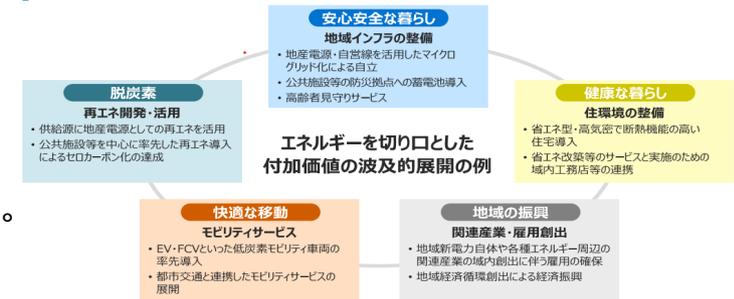
・ゼロカーボンを切り口として、地域への様々な付加価値を提供することで、様々なエコシステムの構築。

⇒産・官・学・民・金等のコンソーシアムの設立

### 要点 | まちづくりを主眼においた地域づくり

- ・脱炭素、SDGsといったエネルギーを軸とした取組は、複数のまちづくり分野への波及効果が期待できる。
- ・ゼロカーボンを切り口として、地域への様々な付加価値を提供することで、様々なエコシステムの構築に貢献する。

### 喜界町におけるエネルギーを活用した「まちづくり」の取組方向性



# No.190 沖縄県・糸満市（防災講話）

地域力創造アドバイザー	島尻 勝氏（A-572）
活用分野	防災減災・危機管理
活用期間（頻度）	令和5年6月～令和8年2月（年5回程度）
キーワード	# 防災力向上 # 防災減災 # 自助・共助 # 早期避難 # 防災リテラシー

## 【目的】

防災出前講座を行うことで、市民の防災リテラシー向上を図ることを目的とする。

## 【内容】

気象情報や、地震、津波のメカニズムや、危険性を伝えるとともに、早期避難の重要性を説くなど、子どもからお年寄りに対してもわかりやすい講話を行っている。

## 【成果（見込み）】

地域での避難訓練や学校、自治会、自主防災組織等からの依頼を受け講話を実施  
令和5年度

○西崎小学校児童（112名）

- ・市内小学校児童に向けた地震や津波についての防災講話を実施

令和6年度

○南区公民館（50名）

- ・津波被害が想定される地域での防災訓練の中での防災講話を実施

令和7年度

○土砂災害避難訓練（800名）

- ・土砂災害警戒区域の地域住民参加の避難訓練後に防災講話を実施

○市内学校事務職員（6名）

- ・学校事務職員に向けて地震発生メカニズムや緊急地震速報の仕組み等の講話



（西崎小学校での講話）



（土砂災害避難訓練内での講話）

# No.191 沖縄県・南城市 (DMO組成)

地域力創造アドバイザー	善井 靖 氏 (A084)
活用分野	観光振興・交流
活用期間 (頻度)	令和6年度～令和7年度 (月2回～3回程度)
キーワード	#観光振興 #地域経済活性化 #DMO #観光地域づくり #地域の魅力発掘 #合意形成 #官民共創 #持続可能 #ローカル・ゼブラ #自走型組織 #外部資金導入 #地域おこし協力隊

## 【目的】

南城市の観光地経営の司令塔として、公民が連携した形のDMO法人の設立を目指す。また、設立後は持続可能な観光地経営を行うために公的資金に過度に依存しない資金調達手法を検討し、CMO、CFOなどの専門人材確保を行い、早期の安定した組織運営を図ることによって、観光を手段として、地域の稼ぐ力を引き出し、地域社会、地域経済の好循環を生み出す。

## 【内容】

DMO組成に係る助言・サポートの実施

- 組織設計素案及び事業計画素案作成の助言
- 法人設立準備委員会設置・運用の助言
- 最適な法人格の選定とスキーム構築への助言
- 人材確保に関する助言
- 独自の収益事業の設計及び資金調達手法の検討
- DMO設立進捗状況報告会開催



(事業計画素案作成作業)



(DMO設立進捗報告会)

## 【成果 (見込み)】

- 組織設計案及び事業計画素案を元にDMO設立に係る庁内・議会との合意形成を図った。
- 自立・自走する組織を設立するため、設立時点で資本金を調達し、公民が連携したローカル・ゼブラ企業として法人設立。(資本金4,000万円/構成：市25%、民間75%)
- 法人設立にあたり、出資者を構成員とした設立準備委員会を開催。(計5回開催)
- DMOの事業を担う人材として、新たに地域おこし協力隊及びCMO、CFOの公募開始。
- 市全体で観光地域づくりを推進する機運を醸成するため、DMO設立進捗報告会の開催。(30名参加)
- DMO事業の周知及び市民・事業者参画を促す機会として、tourism×Web3サミットの誘致。



(DMO設立準備委員会) 199

# No.192 沖縄県 大宜味村（大宜味講座の開催等）

地域力創造アドバイザー	山田 洋司氏（A082）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生・生活機能の維持、環境保全・SDGs、観光振興・交流 等
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	# 国立自然史博物館 # 賑わい創出 # 魅力発掘 # 地域商業の活性化

## 【目的】

国立自然史博物館の基礎的な資料収集や調査研究、大宜味未来づくり構想（案）とアクションプラン（案）を作成し、村内の児童・生徒をはじめ多くの村民の理解と協力を得ながら、国立自然史博物館誘致活動の「先進モデル自治体」となることを目指す。

## 【内容】

- ・大宜味村の自然史博物館に関する基礎調査
- ・「国立沖縄自然史博物館誘致推進大宜味講座」開催
- ・国内の自然史に関する博物館の調査・研修
- ・教育プログラムの作成



（プロジェクト委員会の会議）

## 【成果（見込み）】

大宜味村未来プロジェクト委員会を発足し、大宜味未来づくり構想及びアクションプランの作成に向け、検討が行われた。また、大宜味講座を2回開催し、国立自然史博物館誘致に向けた村民の機運醸成や先進地視察により誘致に関する知見を深めることが出来た。

- 6月30日 第1回大宜味村未来プロジェクト委員会
- 10月5日 第3回大宜味講座開催（役場）
- 12月10日・17日 村内事業者等ワークショップ開催（2回）
- 12月10日 第2回大宜味村未来プロジェクト委員会
- 2月15日 第4回大宜味講座（予定）
- 2月下旬 第3回大宜味未来プロジェクト委員会（予定）



（大宜味講座の開催）

# No.193 沖縄県・東村（DX推進と多角的連携）

地域力創造アドバイザー	鈴木 邦治氏（A227）
活用分野	人材研修、多様な関係者間連携、働き方改革
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月12回程度）
キーワード	#DX #地域デジタル化 #人材育成 #地域活性化 #プログラミング教室 #大学連携 #AI

## 【目的】

地域デジタル化による住民の利便性向上、地域資源を活用した地域経済循環支援、庁内外DX支援などにより地域独自の魅力や価値の向上に取り組む。

## 【内容】

- ・地域デジタル化に関する助言、サポート
- ・沖縄国際大学との包括連携による取り組み実施
- ・庁内DX推進への助言
- ・首長への地域経済循環等アドバイス

## 【成果（見込み）】

- 公共施設（研修施設や文化施設）への公共Wi-Fiの活用について、現地での環境構築や利用支援の実施。
- 庁内働き方改革の一環として、職員向け生成AI活用に関する研修の実施。
- 管理職向けDX推進や生成AI利用に関する講話の実施。
- 教育委員会が主催する村内小中学生に向けた映像コンテンツ制作に関するイベントの企画、運営を行った。沖縄国際大学の学生をサポートとして、村内児童が東村を題材とした映像作成し、沖縄デジタル映像祭へも作品を応募した。
- ほかにも、庁内外問わず、デジタル化や事業実施の計画進行などの相談に対し助言を行った。
- 首長への地域商社企画やRMO企画、人材育成などの地域力向上に向けた提案。



東村自慢動画作成講座の様子

# No.194 沖縄県・八重瀬町（地域活性化）

地域力創造アドバイザー	松永 浩司氏（A550）
活用分野	地域資源の活用、関係人口の創出・拡大、地域PR
活用期間（頻度）	令和7年4月～令和9年3月（月4回程度）
キーワード	# 特産品開発 # 観光誘客 # 地域の魅力 # 地域活性化

## 【目的】

町の地域の魅力を活かした特産品開発・観光誘客に繋がる現地体験型の商品提案、PRの実施等を通じ、マーケティング等に関する実践を町及び町が指定する事業者に対して指導、伴走支援等を受託者が行うことで、町及び町内事業者が主体的に地域の魅力を生かした特産品の開発等を行う体制づくりを進め、地域活性化につなげることを目的とする。

## 【内容】

- ①町職員との月2回以上のミーティングの実施
- ②地域の魅力を活かした特産品（ふるさと納税返礼品）開発支援の実施
- ③地域の事業者を対象とした学習会等の実施に係る業務  
通販事業における競合他社との差別化の実施(同梱物のデザイン作成)  
マーケティング支援として値段設定のレクチャーによる販売ロスと利益確保のサポートの実施。

## 【成果（見込み）】

特産品作り：10商品  
初年度売上目標：500万円



（通販事業において価格設定から同梱物の作成）

# No.195 沖縄県・竹富町（ICT人材育成支援・課題掘り起こし）

地域力創造アドバイザー	安岡 周総氏（A766）
活用分野	企画・政策への助言、課題掘り起こしのサポート
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1回程度）
キーワード	#DX #人材育成 #課題掘り起こし #伴走支援

## 【目的】

1. ICT人材育成に向けた取組支援
2. 課題の掘り起こしと解決手法の検討に関する助言
3. DX課における事業の円滑な実施に向けた支援や助言

## 【内容】

1. 職員向け業務相談窓口の開設
2. 職員向け講話の開催



職員向け研修



相談窓口

## 【成果（見込み）】

1. 全職員を対象とし、企画立案や各課が抱える課題への取組方法など、幅広い相談に対応する窓口設置。  
月1回程度、各回5日間前後の滞在期間を確保し、職員とアドバイザーが対面で直接相談できる環境を構築。  
相談内容および対応結果については、毎回整理した資料として取りまとめ、後日、関係職員へ提供。  
一度の相談で完結する案件はほとんどなく、各職員に対して継続的なフォローが必要であるため、来庁時以外もオンラインによる相談・助言を随時実施し、継続的な支援体制を整えている。相談を通じて、各所属における具体的な業務課題の可視化と、その解決に向けた検討プロセスの定着が進み、庁内におけるDXおよびICT活用に対する意識向上と実務的なスキルの蓄積が図られた。
  - 相談実施回数 全6回、計19日間(今年度中にあと2回予定) ●相談数：8課 計25名程度
  - 相談内容：子ども園検討、農機具シェアシステム検討、渡航費補助検討、地域ポイントサービス継続是非検討、集落支援員制度の利活用、鳥獣駆除仕組み検討、DX推進計画の総括方針・KPI評価・機能移管、広報誌デジタル化への移行、地域活性化起業人制度の活用策、指定管理事業改善相談…等
  - 特記：相談内容において、子ども園検討に伴い、既存の保育園および幼稚園の統合方針が決定し、来年度に向けた調整を開始。
2. 講話の開催(全職員向け・管理職向け)  
全職員および管理職を対象に、DX推進に関する講話・研修を実施した。元自治体職員としての実務経験を踏まえた内容とし、必要に応じて外部人材も活用した。  
講話内容：DX講話、チームビルディング研修、管理職向けDX研修

# No.196 沖縄県・与那国町（中間支援組織設置支援）

地域力創造アドバイザー	田邊 寛子氏（A068）
活用分野	移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和7年度7月～令和7年度3月（月3回程度）
キーワード	#移住定住 #伴走支援 #中間支援組織 #地域づくり #関係人口 #地域の担い手 #Uターン #地方活性化 #島ぐらし #地域交流 #持続可能な移住支援

## 【目的】

移住定住施策を推進する為には、担当職員のみでは取り組み範囲が限定され、効果的な取り組みが制限されてしまっていることから、外部に「中間支援組織」を設置し行政との連携による効果的な施策を図ることを目的とする

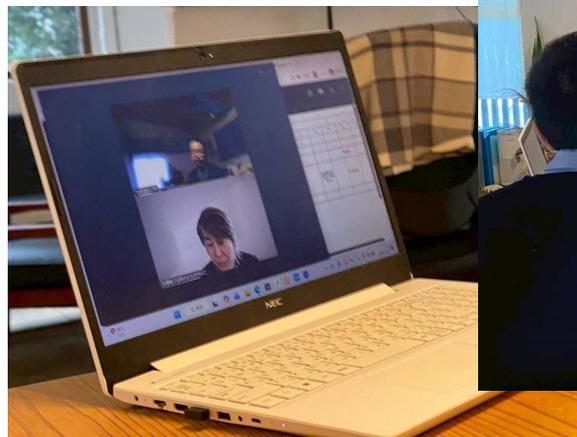
## 【内容】

**中間支援組織の設計・調整・運営計画づくりを“町と一緒に走りながら伴走する専門家”であり、町内単独では難しい部分を補完し、長期的に自走できる仕組みづくりを支援する役割を担う。**

1. 中間支援組織設置に関わる方針等の検討及び設定準備
2. 組織のビジョン・ミッション・業務内容の検討
3. 事業内容の検討
4. アクションプランの検討
5. 計画の実施のための資金調達の検討

## 【成果（今年度見込み）】

- ・ 移住定住促進中間支援組織立ち上げ定例会  
4回開催
- ・ 町民ヒアリング  
2回開催



（定例会）